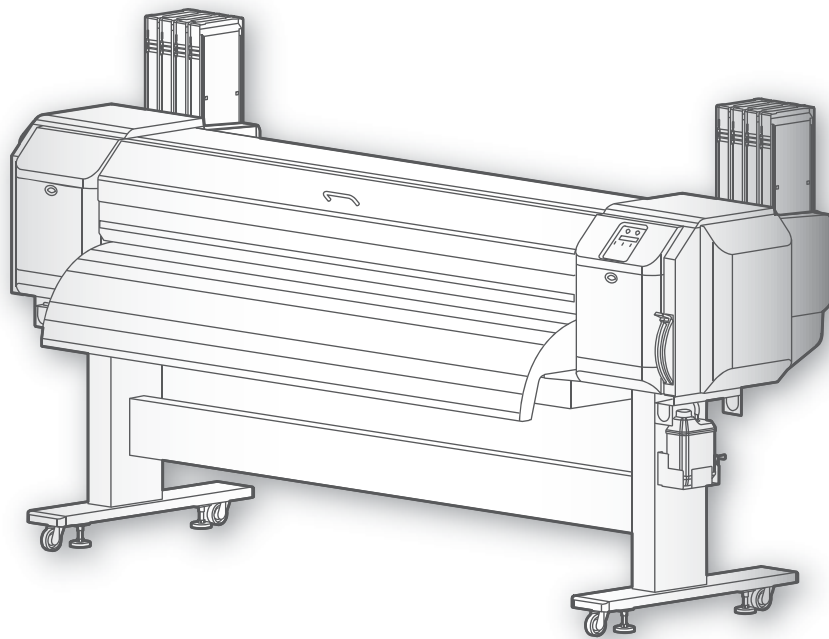


VJ-1948WX

取扱説明書

使い方とメンテナンス方法



-
- 本書の内容の全部または一部を、無断で複写・複製することを禁止します。
 - 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
 - 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

第1章 基本的な使い方

はじめに	9
各部の名称.....	9
メニューチャート	12
本製品のシステム構成.....	18
コンピューターとの接続.....	19
MSMの起動方法／表示方法／終了方法.....	20
本製品の印刷エリア	22
使用できるメディアの条件.....	23
ご使用上のお願い	24
電源のオンオフ.....	25
メディアのセット方法	26
ロール紙受けにメディアを取り付ける	26
プリンターにメディアをセットする.....	28
メディアをセットしたら・・・.....	30
ノズルチェックとクリーニング	32
ノズルチェック	32
クリーニング.....	33
印刷精度の調整.....	34
ヘッド調整.....	34
画質調整	36
メディア送り補正	38
くわしい使い方.....	40
ヘッド高さを変更する.....	40
加圧ローラーを個別に解除する	41
操作パネルからの各種操作.....	42
メディア送り.....	42
印刷の一時停止／再開.....	42
印刷のキャンセル	43
ウォームアップ中に印刷を開始する.....	43
ロール紙のカット	44
印刷中に操作パネルでできること.....	44

第2章 パネル設定メニュー

はじめに	51
キー操作	51
パネル設定メニュー	52
メニュー 1: 設定	55
セット 1: ユーザ定義	55
セット 2: メディア検出	67
セット 3: メディア幅	67
セット 4: ロール紙長さ設定	67
セット 5: スタートフィールド	69
セット 6: サイドマージン	69
セット 7: 原点設定	70
セット 8: 貼り付き防止	70
セット 9: 斜行チェック	71
セット 10: 排紙モード	71
セット 11: カット方法	72
セット 12: CR 作画移動幅	73
セット 13: 重ね描き回数	73
セット 14: 重ね描きウェイト	73
セット 15: 排気ファン	74
セット 16: 待機ヒート	74
セット 17: プリントヘッド選択	74
セット 18: プリントノズル選択	75
セット 19: フラッシング	76
セット 20: 先端処理	77
セット 21: ヘッドオーバーラップ	77
セット 22: 初期化	78
セット 23: 警告ブザー	78
セット 24: 一時詳細表示	78
メニュー 2: クリーニング	79
メニュー 3: メンテナンス	80
メンテナンス 1: CR メンテナンス	80
メンテナンス 2: ヘッド洗浄	80
メンテナンス 3: オートクリーニング	81
メンテナンス 4: スリープモード	82
メニュー 4: 初期設定	83
初期設定 1: 言語	83
初期設定 2: 温度	83
初期設定 3: 長さ	83
初期設定 4: ヘッダーダンプ	84
初期設定 5: IP アドレス	84
初期設定 6: サブネットマスク	85
初期設定 7: ゲートウェイ	85
初期設定 8: 簡易選択	86

メニュー 5: ステータス	87
ステータス 1: インク	87
ステータス 2: 寿命.....	87
ステータス 3: バージョン	88
ステータス 4: Job	88
メニュー 6: テスト作画	89
テスト 1: ノズルチェック	89
テスト 2: モードプリント	89
テスト 3: 設定内容作画	90
テスト 4: パレット作画	90
テスト 5: ヘッド調整.....	91
テスト 6: ノズルチェック F.....	93
第 3 章 メンテナンス	
メンテナンスについて	96
インクの確認とインクパックの交換	97
インク残量を確認する.....	97
インクの交換が近づいたら.....	98
インクパックの交換	98
廃液タンクを空にする	101
廃液タンクを空にする.....	101
各部のクリーニング	103
ヘッドクリーニング	103
クリーニングワイパーの清掃	105
プリントヘッド外周の清掃.....	108
内部の清掃.....	110
消耗品の交換	111
フラッシングボックス用吸収材の交換	111
カッターの交換.....	115
輸送	118
移動の方法.....	118
輸送の方法.....	119
長期保存の方法	120
ヘッド洗浄後の初期充電の方法.....	123

第4章 付録

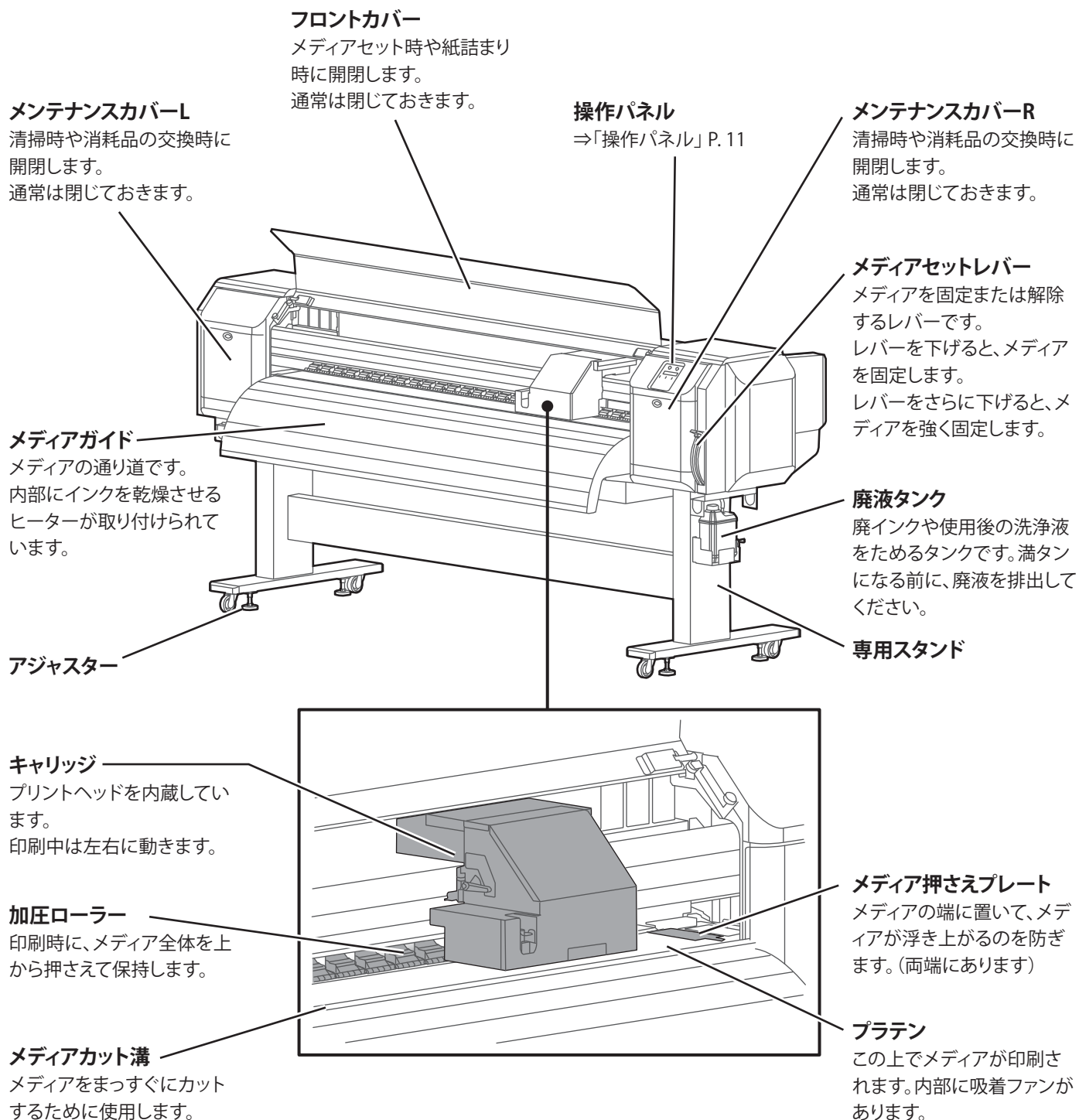
メッセージとエラーメッセージ	126
動作状態表示	126
メッセージ型エラー表示と対処方法	128
再起動が必要なエラー	130
トラブルシューティング.....	131
設置・導入時のトラブル	131
動作に関するトラブル	132
メディアに関するトラブル	133
印刷に関するトラブル	135
メディアが詰まった場合	138
お問い合わせ先	140
本製品の仕様.....	141
仕様一覧.....	141
オプション・サプライ品リスト	144
インクパック	144
その他.....	145
改訂履歴	145

第 1 章 基本的な使い方

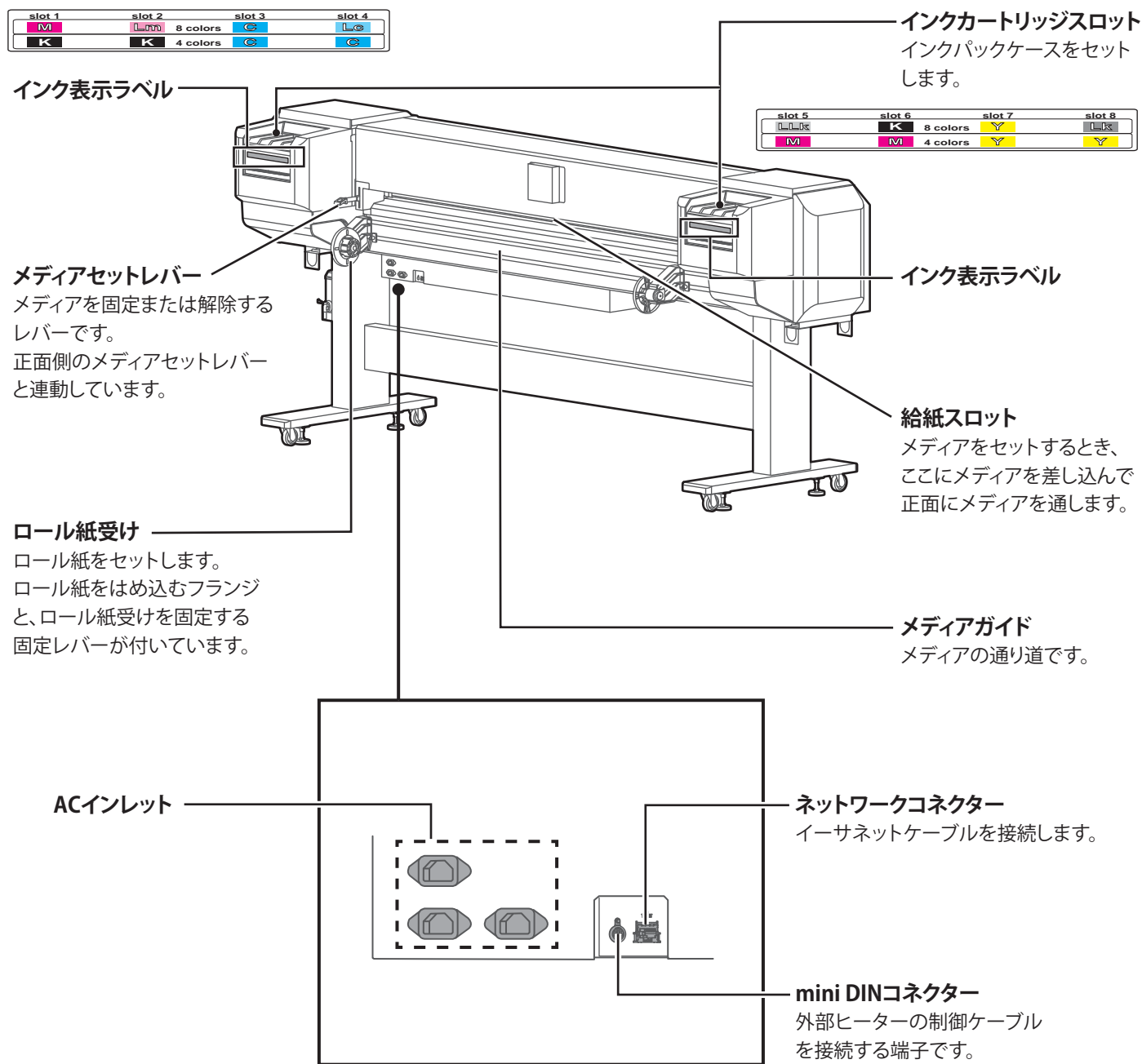
はじめに	9
各部の名称.....	9
メニューチャート	12
本製品のシステム構成.....	18
コンピューターとの接続.....	19
MSM の起動方法／表示方法／終了方法.....	20
本製品の印刷エリア	22
使用できるメディアの条件	23
ご使用上のお願い	24
電源のオンオフ.....	25
メディアのセット方法	26
ロール紙受けにメディアを取り付ける	26
プリンターにメディアをセットする.....	28
メディアをセットしたら.....	30
ノズルチェックとクリーニング	32
ノズルチェック	32
クリーニング.....	33
印刷精度の調整.....	34
ヘッド調整.....	34
画質調整	36
メディア送り補正	38
くわしい使い方.....	40
ヘッド高さを変更する.....	40
加圧ローラーを個別に解除する	41
操作パネルからの各種操作.....	42
メディア送り	42
印刷の一時停止／再開.....	42
印刷のキャンセル	43
ウォームアップ中に印刷を開始する.....	43
ロール紙のカット	44
印刷中に操作パネルでできること.....	44

各部の名称

プリンター本体（正面）



プリンター本体（背面）



操作パネル

電源ボタン

- ・押しと電源をオンします。
電源オン時は青色に点灯します。
- ・もう一度押しと、電源をオフします。オフ状態では消灯します。
- ・データ受信中は点滅します。

[参考]

⏻マークはスタンバイを意味します。
本製品は電源ボタンがオンでなくても、電源ケーブルが接続されていれば微量の電力を消費します。
本書では、この状態を「電源オフ」と表記しています。

[Head Height]ランプ

- ・ヘッド高さHigh:Highのみ点灯
- ・ヘッド高さMiddle:HighとLow点灯
- ・ヘッド高さLow:Lowのみ点灯

[Take up]ランプ

排紙モードを「マキトリ」に設定しているとき、緑色に点灯します。

[Auto Cut]ランプ

排紙モードを「オートカット」に設定しているとき、緑色に点灯します。

[Menu]キー

設定メニューに入るとき／出るときに使用します。

[Pause]キー／[Cancel]キー

- ・印刷を一時停止します。
- ・2秒以上押し続けると、印刷をキャンセルし、受信したデータを削除します。

設定メニュー表示時:

設定値の変更をキャンセルします。

エラーランプ

- ・エラー状態やカバーオープンの際はオレンジ色に点灯します。
- ・インクが残り少ないときは点滅します。

ディスプレイ

本製品の状態、設定メニュー、エラーなどを表示します。

[Cleaning Mode]ランプ

ヘッドクリーニングのモードを、緑色に点灯して表示します。

クリーニングモード

- ・強力:Longが点灯
- ・通常:Normalが点灯
- ・微量:LongとNormalが同時点灯

[Enter]キー

メディアをセットした状態で2秒以上押し続けると、メディアのカットを行います。

設定メニュー表示時:

- ・各メニューに入ります。
- ・設定値を確定します。

[+]キー／[Backward feed]キー

メディアを逆方向に送ります。

設定メニュー表示時:

- ・別のメニューに移動します。
- ・設定値を変更します。

[-]キー／[Forward feed]キー

メディアを順方向に送ります。

設定メニュー表示時:

- ・別のメニューに移動します。
- ・設定値を変更します。

[<]キー／[Nozzle Check]キー

2秒以上押し続けると、ノズルチェックを実行します。

設定メニュー表示時:

- ・設定値を変更します。

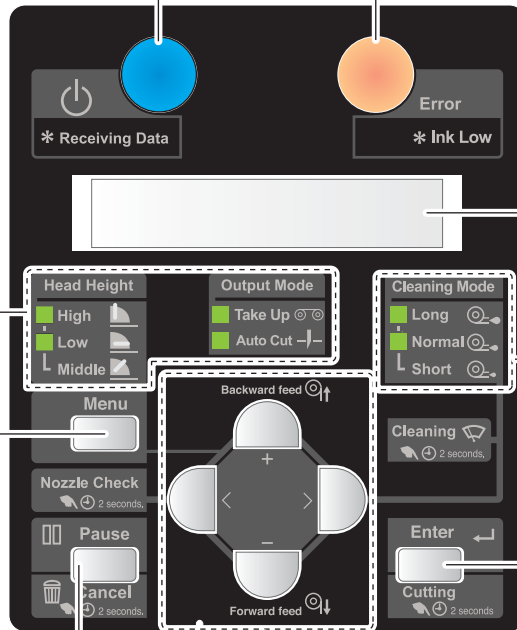
[>]キー／[Cleaning Mode]キー

クリーニングモードを変更します。

- ・2秒以上押し続けると、ヘッドクリーニングを実行します。

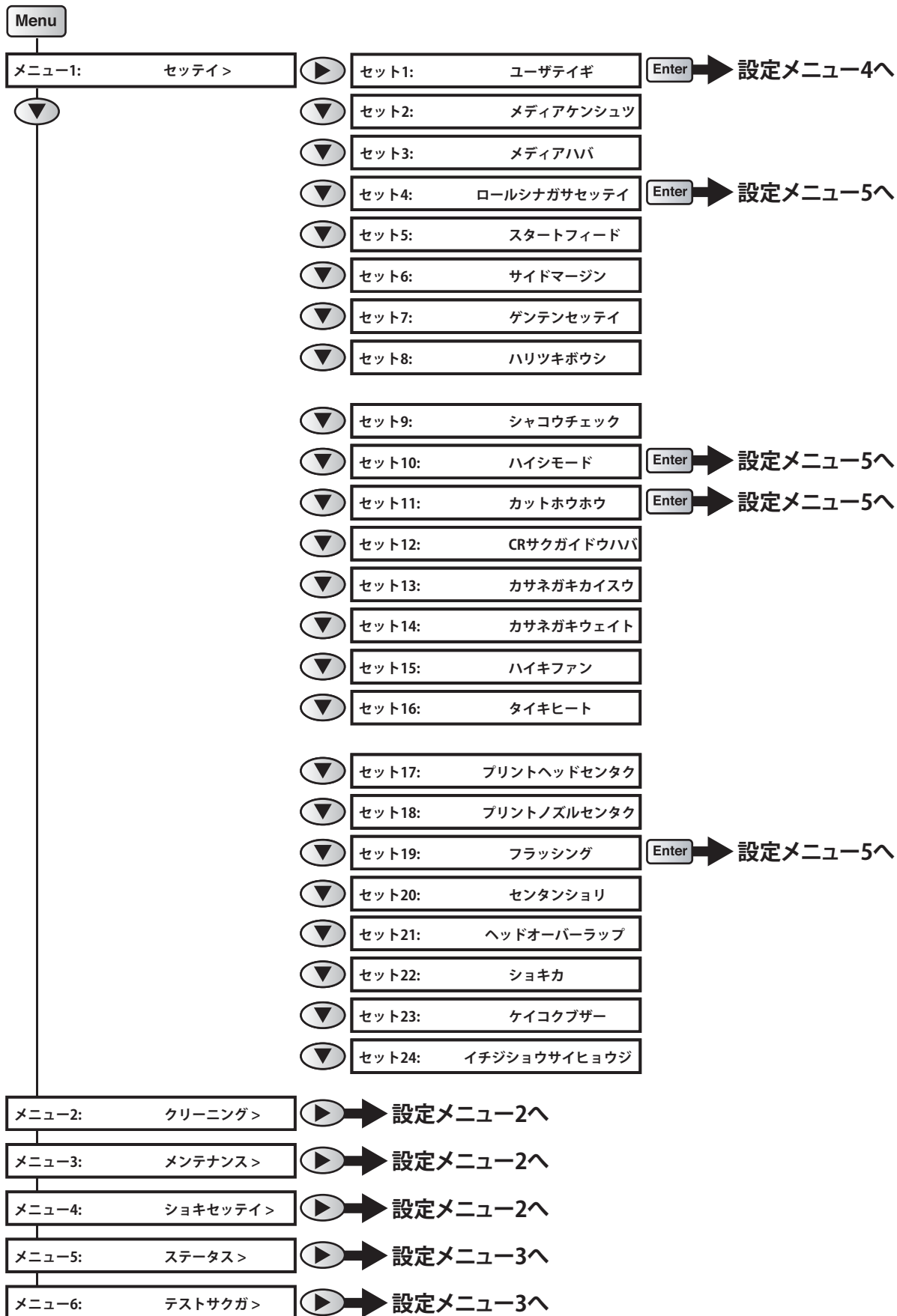
設定メニュー表示時:

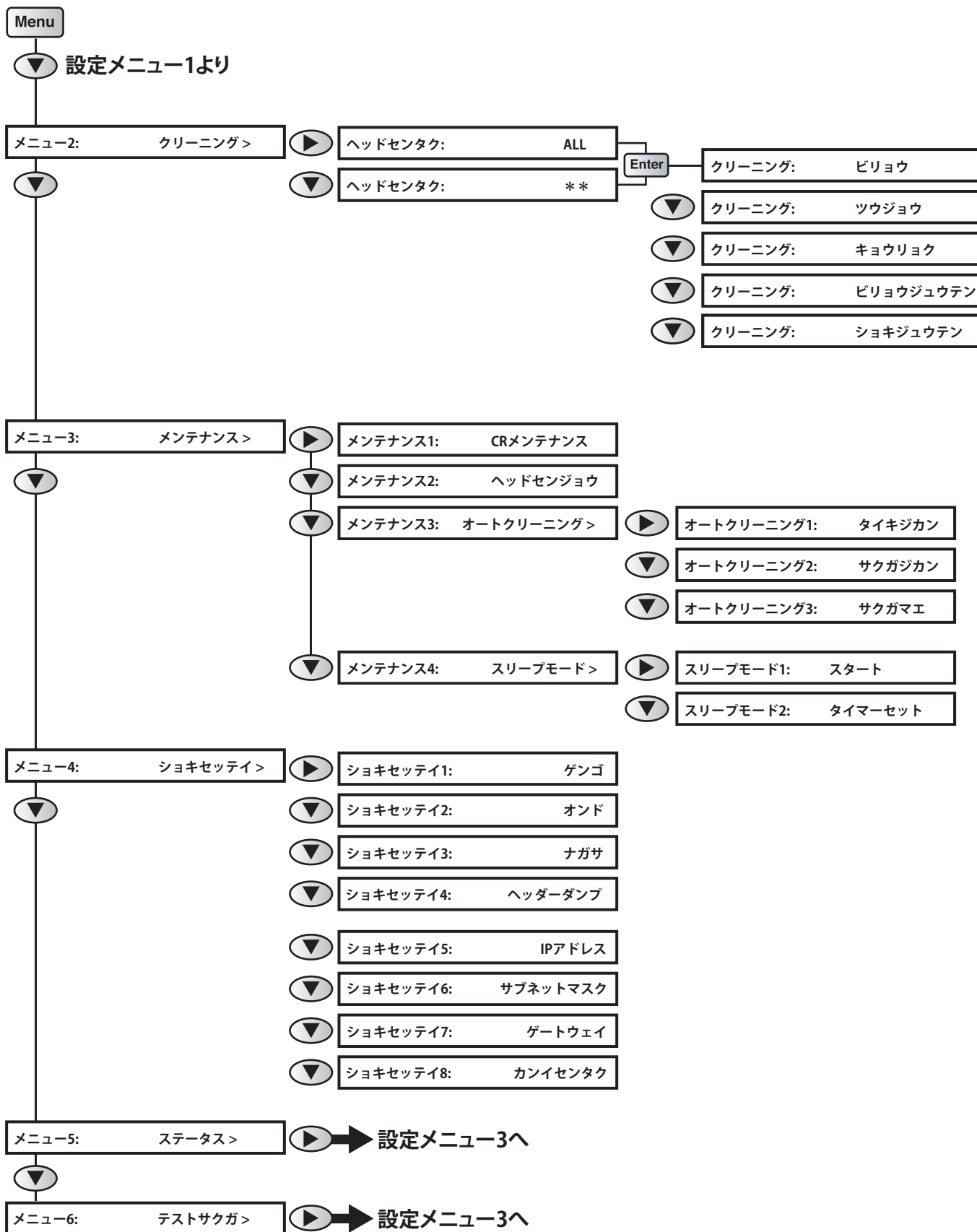
- ・メニューの下階層に移動します。
- ・設定値を変更します。

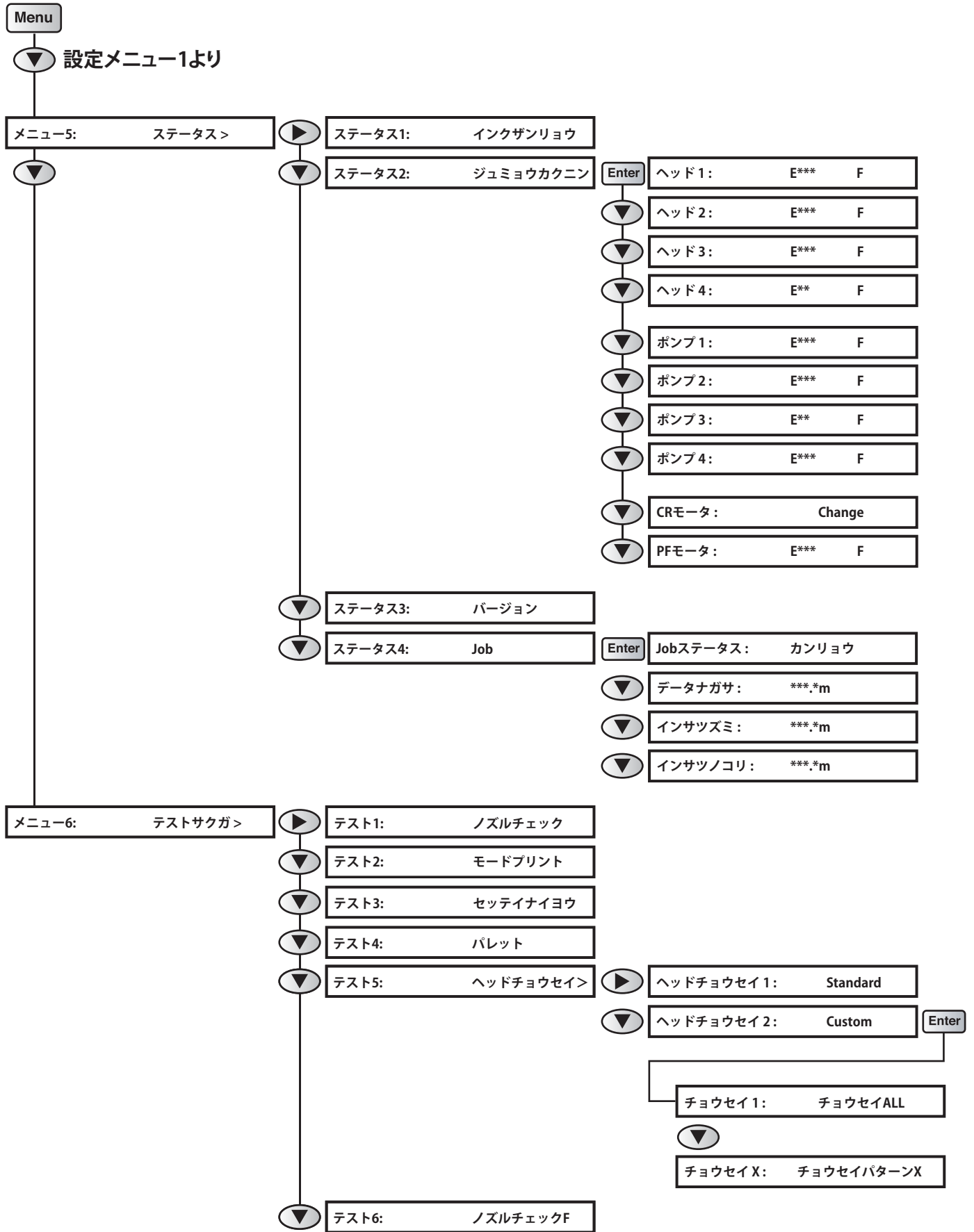


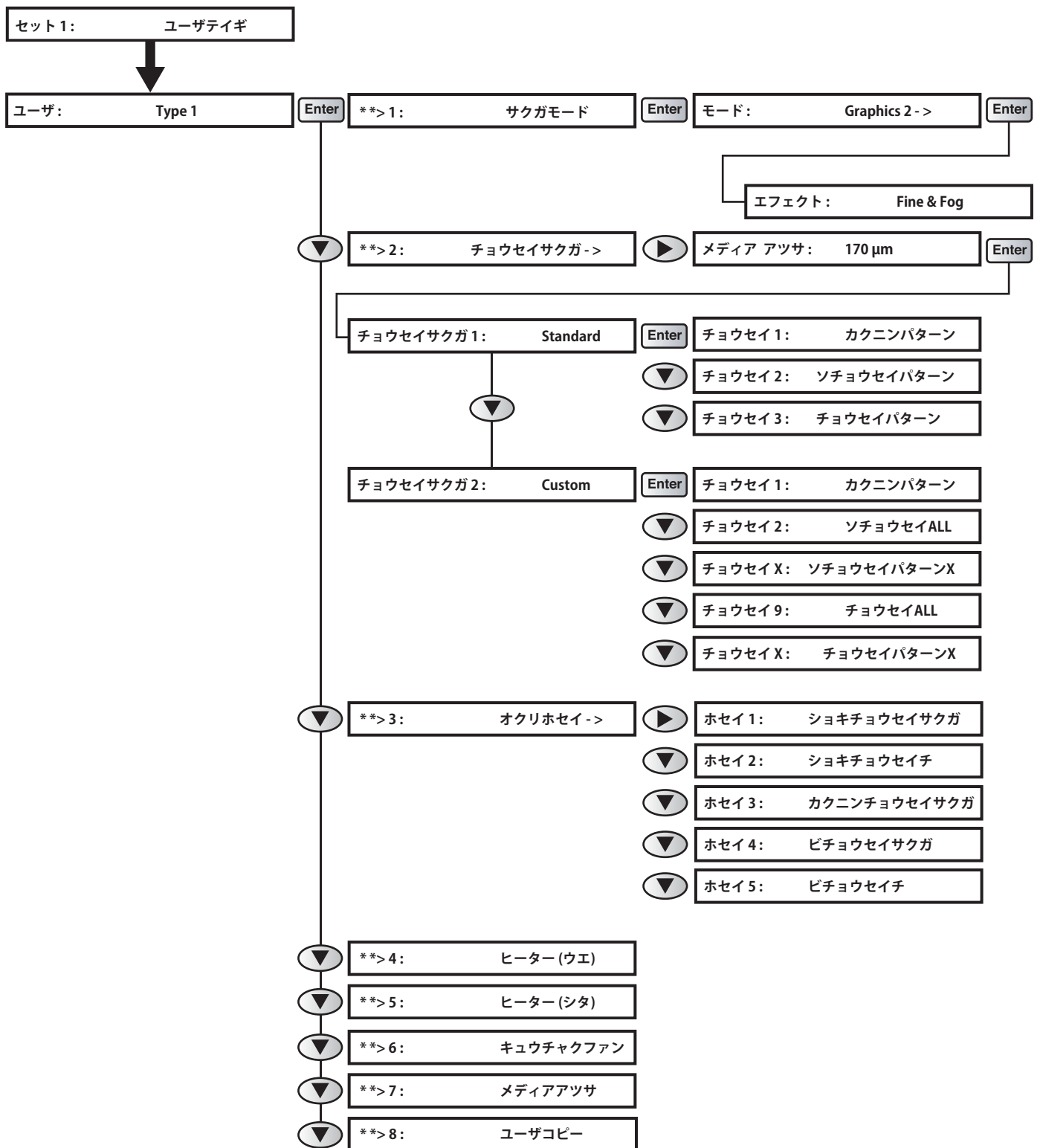
メニューチャート

設定メニュー 1

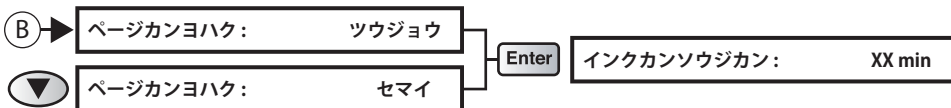
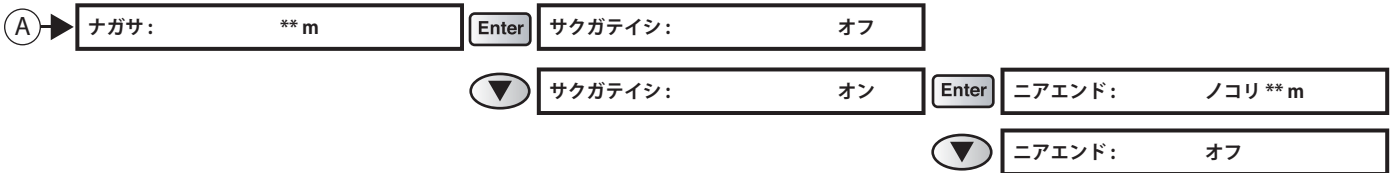
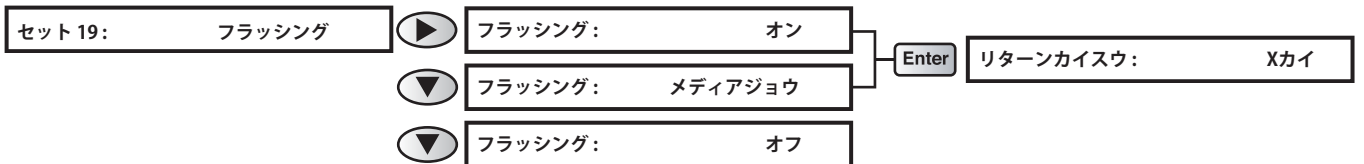
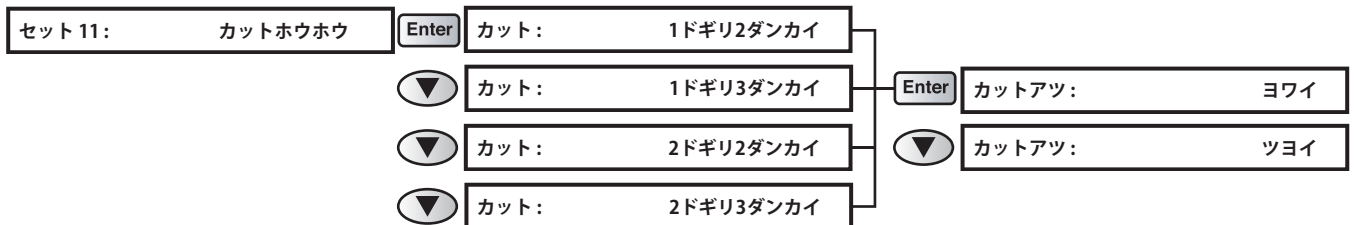
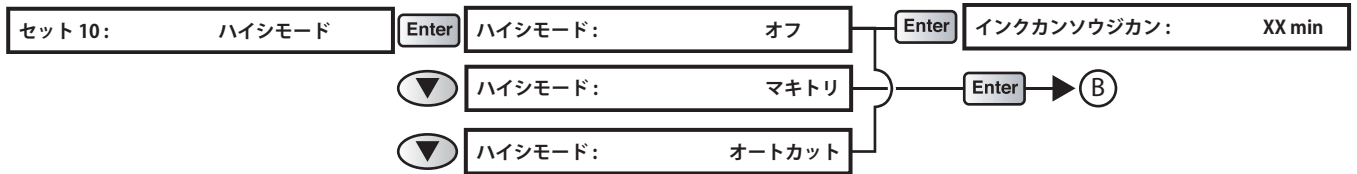
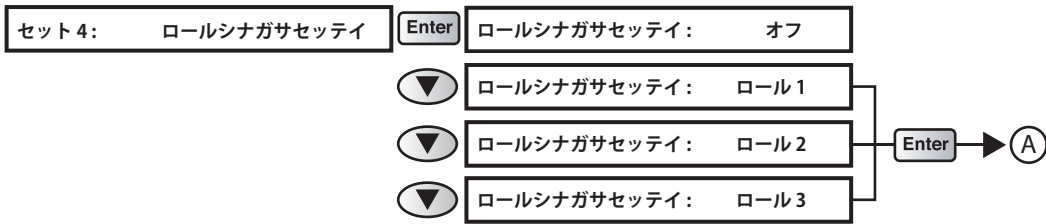


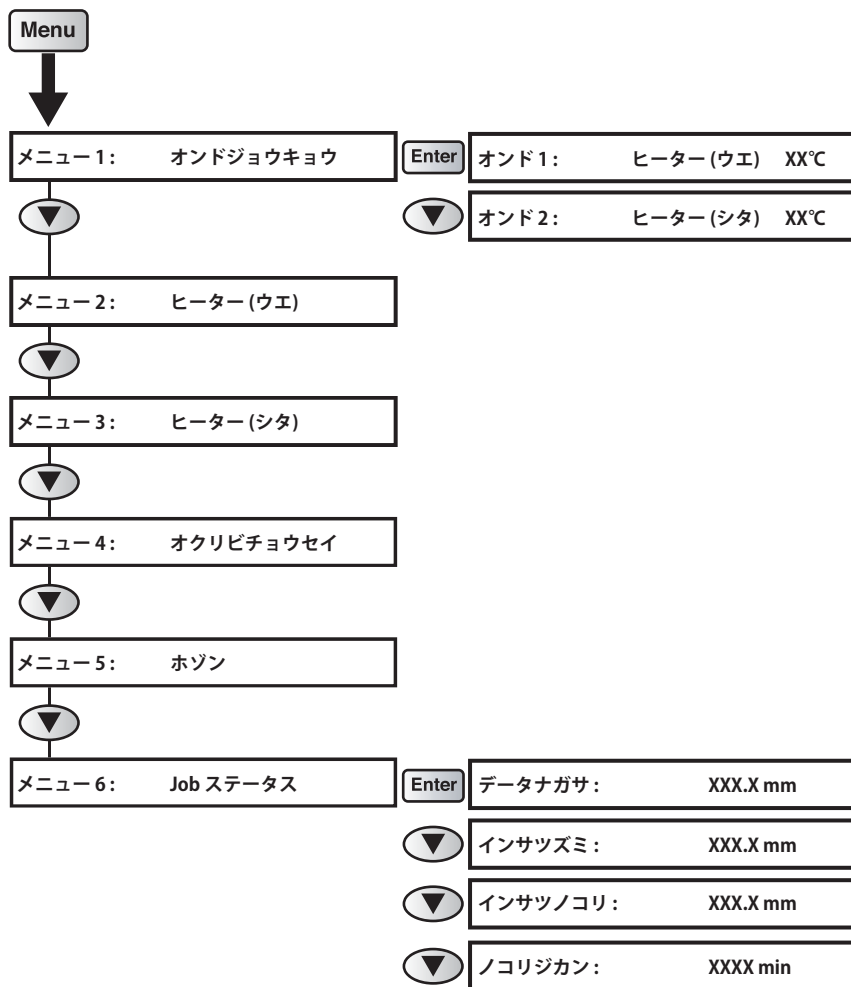




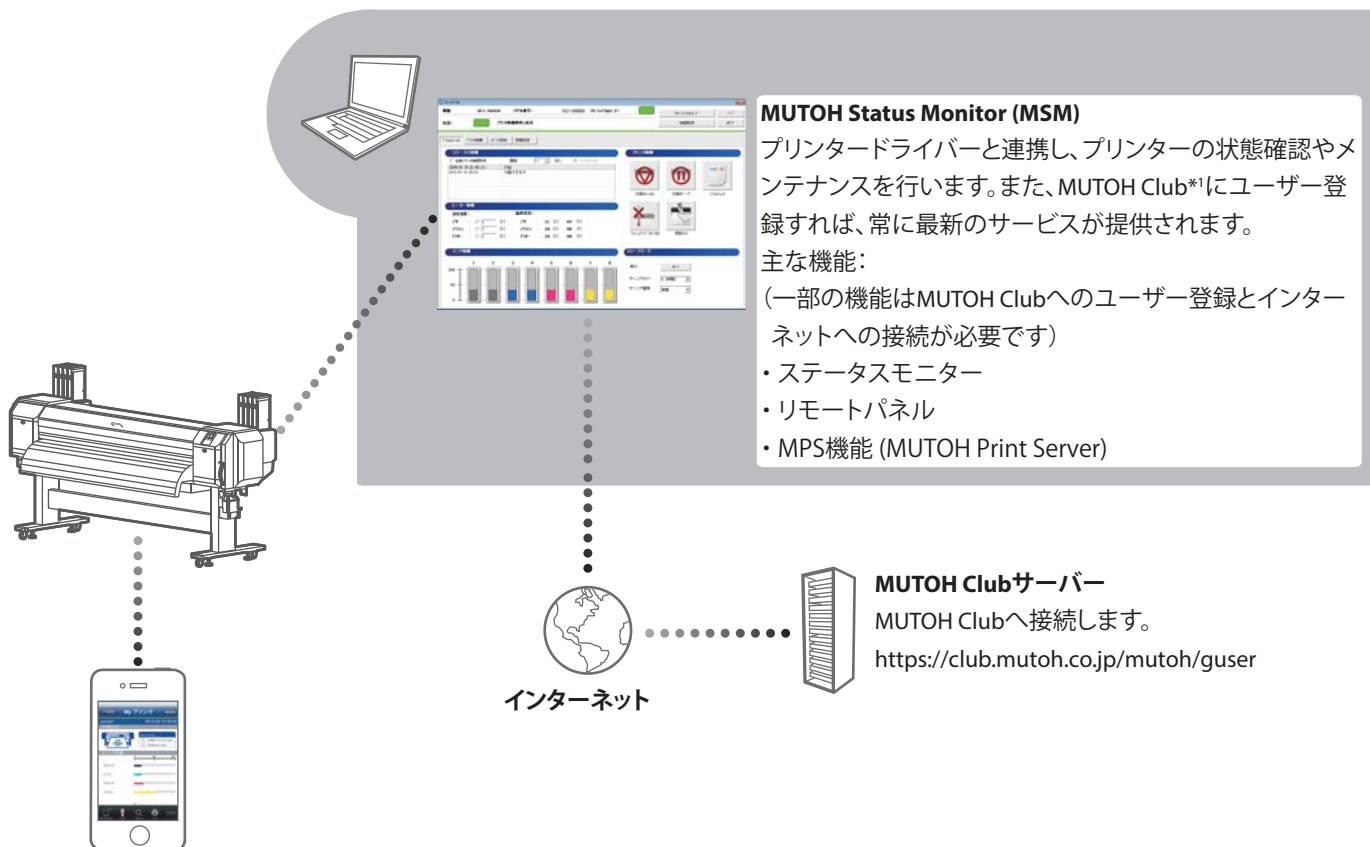


設定メニュー 5





本製品のシステム構成



VSM Mobile

お手持ちのiPhone、Androidの携帯情報端末からプリンターの状況確認やリモート制御を行えます。

主な機能：

- ステータスマニター
- リモートパネル

*1 MUTOH Club

ユーザーに役立つコンテンツを無料で提供するWebサービスです。ユーザー登録をすると様々なサービスをご利用いただけます。

主な機能：

- 最新アプリ、マニュアルのダウンロード
- メディアプロファイルのダウンロード
- プリンター状態の確認
(MSMのプリンター情報提供サービス使用時)

<印刷サポートソフトについて>

本製品のスペックを最大に発揮するためには、MSMと、MSMのMPS機能をご利用ください。最新のMSMは、MUTOH Clubからダウンロードできます。

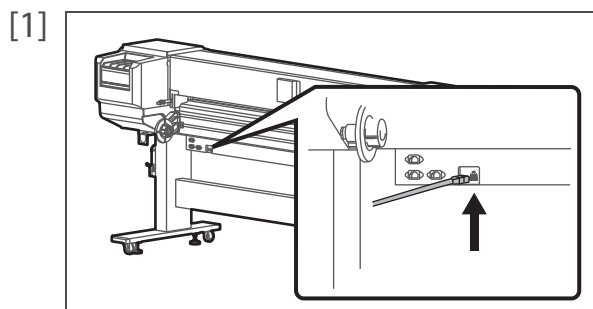
(MPS機能をご利用の場合は、RIPの出力先をMPS機能に切り替えてください。)

コンピューターとの接続

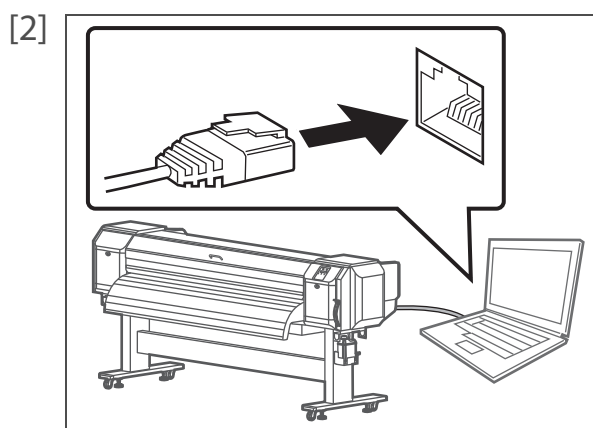
Important!

コンピューターは、以下の条件を満たすものをご使用ください。

- OS : Windows 10 (64bit)、Windows 8/8.1 (64bit)、Windows 7 (64bit)
- CPU : Intel (R) Core (TM) i5 / i7
- メモリ : 8G バイト以上
- ネットワーク : ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用



ギガビットイーサネットケーブルを本製品に接続します。



ギガビットイーサネットケーブルを、コンピューターに接続します。

[3] プリンターの操作パネルで、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

👉 「初期設定 5 : IP アドレス」P.84 「初期設定 6 : サブネットマスク」P.85 「初期設定 7 : ゲートウェイ」P.85

Note

- 上図は本製品とコンピューターを 1 対 1 接続した例です。接続方法はご使用の環境により異なります。
- 本製品を LAN で使用する場合は、接続先のコンピューターと同じサブネットになるようにしてください。

MSM の起動方法／表示方法／終了方法

MSM の起動方法



Windows 8 / Windows 8.1

- [スタート] 画面で、[デスクトップ] をクリックします。
- デスクトップの MSM アイコンをダブルクリックします。

Windows 10 / Windows 7

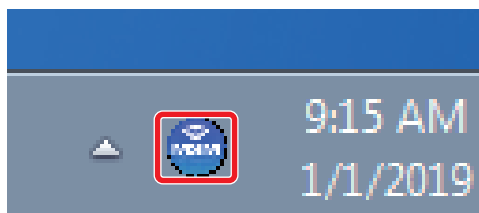
デスクトップの MSM アイコンをダブルクリックします。

Note

Windows のスタートメニューから起動する方法

- Windows 8 / Windows 8.1
[スタート] 画面のタイルが表示されていないところで、右クリックしてアプリバーを表示し、[すべてのアプリ] をクリックします。
[MUTOH Status Monitor] をクリックします。
- Windows 10 / Windows 7
[スタート] メニューから [すべてのプログラム] (または [すべてのアプリ]) - [MUTOH] - [MUTOH Status Monitor] の順にクリックします。

MSM の表示方法



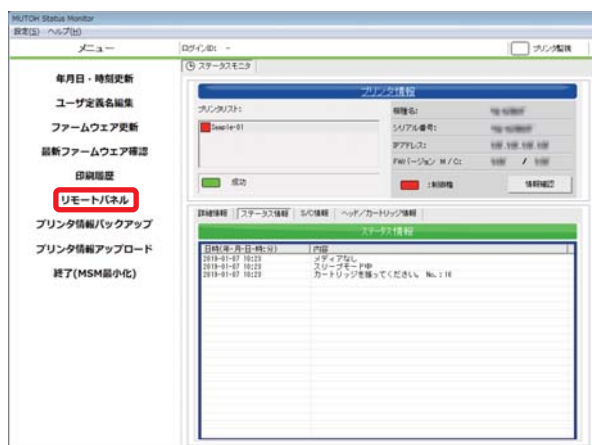
タスクトレイの MSM アイコンをダブルクリックします。

リモートパネルの表示方法

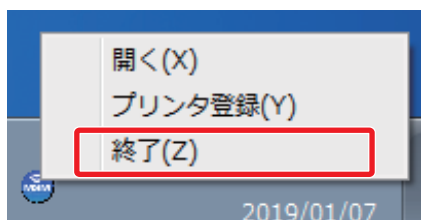
リモートパネルは、本製品の状態を見たり、操作したりするときに使用します。

[リモートパネル] をクリックします。

- ・リモートパネルが開きます。



MSM の終了方法



タスクトレイの MSM アイコンを右クリックし、[終了] をクリックします。

Note

通常のご使用時は MSM を終了させないでください。MSM の画面を閉じるときは、メニューバーの [設定] - [閉じる] の順にクリックします。

Windows 8.1

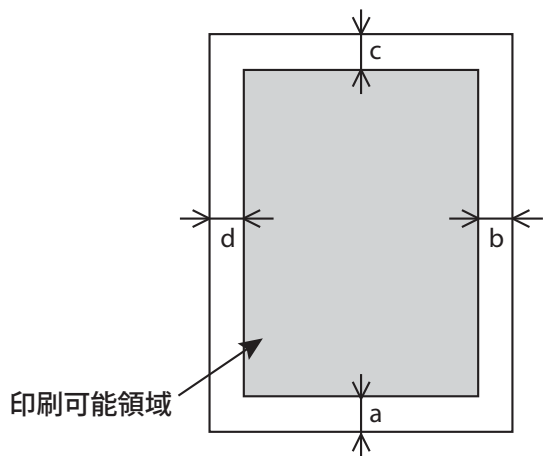
[スタート] 画面の下矢印 をクリックします。

[MUTOH Status Monitor] をクリックします。

本製品の印刷エリア

印刷は常に原点位置（印刷開始点）から開始します。

下図は印刷結果の例です。



a=5 mm *¹
b=5 mm~25 mm
c=5 mm
d=5 mm~25 mm

*¹ ただし下記の場合は15 mmとなる

- メディアイニシャル直後
- メディア送りを[Backward ↑]キーで行ったとき

また、下記の場合は40 mmとなる

- メディア検出「Top&Width」設定時
- カット動作後

使用できるメディアの条件

本製品は、以下のメディアを使用することができます。

使用可能サイズ

外径	150mm 以下
紙管径	2 インチまたは 3 インチ
重量	30 kg 以下
最大幅	1,910 mm
最小幅	900 mm
最大厚さ	2.8 mm (ヘッド高さ「High」設定時)

Important!

ヘッド高さの初期値は「Low」に設定されています。

ヘッド高さ「Low」設定時、使用可能なメディアの最大厚さは 0.3 mm です。

ご使用上のお願い

定期的に使用してください

本製品は1週間に1度は使用することをおすすめいたします。
長時間放置するとプリントヘッドのノズルが詰まり、故障の原因となります。

インクパックの取り扱いに注意してください

- ・ インクパックをはじめて使用する前に、かならず安全データシート（SDS）をお読みの上、作業を行ってください。
- ・ インクパックを分解しないでください。
分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着し、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
- ・ インクパックを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。
そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ・ インクパックを落としたり、強く叩いたりしないでください。
インクが漏れる場合があります。

定期メンテナンスを実施してください

本製品は日常のメンテナンスが必要です。

- ・ 印刷前と後に、ノズルチェックを行ってください。
ノズル抜けがある場合はヘッドクリーニングを行ってください。
- ・ 1週間に1度はクリーニングワイパーとプリントヘッド外周部を清掃してください。
- ・ 長時間（1週間以上）使用しない場合は、1週間に1度ヘッドクリーニングを行ってください。
- ・ 1か月に1度は内部の清掃を行ってください。
- ・ 廃液タンクを定期的を確認し、満タンになる前に廃液を排出してください。

定期的な交換が必要な部品があります

本製品には、長期間のご使用により交換が必要になる部品があります。

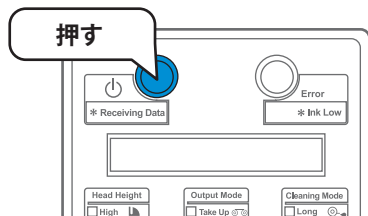
- ・ ユーザーによる交換が必要な部品：フラッシングボックス用吸収材、カッター
- ・ サービスマンによる交換が必要な部品：各種モーター、各種ポンプ、プリントヘッド

電源のオンオフ

電源をオンにする

[1] フロントカバーを閉じます。

[2]



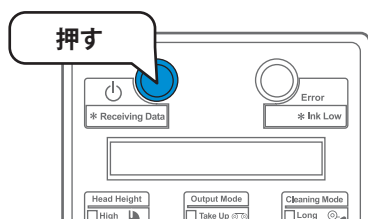
本製品の電源ボタンを押します。

- 青色のランプが点灯します。
- 本製品が初期動作を開始します。

電源をオフにする

[1] 印刷が終わっていることを確認します。

[2]



本製品の電源ボタンを押します。

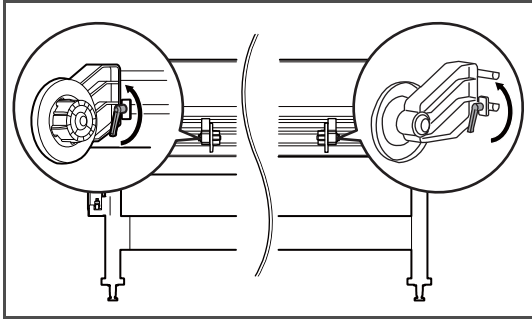
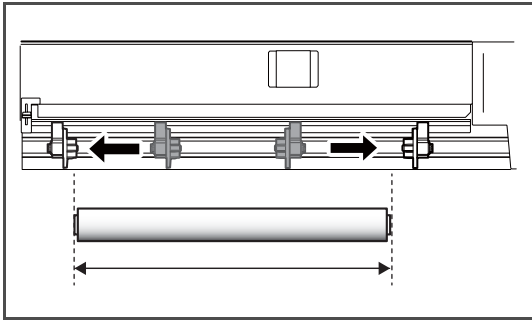
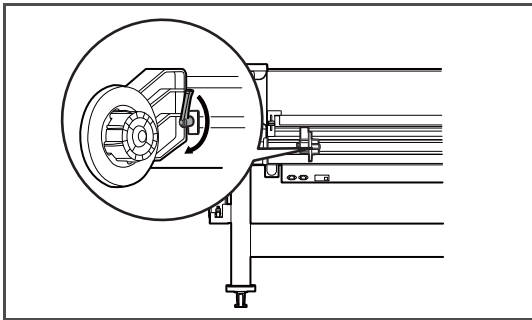
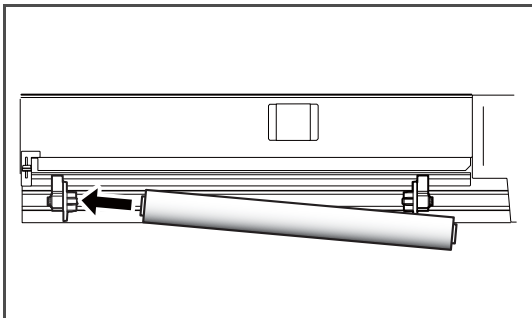
- 本製品が電源オフ動作を開始します。
- 青色のランプが消灯します。

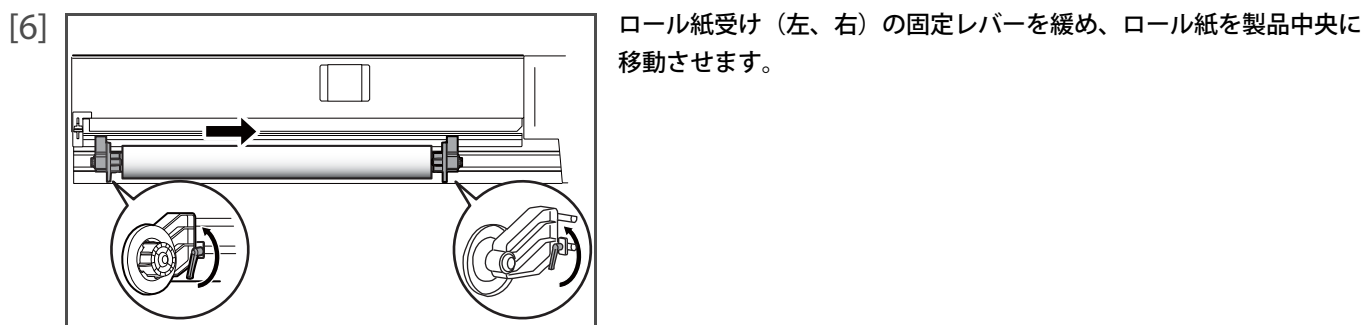
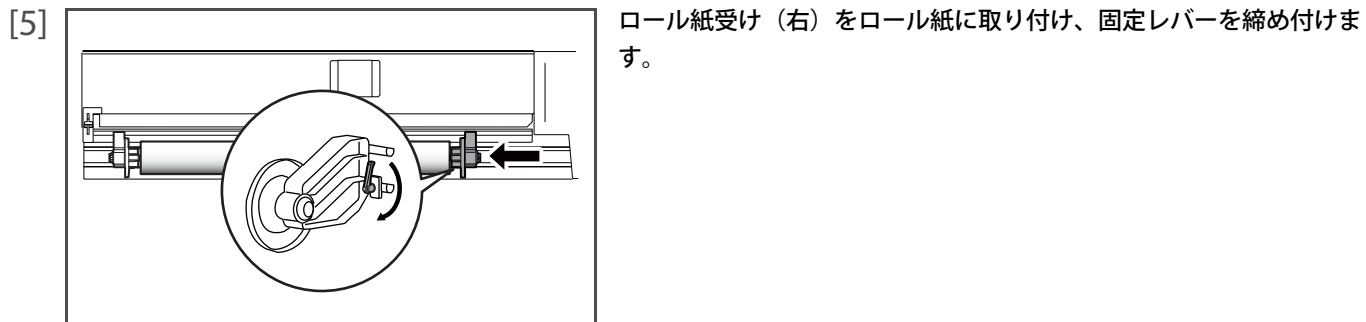
メディアのセット方法

ロール紙受けにメディアを取り付ける

Important!

メディアをセットする場合は、セットするメディアに合わせて、2人以上で作業することをおすすめします。

- [1]  プリンター背面の左右のロール紙受けの固定レバーを緩めます。
- [2]  左右のロール紙受けの間隔を、セットするロール紙幅より大きく広げます。
- [3]  ロール紙受け（左）の固定レバーを締め付け、ロール紙受け（左）を固定します。
- [4]  ロール紙をロール紙受け（左）に取り付けます。

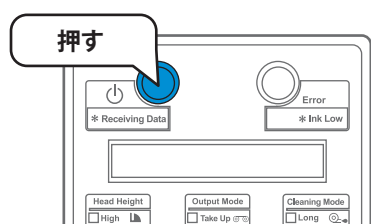


 Note

固定レバーを締め付けるときに、ロール紙受けをプリンター側に押し付けてください。
押し付けないと、ロール紙の重みでレバーが完全にロックできない場合があります。

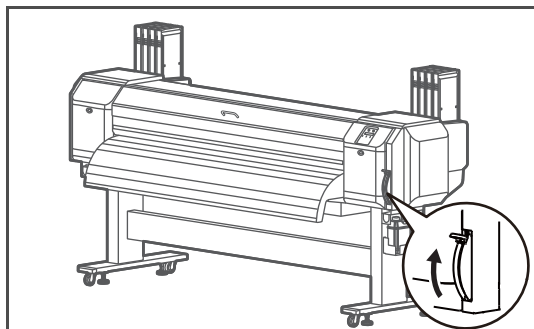
プリンターにメディアをセットする

[1]



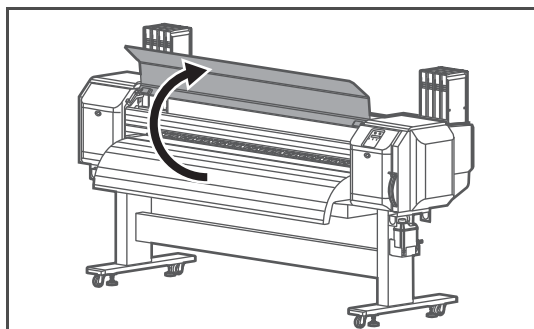
プリンターの電源をオンにします。

[2]



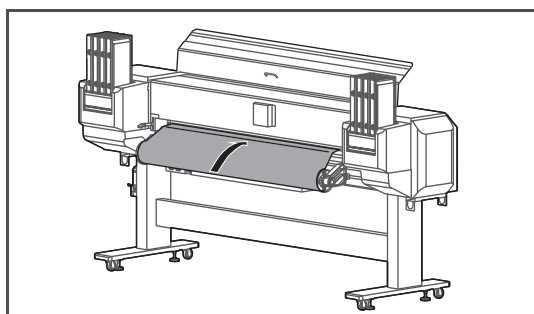
メディアセットレバーを上げます。

[3]



フロントカバーを開きます。

[4]

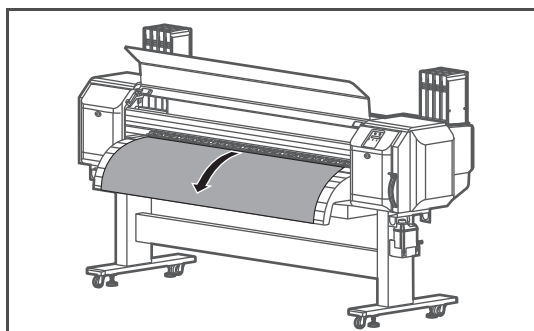


メディアを給紙スロットに差し込みます。



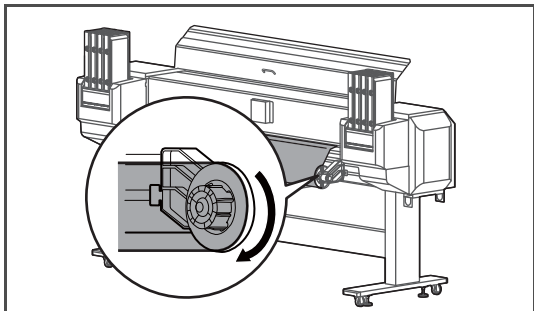
ロール紙端に巻乱れがある場合は、巻きなおしてからセットしてください。

[5]



正面側の給紙スロットから、メディアを約1m引き出します。

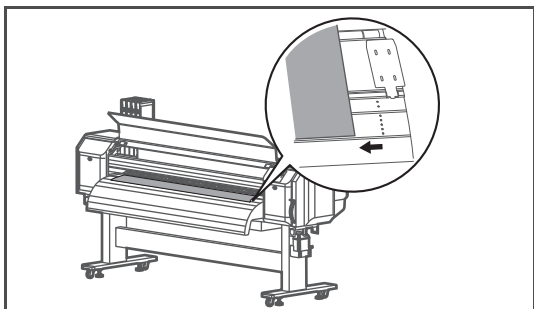
[6]



メディア先端を押さえながら、ロール紙受けのフランジを回してロール紙を少し巻き戻し、メディアのたわみおよび斜行を取り除きます。

 Note

メディアを巻き戻している途中で手を放すと、メディアが給紙スロットから抜けて製品背面側に落ちることがあります。



メディアの右端がメディアセット目安よりも右側に入らないようにしてください。印刷品質に影響する場合があります。

メディアをセットしたら・・・

- [1] **メディアヲセットシテクダサイ** 操作パネルに「メディアヲセットシテクダサイ」と表示されます。

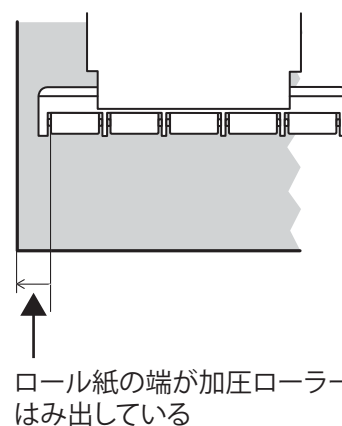
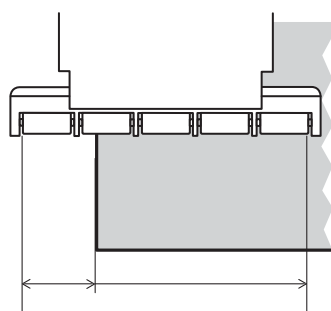
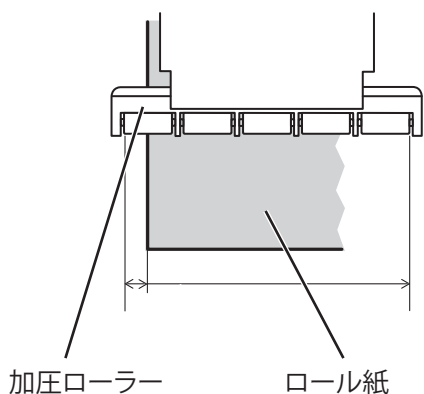
- [2]  メディアセットレバーを下げます。

- [3] メディアの端が加圧ローラーに適切に押さえられていることを確認します。

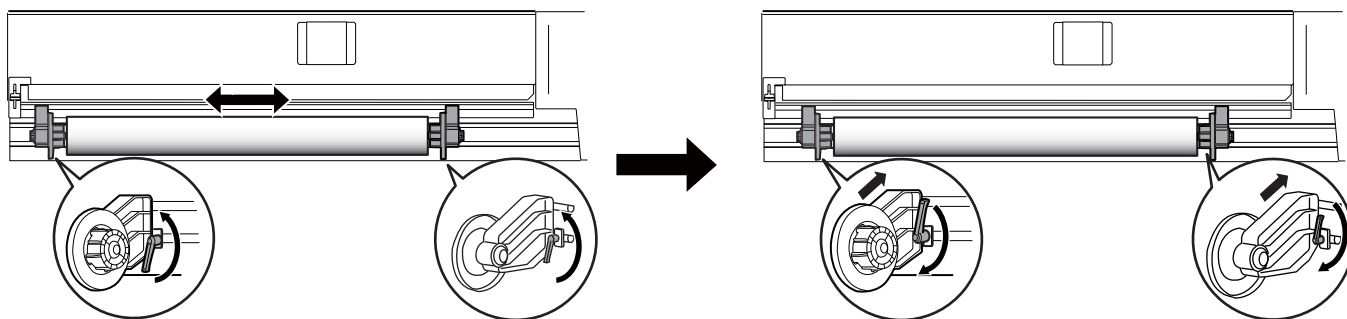
Good

Good

Not Good

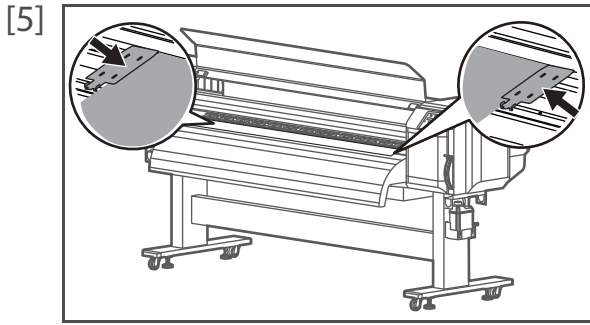


- [4] メディアが適切に押さえられていない場合は、以下の手順に従って、メディアの位置を調整してください。
- メディアセットレバーを上げます。
 - ロール紙受け（左、右）の固定レバーを緩め、ロール紙を左または右に動かします。
 - ロール紙受けをプリンター側に押しつけながら、ロール紙受け（左、右）の固定レバーを締め付けます。

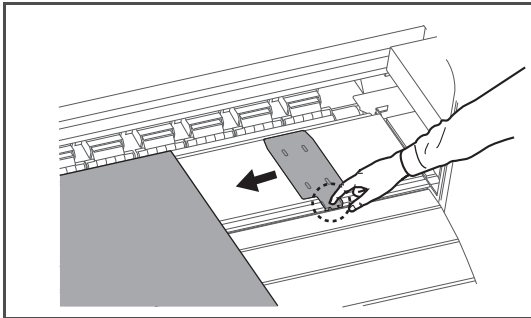


Note

- メディアが適切に押さえられていない場合、印刷時にメディアのズレ、シワ等が発生する恐れがあります。
- 固定レバーを締め付けるときに、ロール紙受けをプリンター側に押し付けてください。押し付けないと、ロール紙の重みでレバーが完全にロックできない場合があります。



メディアの両端にメディア押さえをセットします。

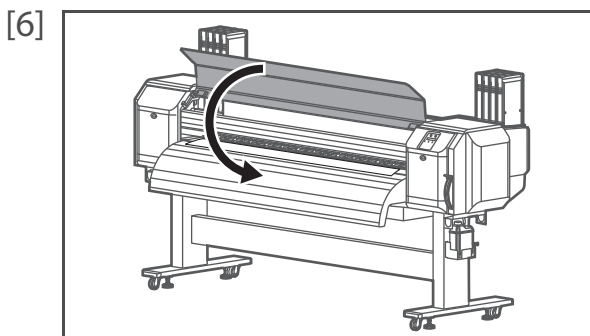


左のイラストの点線で囲まれた部分を押しながら、メディア押さえをセットします。

- メディアの端が浮く場合は、メディアの端を押さえながらセットします。

Important!

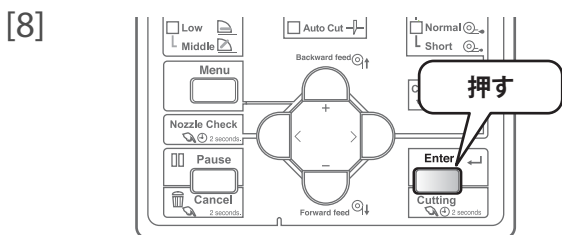
初期設定では、メディアの端から 5 mm の部分から印刷を行います。
メディア押さえは、メディアと重なる部分が 5 mm 未満になるようにセットしてください。



フロントカバーを閉じます。



操作パネルに「ユーザ： Type ** OK?」と表示されます。
• 使用するユーザ定義を [+] キー / [-] キーで選択します。



[Enter] キーを押して、メディアイニシャルを実行します。
• メディアセットを終了します。

ノズルチェックとクリーニング

毎日の作業前にノズルチェックをしてください。ノズル抜けがあるときは、クリーニングをしてください。

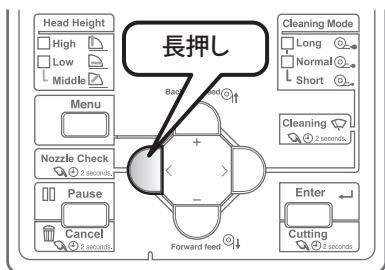
ノズルチェック

ノズルチェックの手順

- [1] ノズルチェックで使用するメディアをセットします。

👉 「メディアのセット方法」P.26

- [2]

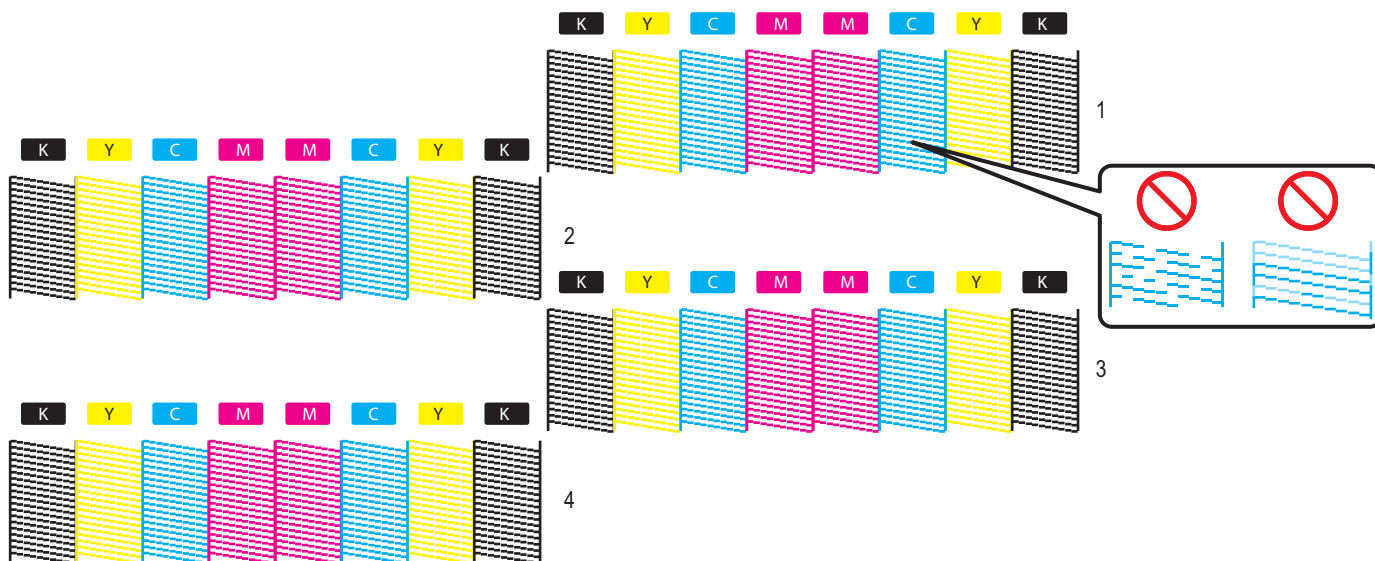


[Nozzle Check] キーを 2 秒以上長押しします。

- ・ノズルチェックパターンを印刷します。

- [3] パターンを確認します。

- ・ノズル抜けがある場合は、「クリーニングの手順」P.33 に進みます。
- ・ノズル抜けがない場合は、印刷を開始できます。



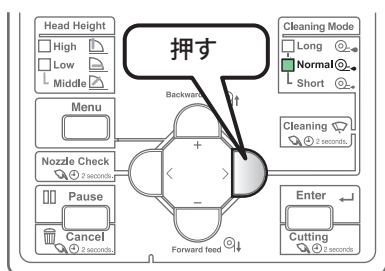
Note

- ・上記のパターンは、4色使用、プリントヘッド選択：ALL、プリントノズル選択：ALL の場合です。プリントヘッド選択とプリントノズル選択の設定によっては、印刷されない部分が生じます。
- ・パターンの右側にある数字は、それぞれのパターンを印刷したプリントヘッドを表します。
- ・ノズル抜けが特定のプリントヘッドで発生している場合、ヘッド選択メニューでクリーニングを行うプリントヘッドを選択することで、インクの消費量を抑えることが期待されます。
👉 「ヘッド選択」P.79
- ・プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

クリーニング

クリーニングの手順

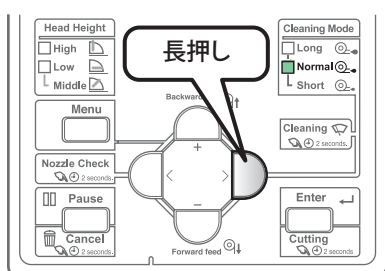
[1]



[Cleaning] キーを押して、[Cleaning Mode] ランプが [Normal] に点灯しているようにします。

- ・クリーニングモードが「通常」に設定されます。

[2]



[Cleaning] キーを 2 秒以上長押しします。

- ・クリーニングを開始します。

[3] もう一度、ノズルチェックを行います。

👉 [「ノズルチェックの手順」P.32](#)

- ・ノズル抜けが直らない場合は、通常クリーニングを繰り返してください。「微量」「強力」「微量充てん」「初期充てん」については、[「ヘッドクリーニング」P.103](#) を参照してください。
- ・ノズル抜けが特定のプリントヘッドで発生している場合、クリーニングを行うプリントヘッドを選択することで、インクの消費量を抑えることが期待されます。

👉 [「ヘッド選択」P.79](#)

印刷精度の調整

初回の印刷を開始する前に、印刷精度の調整を行ってください。

ヘッド調整

プリントヘッド間のズレを、本メニューの調整パターンの印刷結果で確認し、調整することができます。

本メニューには以下の調整方式があります。

ヘッドチョウセイ1:	Standard
------------	----------



現在のユーザ定義で使用している作画モードのみを調整します。

Standard で調整したときは、RIP 側の作画モードの解像度、パス数、作画方向をユーザ定義の作画モードと同じにしてください。

ヘッドチョウセイ2:	Custom
------------	--------

現在のユーザ定義で使用している作画モード以外の作画モードを含めて調整できます。RIP 側の作画モードがユーザ定義の作画モードと違っていても、画質が最適になります。

Note

- 以下の場合にはヘッド調整を行うと、画質が改善できる可能性があります。
作画方向が片方向の作画モードを使用していて画質が気になるとき  「[作画モードの詳細](#)」P.56
画質調整をしても画質が向上しないとき
- ヘッド調整を行った後は、かならず画質調整を行ってください。
ヘッド調整の影響で、ズレが生じる可能性があります。  「[画質調整](#)」P.36
- Standard ヘッド調整を行った後に、作画モードを変更するときは、かならずヘッド調整も合わせて行ってください。
- Custom ヘッド調整の「調整 ALL」を行った場合は、すべての作画モードを一度に調整するため、作画モードを変更してもヘッド調整は不要です。
- RIP ソフトなどで、ユーザ定義での設定とは異なる作画モードを指定するような場合は、Custom ヘッド調整であらかじめすべてのパターン (A～F) を確認し、ズレがあるパターンは調整を行っておいてください。

ヘッド調整の手順

- [1] プリンターの電源をオンにして、メディアをセットします。

 「メディアのセット方法」P.26

- [2]  [Menu] キーを押します。

- [3]

メニュー6:	テストサクガ >
--------	----------

 • [-] キーを何回か押して、左の表示にします。
• [>] キーを押します。

- [4]

テスト5:	ヘッドチョウセイ >
-------	------------

 • [-] キーを何回か押して、左の表示にします。
• [>] キーを押します。

- [5]

ヘッドチョウセイ1:	Standard
------------	----------

 • [+] キー / [-] キーで調整方式を選択します。
• [Enter] キーを押します。

ヘッドチョウセイ2:	Custom
------------	--------

- [6] 印刷を開始します。
• 確認パターンが印刷されます。

- [7] 以下の手順に従って、調整します。

 「手順」P.92

画質調整

プリントヘッドの往復動作のズレを、本メニューの調整パターンの印刷結果で確認し、調整することができます。

本メニューには以下の調整方式があります。

チョウセイサクガ1: Standard

現在のユーザ定義で使用している作画モードのみを調整します。

Standard で調整したときは、RIP 側の作画モードの解像度、パス数、作画方向をユーザ定義の作画モードと同じにしてください。

チョウセイサクガ2: Custom

現在のユーザ定義で使用している作画モード以外の作画モードでも調整できます。RIP 側の作画モードがユーザ定義の作画モードと違っていても、画質が最適になります。

Note

- 製品の設置環境、使用するメディア等を変更して、作画画質が変化した場合に、画質調整を行ってください。
- Standard 画質調整を行った後に、作画モードを変更する場合は、かならず画質調整も合わせて行ってください。
- Custom 画質調整を行った場合は、すべての作画モードを一度に調整するため、作画モードを変更しても画質調整は不要です。
- RIP ソフトなどで、ユーザ定義での設定とは異なる作画モードを指定するような場合は、Custom 画質調整であらかじめすべてのパターン（A～F）に対して調整を行っておいてください。
- 以下の場合にはヘッド調整を行うと、画質が改善できる可能性があります。☞ [「ヘッド調整」P.34](#)

作画方向が片方向の作画モードを使用していて画質が気になるとき ☞ [「作画モードの詳細」P.56](#)
画質調整をしても画質が向上しないとき

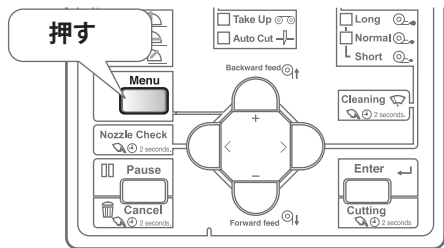
- ヘッド調整を行った後は、かならず画質調整を行ってください。
ヘッド調整の影響で、ズレが生じる可能性があります。

画質調整の手順

- [1] プリンターの電源をオンにして、メディアをセットします。

 「メディアのセット方法」P.26

- [2]  [Menu] キーを押します。



- [3]  [>] キーを押します。




- [4]  [Enter] キーを押します。



- [5]  [+] キー / [-] キーで使用するユーザ定義を選びます。
• [Enter] キーを押します。



- [6]  [-] キーを何回か押して、左の表示にします。
• [>] キーを押します。



- [7]  メディア厚さを設定します。
• [Enter] キーを押します。



- [8]  [+] キー / [-] キーで調整方式を選択します。
• [Enter] キーを押します。



Note

- Standard 画質調整と Custom 画質調整では、選択するパターンの名称が異なります。詳しくは以下のページを参照してください。

 「調整作画 1 : Standard」P.57

 「調整作画 2 : Custom」P.58

- 調整前の確認を行う場合は、「カクニンパターン」を選択します。

「カクニンパターン」の印刷結果を確認し、

- ズレ量が大きいと思われる場合は、「ソチョウセイパターン」を選択します。
- ズレ量が小さいと思われる場合は、「チョウセイパターン」を選択します。

- [9] 以下の手順に従って、調整します。

 「手順」P.59

メディア送り補正

次の場合には、この調整をかならず行ってください。

- 本製品をはじめて使用するとき。
- メディアの種類を変更するとき。

それ以外の場合は、「[ノズルチェックとクリーニング](#)」P.32 に進んでください。

この調整には定規を使用します。市販の定規をご用意ください。

Note

印刷結果に次のような不具合があるときも、メディア送り補正を行うと改善する場合があります。

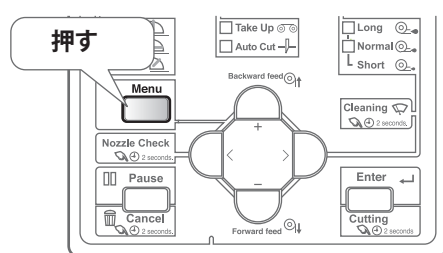
- 画像が重なっている。
- 画像に白いスジが入っている。

メディア送り補正の手順

[1] メディアをセットします。

 「[メディアのセット方法](#)」P.26

[2]



[Menu] キーを押します。

[3]

メニュー1: セッテイ>

[>] キーを押します。

[4]

セット1: ユーザテイギ

[Enter] キーを押します。

[5]

ユーザ: Type 1

[-] キーを何回か押して、使用するユーザ定義を選びます。

- [Enter] キーを押します。

[6]

**> 3:	オクリホセイ >
--------	----------

 [-] キーを何回か押して、左の画面にします。
• [>] キーを押します。

[7]

ホセイ1:	ショキチヨウセイサクガ
-------	-------------

 [+] キー / [-] キーでメニューを選択します。
• [Enter] キーを押します。

ホセイ2:	ショキチヨウセイチ
-------	-----------

ホセイ3:	カクニンチヨウセイサクガ
-------	--------------

ホセイ4:	ビチヨウセイサクガ
-------	-----------

ホセイ5:	ビチヨウセイチ
-------	---------

[8] 以下の手順に従って、調整します。

 [「手順」P.62](#)

ヘッド高さを変更する

メディアが反っていたり、インクを大量に使う印刷をするときは、メディアがプリントヘッドとこすれて汚れることがあります。そのようなときは、プリントヘッドの高さを高くすると改善する場合があります。

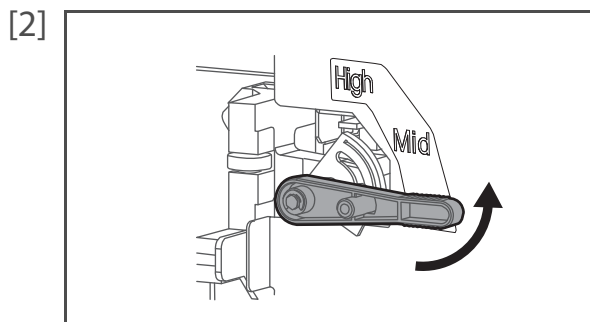
プリントヘッドの高さを変えたときは、かならず画質調整を行ってください。

手順

Important!

印刷中にフロントカバーを開け、ヘッド高さを切り替えしないでください。
ヘッド高さを切り替えると、画質調整が変わってしまい、印刷品質が保証できません。

[1] フロントカバーを開きます。



レバー（オレンジ色）を動かして、ヘッド高さを切り替えます。

- ヘッド高さ「Low」：
操作パネルの Low ランプが点灯します。
- ヘッド高さ「Mid」：
操作パネルの High ランプと Low ランプが点灯します。
- ヘッド高さ「High」：
操作パネルの High ランプが点灯します。

[3] フロントカバーを閉じます。

[4] 画質調整を行います。

 [「画質調整」P.36](#)

加圧ローラーを個別に解除する

薄いメディアやコシのないメディアに印刷するとき、メディアがプリントヘッドとこすれて汚れることがあります。そのようなときは、メディアの両端を押さえている加圧ローラーを解除すると改善する場合があります。

加圧ローラーを個別に解除したときは、かならずメディア送り補正を行ってください。

Note

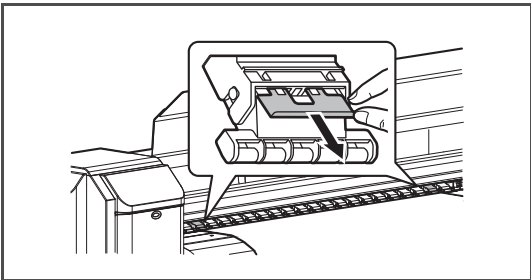
- 薄いメディアやコシのないメディアは、印刷時にシワになりやすい傾向があります。シワがプリントヘッドの下面に接触して、メディアが汚れます。メディア両端の加圧ローラーを解除するとシワの防止に効果があります。
- 薄いメディアやコシのないメディアに印刷するときは、吸着ファンを弱めることも、シワの防止に効果があります。

👉 [「** > 6：吸着ファン」P.66](#)

手順

[1] フロントカバーを開きます。

[2] メディアセットレバーを上げます。

[3]  メディアの両端にある加圧ローラーを解除します。
• 解除スライダを、カチッというところまで手前に引くと解除できます。

[4] メディアセットレバーを下げます。

[5] フロントカバーを閉じます。

[6] メディア送り補正を行います。

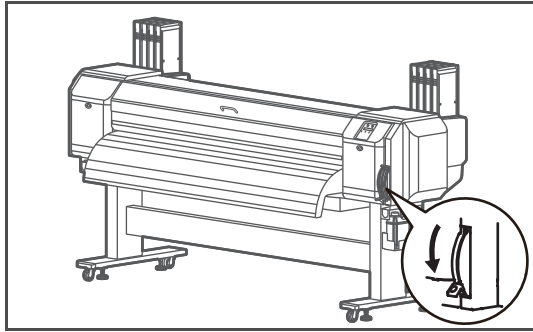
👉 [「メディア送り補正」P.38](#)

操作パネルからの各種操作

メディア送り

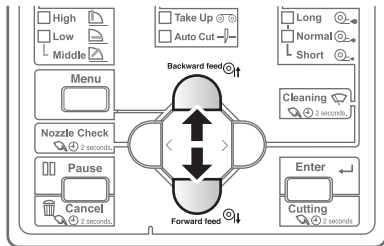
手順

[1]



メディアセットレバーが下がっていることを確認します。

[2]



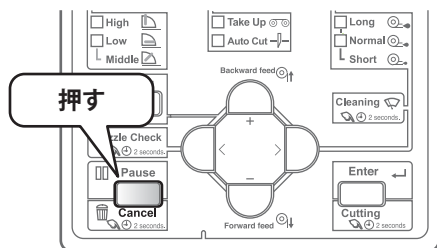
操作パネルの [Forward] キーまたは [Backward] キーを押します。

- [Forward] キー：メディアが順方向に送られます。
- [Backward] キー：メディアが逆方向に送られます。

[3]

メディアを任意の位置まで送ったら、操作パネルの [Forward ↓] キーまたは [Backward ↑] キーをはなします。

印刷の一時停止／再開



印刷中に、[Cancel] キーを押します。

- 印刷が一時停止します。
- [Enter] キーを押すと、印刷が再開します。

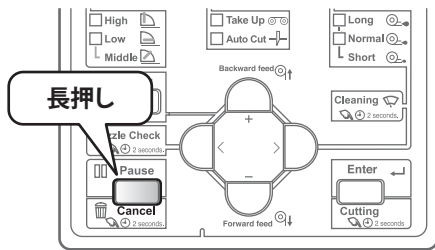
Note

- 本操作では本製品に送信された印刷データを削除しません。
- 印刷を中止しデータを削除する場合は、以下をご覧ください。
👉 [「印刷のキャンセル」P.43](#)

Important!

印刷を一時停止させた場合、印刷品質は保証できません。

印刷のキャンセル



印刷中に、操作パネルの [Cancel] キーを 2 秒以上長押しします。

- 印刷がキャンセルされます（再開はできません）。
- 本製品に送信された印刷データを削除します。



Note

MSM のリモートパネルでも同じことができます。

ウォームアップ中に印刷を開始する

手順

[1] **ウォームアップチュウ**

製品がウォームアップ中であることを確認します。

- 操作パネルに「ウォームアップ° チュウ」と表示されます。

[2] **スキップ** → **Enter**

印刷データを送信します。

- 操作パネルに「ウォームアップ° チュウ」「スキップ° → Enter」と表示されます。

⚠ 注意



「ウォームアップ° チュウ」表示のときは、メディアガイドに触れないでください。
やけどの恐れがあります。

[3] **押す**

操作パネルの [Enter] キーを押します。

- 製品が印刷を開始します。

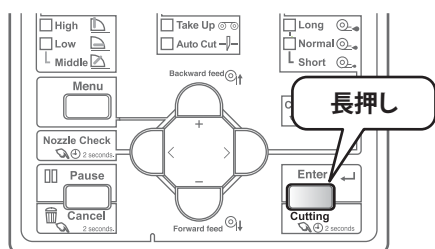
📣 Important!

ウォームアップ中に印刷を開始した場合、印刷品質は保証できません。

📝 Note

ウォームアップ中に印刷を開始した場合も、ウォームアップは設定温度まで継続されます。

ロール紙のカット



操作パネルの [Cutting] キーを 2 秒以上押します。

- 製品は余白分のメディアを送り出し、ロール紙をカットをします。

Note

- 新しいロール紙をセットしたときに、ロール紙の先端がまっすぐになっていない場合は、ロール紙の先端をカットしてください。
- 「メディア検出」が「Off」に設定されている場合は、自動でカットすることができません。
👉 「[セット 2：メディア検出](#)」P.67
- 「排紙モードメニュー」で「オートカット」に設定している場合は、印刷が終了すると、製品は自動的にメディアをカットします。
👉 「[セット 10：排紙モード](#)」P.71
- カッターは消耗品です。定期的に変換してください。
👉 「[カッターの交換](#)」P.115

印刷中に操作パネルでできること

[1]

データジュシンチュウ

データサクガチュウ

データカイセキチュウ

左のメッセージのどれかが表示されているときに、[Menu] キーを押します。

[2]

メニュー 1: オンドジョウキョウ

メニュー 2: ヒーター (ウエ)

メニュー 3: ヒーター (シタ)

メニュー 4: オクリビチョウセイ

メニュー 5: ホゾン

メニュー 6: Job ステータス

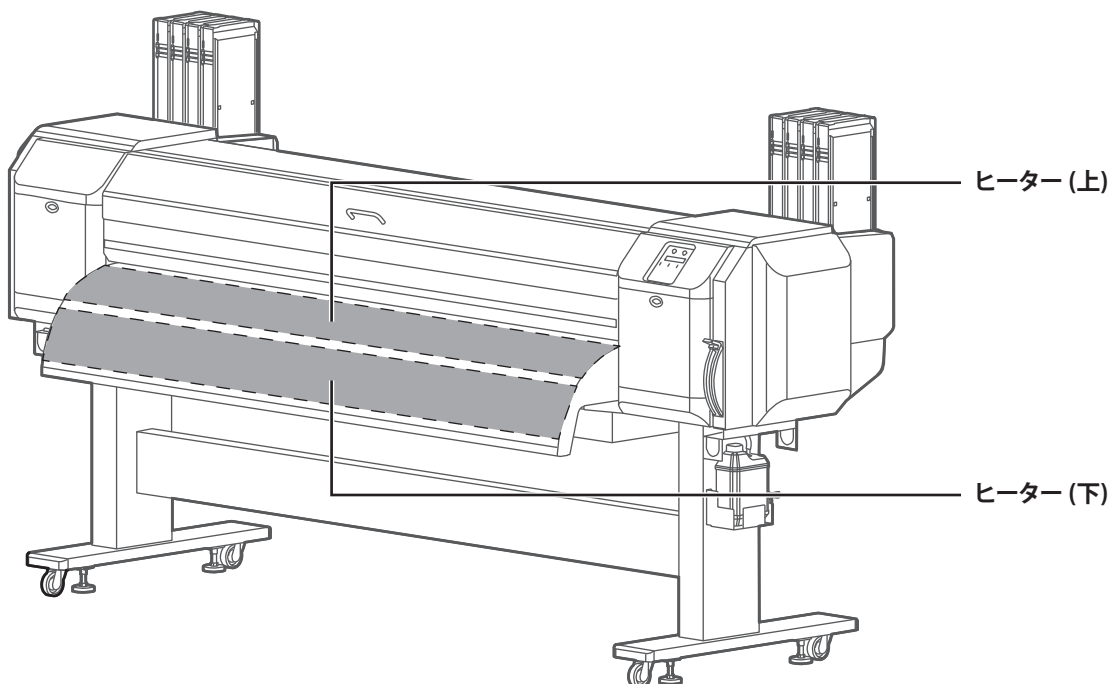
[+] キー / [-] キーでメニューを選択します。

- 👉 「[メニュー 1：温度状況](#)」P.45
- 👉 「[メニュー 2：ヒーター \(上\)](#)」P.46
- 👉 「[メニュー 3：ヒーター \(下\)](#)」P.46
- 👉 「[メニュー 4：送り微調整](#)」P.47
- 👉 「[メニュー 5：保存](#)」P.47
- 👉 「[メニュー 6：Job ステータス](#)」P.48

メニュー 1：温度状況

このメニューでは、印刷中のヒーターの温度状況を確認できます。

- パネル設定メニューの関連箇所については、以下をご覧ください。
☞ 「**>4：ヒーター（上）」P.65、「**>5：ヒーター（下）」P.65
- ヒーター（上）、ヒーター（下）の配置は、以下のイラストの通りです。



- [1]

メニュー 1:	オンドジョウキョウ
---------	-----------

 [Enter] キーを押します。
- [2]

オンド 1:	ヒーター (ウエ) XX°C
--------	----------------

オンド 2:	ヒーター (シタ) XX°C
--------	----------------

 [+] キー / [-] キーで確認する項目を選択します。

Note

この機能で表示される数値は目安です。厳密な精度を保証するものではありません。

メニュー 2：ヒーター（上）

このメニューでは、ヒーター（上）の設定値を、現在の印刷の間だけ変更できます。

- パネル設定メニューの関連箇所については、以下をご覧ください。

 [「**>4：ヒーター（上）」P.65](#)

[1]

メニュー 2： ヒーター (ウエ)

[Enter] キーを押します。

[2]

ヒーター (ウエ)： XX°C

[+] キー / [-] キーで設定値を変更します。

- [Enter] キーを押して確定します。

Note

- このメニューでの設定値の変更は、印刷完了後は無効になります。
- 変更を、現在選択中のユーザ定義に反映する場合は「メニュー 5：ホゾン」から保存してください。

メニュー 3：ヒーター（下）

このメニューでは、ヒーター（下）の設定値を、現在の印刷の間だけ変更できます。

- パネル設定メニューの関連箇所については、以下をご覧ください。

 [「**>5：ヒーター（下）」P.65](#)

[1]

メニュー 3： ヒーター (シタ)

[Enter] キーを押します。

[2]

ヒーター (シタ)： XX°C

[+] キー / [-] キーで設定値を変更します。

- [Enter] キーを押して確定します。

Note

- このメニューでの設定値の変更は、印刷完了後は無効になります。
- 変更を、現在選択中のユーザ定義に反映する場合は「メニュー 5：ホゾン」から保存してください。

メニュー 4：送り微調整

このメニューでは、送り補正の調整値を、現在の印刷の間だけ変更できます。

- ・ パネル設定メニューの関連箇所については、以下をご覧ください。

 [「**> 3：送り補正」P.62](#)

- | | | |
|-----|--------------------------------------|--|
| [1] | メニュー 4: オクリビチョウセイ | [Enter] キーを押します。 |
| [2] | オクリチョウセイチ: 5.00 % | [+] キー / [-] キーで設定値を変更します。
・ [Enter] キーを押して確定します。 |

Note

- ・ このメニューでの設定値の変更は、印刷完了後は無効になります。
- ・ 変更を、現在選択中のユーザ定義に反映する場合は「メニュー 5：ホゾン」から保存してください。

メニュー 5：保存

このメニューでは、「メニュー 2：ヒーター（ウエ）」、「メニュー 3：ヒーター（シタ）」、「メニュー 4：オクリビチョウセイ」での変更を、現在選択中のユーザ定義に反映できます。

- | | | |
|-----|--------------------------------|------------------|
| [1] | メニュー 5: ホゾン | [Enter] キーを押します。 |
| [2] | パラメータヲ ホゾンシマスカ? | [Enter] キーを押します。 |
| | ** パラメータ ホゾンチュウ ** | 設定値が保存されます。 |

メニュー 6：Job ステータス

印刷中のデータについて情報を表示します。

- ・ パネル設定メニューの関連箇所については、以下をご覧ください。

 「メニュー 5：ステータス」P.54

[1]

メニュー 6:	Jobステータス
---------	----------

[Enter] キーを押します。

[2]

データナガサ:	XXX.X mm
---------	----------

インサツズミ:	XXX.X mm
---------	----------

インサツノコリ:	XXX.X mm
----------	----------

ノコリジカン:	XXXX min
---------	----------

[+] キー / [-] キーでメニューを選択します。

- ・ データナガサ：印刷中のデータの全長（メディア送り方向）を確認します。
- ・ インサツズミ：印刷中のデータについて、印刷済みの部分の長さを確認します。
- ・ インサツノコリ：印刷中のデータについて、まだ印刷されていないデータの長さを確認します。
- ・ ノコリジカン：印刷にかかる残り時間を表示します。



Note

- ・ この機能で表示される数値は目安です。厳密な精度を保証するものではありません。
- ・ 印刷データに長さ情報が含まれていない場合は、すべての項目で「0」を表示します。

第2章 パネル設定メニュー

はじめに	51
キー操作	51
パネル設定メニュー	52
メニュー 1：設定	55
セット 1：ユーザ定義	55
セット 2：メディア検出	67
セット 3：メディア幅	67
セット 4：ロール紙長さ設定	67
セット 5：スタートフィード	69
セット 6：サイドマージン	69
セット 7：原点設定	70
セット 8：貼り付き防止	70
セット 9：斜行チェック	71
セット 10：排紙モード	71
セット 11：カット方法	72
セット 12：CR 作画移動幅	73
セット 13：重ね描き回数	73
セット 14：重ね描きウェイト	73
セット 15：排気ファン	74
セット 16：待機ヒート	74
セット 17：プリントヘッド選択	74
セット 18：プリントノズル選択	75
セット 19：フラッシング	76
セット 20：先端処理	77
セット 21：ヘッドオーバーラップ	77
セット 22：初期化	78
セット 23：警告ブザー	78
セット 24：一時詳細表示	78
メニュー 2: クリーニング	79
メニュー 3: メンテナンス	80
メンテナンス 1：CR メンテナンス	80
メンテナンス 2：ヘッド洗浄	80
メンテナンス 3：オートクリーニング	81
メンテナンス 4：スリープモード	82

メニュー 4: 初期設定..... 83

初期設定 1: 言語	83
初期設定 2: 温度	83
初期設定 3: 長さ	83
初期設定 4: ヘッダーダンブ	84
初期設定 5: IP アドレス	84
初期設定 6: サブネットマスク	85
初期設定 7: ゲートウェイ	85
初期設定 8: 簡易選択.....	86

メニュー 5: ステータス..... 87

ステータス 1: インク.....	87
ステータス 2: 寿命	87
ステータス 3: バージョン.....	88
ステータス 4: Job	88

メニュー 6: テスト作画..... 89

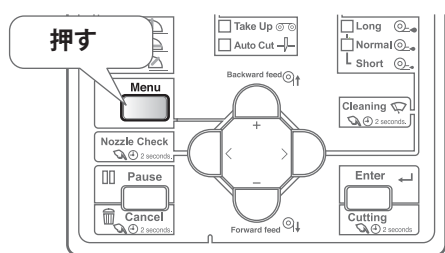
テスト 1: ノズルチェック	89
テスト 2: モードプリント	89
テスト 3: 設定内容作画.....	90
テスト 4: パレット作画.....	90
テスト 5: ヘッド調整.....	91
テスト 6: ノズルチェック F	93

はじめに

本製品の各種設定は、パネル設定メニューで行います。

キー操作

[1]



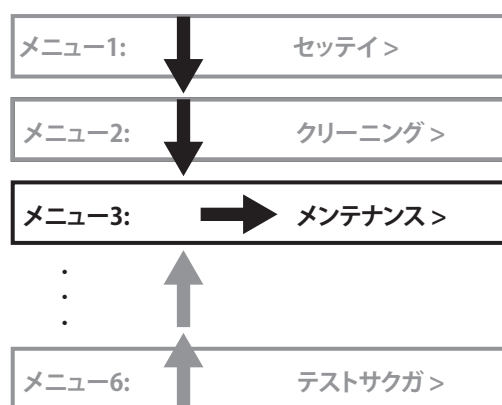
パネル設定メニューに入るには、[Menu] キーを押します。



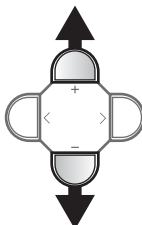
Note

印刷中や、データ受信中（電源ボタン点滅中）は、パネル設定メニューに入れません。

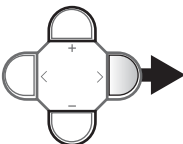
[2]



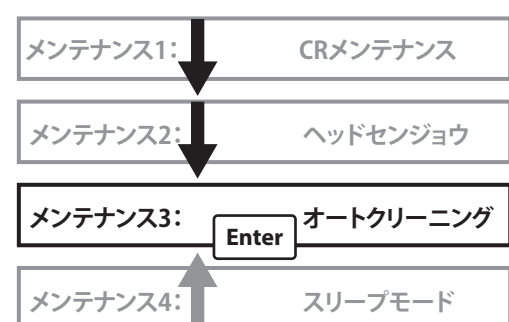
[+] キー / [-] キーで上下に移動します。



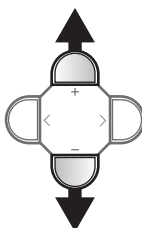
[>] キーでメニューに入ります。



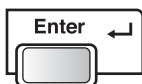
[3]



サブメニューから選択したり、数値を入力したりするときは、[+] キー [-] キーを押します。



[Enter] キーで確定 / 実行します。



[Cancel] キーで1つ前の階層のメニューに戻ります。
(左図の場合、「メニュー3：メンテナンス>」に戻ります。)



パネル設定メニュー

メニュー 1：設定

メニュー1: セッテイ>

本製品の各種設定を行います。

サブメニュー

セット1: ユーザテイギ	👉 セット 1：ユーザ定義
セット2: メディアケンシュツ	👉 セット 2：メディア検出
セット3: メディアハバ	👉 セット 3：メディア幅
セット4: ロールシナガサセッテイ	👉 セット 4：ロール紙長さ設定
セット5: スタートフィード	👉 セット 5：スタートフィード
セット6: サイドマージン	👉 セット 6：サイドマージン
セット7: ゲンテンセッテイ	👉 セット 7：原点設定
セット8: ハリツキボウシ	👉 セット 8：貼り付き防止
セット9: シャコウチェック	👉 セット 9：斜行チェック
セット10: ハイシモード	👉 セット 10：排紙モード
セット11: カットホウホウ	👉 セット 11：カット方法
セット12: CRサクガイドウハバ	👉 セット 12：CR 作画移動幅
セット13: カサネガキカイスウ	👉 セット 13：重ね描き回数
セット14: カサネガキウェイト	👉 セット 14：重ね描きウェイト
セット15: ハイキファン	👉 セット 15：排気ファン
セット16: タイキヒート	👉 セット 16：待機ヒート
セット17: プリントヘッドセンタク	👉 セット 17：プリントヘッド選択
セット18: プリントノズルセンタク	👉 セット 18：プリントノズル選択
セット19: フラッシング	👉 セット 19：フラッシング
セット20: センタンシヨリ	👉 セット 20：先端処理
セット21: ヘッドオーバーラップ	👉 セット 21：ヘッドオーバーラップ
セット22: ショキカ	👉 セット 22：初期化
セット23: ケイコクブザー	👉 セット 23：警告ブザー


メニュー 2：クリーニング

メニュー2: クリーニング >

プリントヘッドのクリーニングや初期充てんを行います。

サブメニュー

クリーニング: ビリョウ

 [メニュー 2: クリーニング](#)

クリーニング: ツウジョウ

クリーニング: キョウリョク

クリーニング: ビリョウジュウテン

クリーニング: ショキジュウテン

メニュー 3：メンテナンス

メニュー3: メンテナンス >

プリンターの定期的なメンテナンスやスリープモードの設定を行います。

サブメニュー


メンテナンス1: CRメンテナンス

 [メンテナンス 1：CR メンテナンス](#)

メンテナンス2: ヘッドセンジョウ

 [メンテナンス 2：ヘッド洗淨](#)

メンテナンス3: オートクリーニング

 [メンテナンス 3：オートクリーニング](#)

メンテナンス4: スリープモード

 [メンテナンス 4：スリープモード](#)

メニュー 4：初期設定

メニュー4: ショキセッテイ >

表示言語や単位の設定、ネットワーク設定やメニューの表示設定を行います。

サブメニュー

ショキセッテイ1: ゲンゴ

 [初期設定 1：言語](#)

ショキセッテイ2: オンド

 [初期設定 2：温度](#)

ショキセッテイ3: ナガサ

 [初期設定 3：長さ](#)

ショキセッテイ4: ヘッダーダンプ

 [初期設定 4：ヘッダーダンプ](#)

ショキセッテイ5: IPアドレス

 [初期設定 5：IP アドレス](#)

ショキセッテイ6: サブネットマスク

 [初期設定 6：サブネットマスク](#)

シヨキセッテイ7: ゲートウェイ

 [初期設定 7 : ゲートウェイ](#)

シヨキセッテイ8: カンイセンタク

 [初期設定 8 : 簡易選択](#)

メニュー 5 : ステータス

メニュー5: [ステータス >](#)

製品の各種ステータスを表示します。

サブメニュー

ステータス1: [インク](#)

 [ステータス 1 : インク](#)

ステータス2: [ジュミョウ](#)

 [ステータス 2 : 寿命](#)

ステータス3: [バージョン](#)

 [ステータス 3 : バージョン](#)

ステータス4: [Job](#)

 [ステータス 4 : Job](#)

メニュー 6 : テスト作画

メニュー6: [テストサクガ >](#)

ノズルチェックや、設定内容の確認印刷などを行います。

サブメニュー

テスト1: [ノズルチェック](#)

 [テスト 1 : ノズルチェック](#)

テスト2: [モードプリント](#)

 [テスト 2 : モードプリント](#)

テスト3: [セッテイナイヨウ](#)

 [テスト 3 : 設定内容作画](#)

テスト4: [パレット](#)

 [テスト 4 : パレット作画](#)

テスト5: [ヘッドチョウセイ >](#)

 [テスト 5 : ヘッド調整](#)

テスト6: [ノズルチェックF](#)

 [テスト 6 : ノズルチェック F](#)

メニュー1: 設定

セット 1: ユーザ定義

ユーザ定義は、印刷設定のプリセット機能の一種です。

セット1: ユーザ定義

Type1 ~ Type15 のユーザ定義を持つことができます。ユーザ定義を選択して [Enter] キーを押すと、そのユーザ定義が本製品にセットされます。また、サブメニューを表示します。

設定値

ユーザ: Type 1

Type 1 ~ Type15 から選択できます。

Important!

別のユーザ定義に変更すると、ユーザ定義で変更できる設定がすべて切り替わります。

- ユーザ定義で変更できる設定は、「作画モード」、「エフェクト」、「調整作画」、「送り補正」の調整値、「ヒーター（上）」、「ヒーター（下）」、「吸着ファン」、「メディア厚さ」の設定値です。

初めて使うときやメディアを切り替えた時は、ユーザ定義の各項目を設定してください。

ユーザ: Type 1

メディアの設定を行います。

サブメニュー

**>1: サクガモード

 **>1: 作画モード

**>2: チョウセイサクガ>

 **>2: 調整作画

**>3: オクリホセイ>

 **>3: 送り補正

**>4: ヒーター(ウエ)

 **>4: ヒーター(上)

**>5: ヒーター(シタ)

 **>5: ヒーター(下)

**>6: キュウチャクファン

 **>6: 吸着ファン

**>7: メディアアツサ

 **>7: メディア厚さ

**>8: ユーザコピー

 **>8: ユーザコピー

** > 1：作画モード

**> 1: サクガモード

作画モードの設定を行います。

- ・各作画モードを表示中に、[>] キーを押している間は、その作画モードの詳細情報（解像度、パス数、印刷方向）を表示します。
- ・作画モードを設定すると、エフェクトの設定に移ります。

設定値

モード: Quality X ->	高品質な印刷を行いたいときに設定します。 Quality 1~Quality 4 の 4 パターンがあります。
モード: Graphics X ->	標準画質で印刷を行いたいときに設定します。 Graphics 1~Graphics 2 の 2 パターンがあります。 初期値は Graphics 2 です。
モード: Banner X ->	高速印刷を行いたいときに設定します。 Banner 1~Banner 4 の 4 パターンがあります。

作画モードの詳細

作画モード	解像度	パス数 (4色使用時)	パス数 (8色使用時)	印刷方向	エフェクト初期値
Quality 1	1440 × 1440	16 pass	32 pass	Uni (片方向印刷)	Fine&Fog
Quality 2	1440 × 1440	16 pass	32 pass	Bi (双方向印刷)	Fine&Fog
Quality 3	720 × 1440	8 pass	16 pass	Uni (片方向印刷)	Fine&Fog
Quality 4	720 × 1440	8 pass	16 pass	Bi (双方向印刷)	Fine&Fog
Graphics 1	720 × 1080	6 pass	12 pass	Uni (片方向印刷)	Fine&Fog
Graphics 2	720 × 1080	6 pass	12 pass	Bi (双方向印刷)	Fine&Fog
Banner 1	720 × 720	4 pass	8 pass	Uni (片方向印刷)	Fine&Fog
Banner 2	720 × 720	4 pass	8 pass	Bi (双方向印刷)	Fine&Fog
Banner 3	360 × 720	2 pass	4 pass	Uni (片方向印刷)	None
Banner 4	360 × 720	2 pass	4 pass	Bi (双方向印刷)	None

エフェクトの設定

モード: Graphics 2 ->

エフェクト機能を設定します。
設定した作画モードに微調整を加えて、画質を向上します。

設定値

エフェクト: None	エフェクトを使用しません。
エフェクト: Wave	印刷のつなぎ目を波状にします。
エフェクト: Fine & Fuzz	印刷のつなぎ目を波状にし、かつぼかします。
エフェクト: Fine & Fog	印刷のつなぎ目をぼかします。 初期値はこの設定です。

** > 2 : 調整作画

**> 2: チョウセイサクガ>

最適な画質に調整するときを設定します。
調整を行う前に、メディアの厚さを入力します。

- ☞ 「確認パターン」P.60
- ☞ 「粗調整パターン」P.60
- ☞ 「微調整パターン」P.61

サブメニュー

チョウセイサクガ1: Standard	現在のユーザ定義で使用する作画モードのみ、調整を行います。
チョウセイサクガ2: Custom	現在のユーザ定義で使用する作画モード以外の作画モードも調整できます。

調整作画 1 : Standard

チョウセイサクガ1: Standard

現在のユーザ定義で使用する作画モードのみ、調整を行います。

- ☞ 「確認パターン」P.60
- ☞ 「粗調整パターン」P.60
- ☞ 「微調整パターン」P.61

サブメニュー

チョウセイ1: カクニンパターン	画質微調整のためのテストパターンを印刷します。調整前の確認を行います。
チョウセイ2: ソチョウセイパターン	ズレ量が大きいと思われる場合に実行します。調整パターンを印刷し、設定値を入力します。
チョウセイ3: チョウセイパターン	ズレ量が小さいと思われる場合に実行します。調整パターンを印刷し、設定値を入力します。

調整作画 2 : Custom

チョウセイサクガ2: Custom

A ~ F のすべてのパターンに対する調整を行います。

☞ 「確認パターン」P.60

☞ 「粗調整パターン」P.60

☞ 「微調整パターン」P.61

サブメニュー

チョウセイ1: カクニンパターン	画質微調整のためのテストパターンを印刷します。調整前の確認を行います。
チョウセイ2: ソチョウセイALL	A ~ F のすべての調整パターンを印刷します。
チョウセイ3: ソチョウセイパターンA	A ~ F のうちから選択された調整パターンを印刷します。
⋮	
チョウセイ8: ソチョウセイパターンF	
チョウセイ9: チョウセイALL	A ~ F のすべての調整パターンを印刷します。
チョウセイ10: チョウセイパターンA	A ~ F のうちから選択された調整パターンを印刷します。
⋮	
チョウセイ15: チョウセイパターンF	


作画モードに対応する調整パターン

作画モード	作画モードの仕様	調整パターン
Quality 1	1440 x 1440, 16 pass / 32 pass, Uni	C
Quality 2	1440 x 1440, 16 pass / 32 pass, Bi	
Quality 3	720 x 1440, 8 pass / 16 pass, Uni	B
Quality 4	720 x 1440, 8 pass / 16 pass, Bi	
Graphics 1	720 x 1080, 6 pass / 12 pass, Uni	
Graphics 2	720 x 1080, 6 pass / 12 pass, Bi	
Banner 1	720 x 720, 4 pass / 8 pass, Uni	A
Banner 2	720 x 720, 4 pass / 8 pass, Bi	
Banner 3	360 x 720, 2 pass / 4 pass, Uni	
Banner 4	360 x 720, 2 pass / 4 pass, Bi	


手順

1. 確認パターンを印刷し、ズレがあるか確認します。
2. 粗調整パターンを印刷し、プリントヘッド 1 の印刷結果から、ズレがないところを探します。
 - 「調整作画 2 : Custom」を選択した場合は、「ALL」または「A」～「F」を選びます。
 - ズレのないパターンの下に印刷されている番号が調整値です。
3. 調整値を入力します。
4. 同様に、プリントヘッド 2～4 の調整を行います。
5. 微調整パターンを印刷し、プリントヘッド 1 の印刷結果から、ズレがないところを探します。
 - 「調整作画 2 : Custom」を選択した場合は、「ALL」または「A」～「F」を選びます。
 - ズレのないパターンの下に印刷されている番号が調整値です。
6. 調整値を入力します。
7. 同様に、プリントヘッド 2～4 の調整を行います。

Note

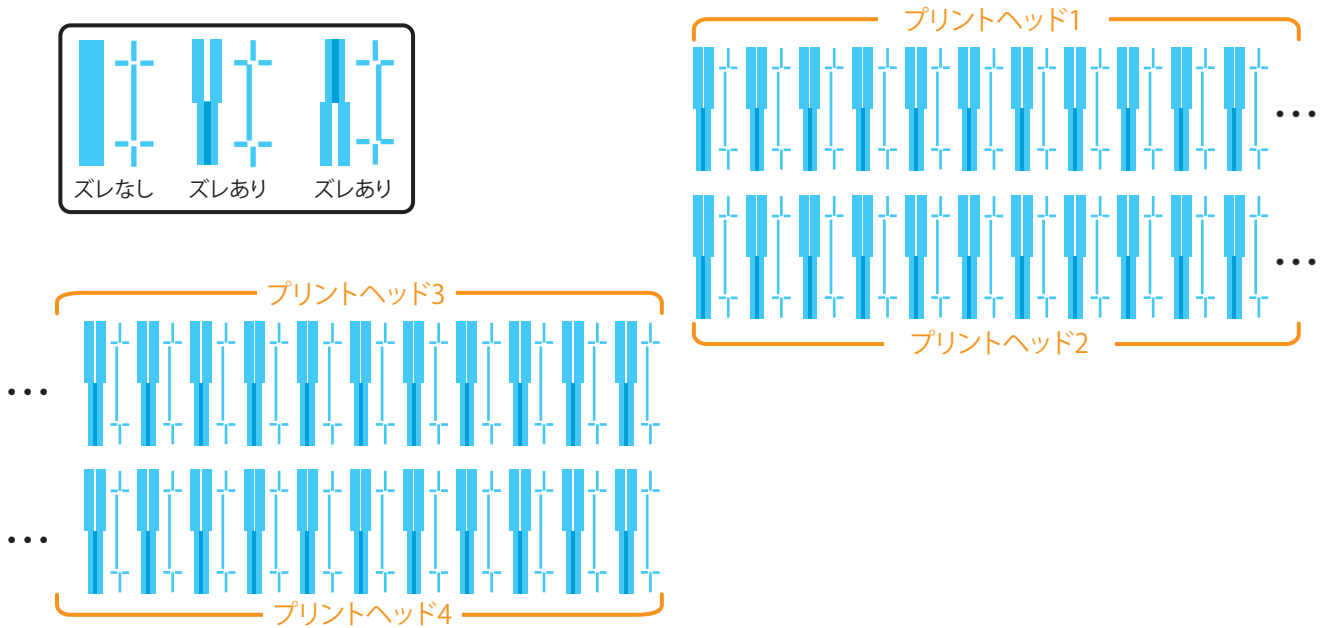
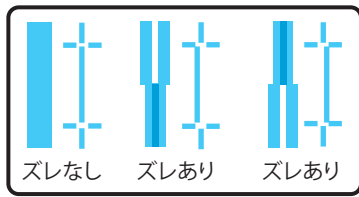
- 確認パターンと調整パターンの印刷前に、ヒーターのウォームアップを行います。
操作パネルに「ウォームアップ° チュウ スキップ° → Enter」と表示されます。
- ウォームアップ中に印刷を開始することができます。
 「ウォームアップ中に印刷を開始する」P.43

注 意

-  「ウォームアップ° チュウ」表示のときは、メディアガイドに触れないでください。
やけどの恐れがあります。

確認パターン

- [Enter] キーを押すと、印刷を行います。
- 印刷結果を確認し、ズレがあれば、粗調整パターンに進みます。
- 下図の場合、ズレがあります。

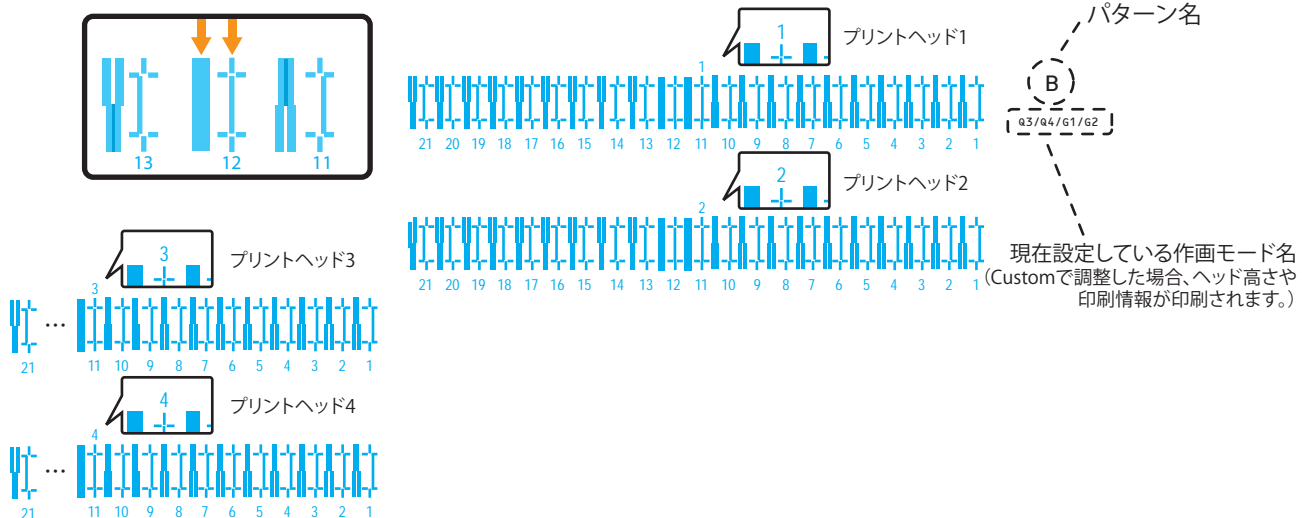


Note

本製品はプリントヘッドが4つ内蔵されているため、確認パターンを4列印刷します。

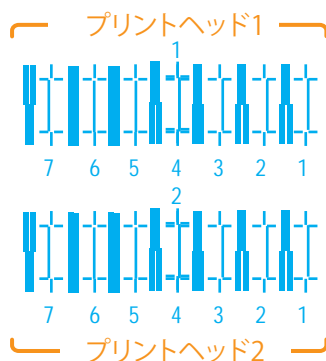
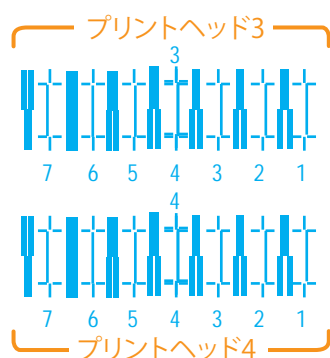
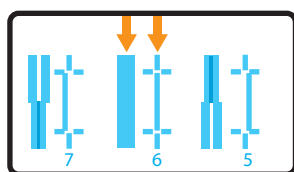
粗調整パターン

- [Enter] キーを押すと、印刷を行います。
- プリントヘッド1について、印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。
- ディスプレイに「パターン B1： 11」などと表示されているので、もっともズレのないパターンの番号を [+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。
- 下図の場合「パターン B1： 12」と入力します。同様に、プリントヘッド2～4の調整を行います。



微調整パターン

- [Enter] キーを押すと、印刷を行います。画質微調整パターンは、メディア両端と中央に印刷されます。
- プリントヘッド 1 について、メディア両端と中央の印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。
- ディスプレイに「パターン B1： 4」などと表示されているので、もっともズレのないパターンの番号を [+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。
- 下図の場合「パターン B1： 6」と入力します。同様に、プリントヘッド 2～4 の調整を行います。



パターン名
(B)
q3/q4/g1/g2

現在設定している作画モード名
(Customで調整した場合、ヘッド高さや印刷情報が印刷されます。)

** > 3 : 送り補正

** > 3: オクリホセイ>

メディア送り補正についての各種設定を行います。

印刷結果に次のような不具合があるとき、メディア送り補正を行うと改善する場合があります。

- ・画像が重なっている。
- ・画像に白いスジが入っている。

サブメニュー

ホセイ1:	シヨキチョウセイサクガ	☞ 「補正 1 : 初期調整作画」 P. 63
ホセイ2:	シヨキチョウセイチ	☞ 「補正 2 : 初期調整値」 P. 63
ホセイ3:	カクニンチョウセイサクガ	☞ 「補正 3 : 確認調整作画」 P. 64
ホセイ4:	ビチョウセイサクガ	☞ 「補正 4 : 微調整作画」 P. 64
ホセイ5:	ビチョウセイチ	☞ 「補正 5 : 微調整値」 P. 65

手順

1. 「補正 1 : 初期調整作画」を選択します。

- ・「フィード`ナカ`サ：250 mm」と表示されます。

2. 初期調整作画終了後、メディアをカットします。

- ・定規等を使用して、初期調整作画の「+」間の長さを測ります。

3. 1章の「メディア送り補正の手順」P. 38を参考に、操作パネルで「補正 2 : 初期調整値」を選択します。

4. 操作パネルの[+]キーまたは[-]キーを押して、手順2で測った実測値を入力します。

- ・[Enter]キーを押して、初期調整値を保存します。

5. 「補正 3 : 確認調整作画」を選択します。

- ・「フィード`ナカ`サ：250 mm」と表示されます。

6. 確認調整作画終了後、メディアをカットします。

- ・定規等を使用して、確認調整作画の「+」間の長さを測り、印刷時のフィード長さとも一致しているか確認します。
- ・長さが一致していない場合は、手順1～5に従って再度調整を行います。
- ・長さが一致した場合は、手順7に進みます。

7. 1章の「メディア送り補正の手順」P.38を参考に、操作パネルで「補正4：微調整作画」を選択します。

- パターンを見て、微調整値を確認します。パターンの中でもっとも白スジ・画像の重なりがないところを探します。そのパターンの下にある数字が、微調整値です。

8. 手順7の印刷結果に従って微調整値を入力します。

すでに調整値が分かっている場合の手順（メディア交換など）

1. 「補正5：微調整値」に調整値を入力します。
2. 確認作画の有無を選択し、調整を終了します。

補正1：初期調整作画

ホセイ1: ショキチョウセイサクガ

左の表示のときに [Enter] キーを押すと、初期調整作画を行います。

設定値

フィードナガサ: 250 mm

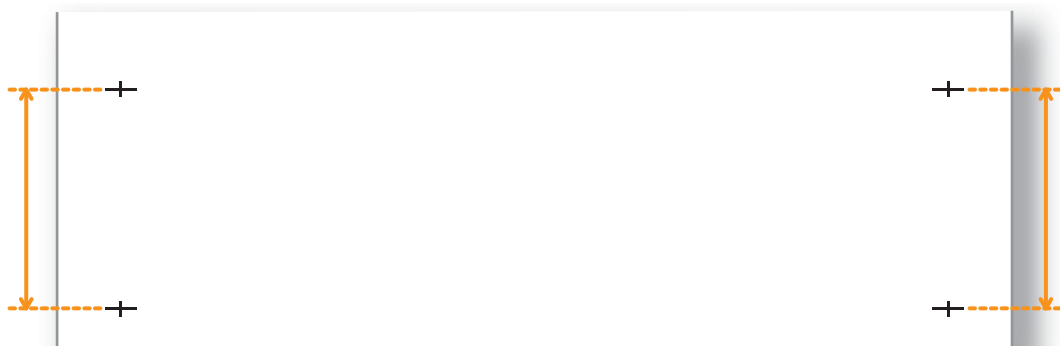
100 mm ~ <250 mm> ~ 500 mm

<> は初期値を表します。

- 初期調整作画終了後、メディアをカットします。
- 定規等を使用して、初期調整作画の「+」間の長さを測ります。
以下の例では、測る場所をオレンジ色の点線と矢印で示しています（オレンジ色の部分は実際は印刷されません）。

Note

初期調整作画のメディア搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250 mm に設定されています。
フィード長さを長くすると、メディア送り補正の精度が若干向上します。
フィード長さを変更する場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更してください。



補正2：初期調整値

ホセイ2: ショキチョウセイイチ

調整値を [+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

チョウセイイチ: 250 mm / 250 mm

設定値は、初期調整作画で設定したフィード長さ ± 50 mm の間で入力できます。

補正 3：確認調整作画

ホセイ3: カクニンチョウセイサクガ

左の表示のときに [Enter] キーを押すと、確認調整作画を行います。

設定値

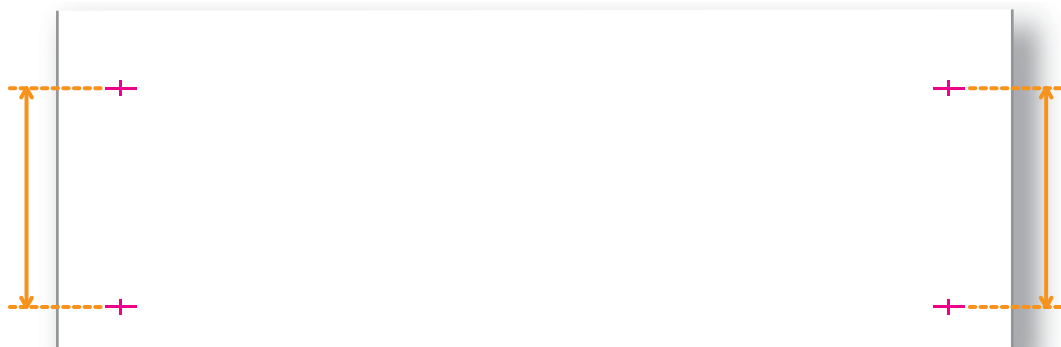
フィードナガサ: 250 mm

100 mm ~ <250 mm> ~ 500 mm
<> は初期値を表します。

- 確認調整作画終了後、メディアをカットします。
- 定規等を使用して、確認調整作画の「+」間の長さを測ります。
下の例では、測る場所をオレンジ色の点線と矢印で示しています（オレンジ色の部分は実際は印刷されません）。
- 長さが一致していない場合は、「補正 1：初期調整作画」で再度調整を行います。
- 長さが一致した場合は、「補正 4：微調整作画」に進みます。

Note

確認調整作画のメディア搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250 mm に設定されています。
フィード長さを長くすると、メディア送り補正の精度が若干向上します。
フィード長さを変更する場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更してください。

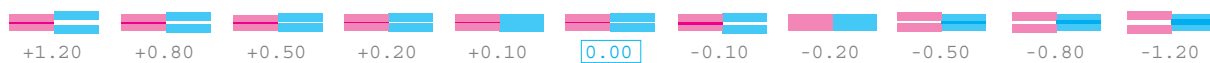
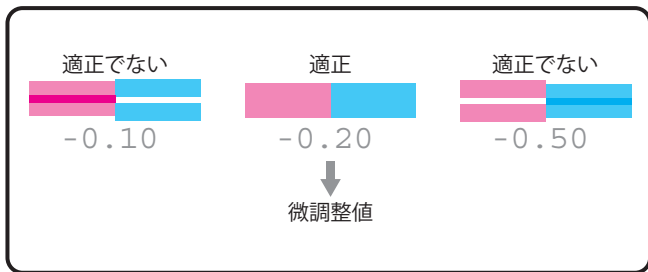


補正 4：微調整作画

ホセイ4: ビチョウセイサクガ

左の表示のときに [Enter] キーを押すと、微調整作画を行います。

- パターンを見て、微調整値を確認します。パターンの中でもっとも白スジ・画像の重なりがないところを探します。そのパターンの下にある数字が、微調整値です。印刷結果に従って微調整値を入力します。



Note

微調整値を入力し保存すると、その値が基準値となるように各微調整値が増減します。
微調整値に「-0.20」を保存し印刷した場合、調整パターンの下にある数字は、左から「+1.00」、「+0.60」、「+0.30」、「0.00」、「-0.10」、「-0.20（基準値）」、「-0.30」、「-0.40」、「-0.70」、「-1.00」、「-1.40」となります。

補正 5：微調整値

ホセイ5: ピチヨウセイチ

調整値を [+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。
確認作画の有無を選択し、調整を終了します。

設定値

ピチヨウセイチ: 0.00%

-5.00% ~ <0.00%> ~ 5.00%
<> は初期値を表します。

** > 4：ヒーター（上）

**> 4: ヒーター(ウエ)

ヒーター（上）の温度を設定します。
[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

ヒーター(ウエ): Off

<Off> / 30°C ~ 50 °C
<> は初期値を表します。

** > 5：ヒーター（下）

**> 5: ヒーター(シタ)

ヒーター（下）の温度を設定します。
[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

ヒーター(シタ): Off

<Off> / 30°C ~ 50 °C
<> は初期値を表します。

** > 6：吸着ファン

**>6: キュウチャクファン

吸着ファンの動作を設定します。

[+] キー / [-] キーで選択して [Enter] キーを押します。

- ・薄いメディアや柔らかいメディアを使用していてシワになる場合は、弱めてください。

設定値

キュウチャクファン: High

<High> / Middle / Low / Very Low / オフ

<> は初期値を表します。

** > 7：メディア厚さ

**>7: メディアアツサ

使用するメディアの厚さを設定します。

[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

メディアアツサ: 170 μm

80 μm ~ <170 μm> ~ 2,800 μm

<> は初期値を表します。

Note

- ・本メニューは、ある程度の画質調整を自動で行うためものです。より画質を高めたい場合は、画質調整を手動で行ってください。

 「** > 2：調整作画」P.57

- ・画質調整を行った場合、本メニューでメディア厚さを設定しなくても問題ありません。

** > 8：ユーザコピー

**>8: ユーザコピー

現在選択中のユーザ定義の設定を、一括して他のユーザ定義にコピーします。

コピーする項目は、以下の通りです。

- ・「作画モード」、「エフェクト」
- ・「調整作画」、「送り補正」の調整値
- ・「ヒーター（上）」、「ヒーター（下）」、「吸着ファン」、「メディア厚さ」の設定値

設定値

ユーザコピー: Type 1 -> 2

コピー先のユーザ定義が選択できます。

ALL を選択するとすべてのユーザ定義にコピーされます。

ユーザコピー: Type 1 -> ALL

セット2：メディア検出

セット2: メディアケンシュツ

メディアイニシャル時にメディアの幅の検出を行うかどうかを設定します。

設定値

ケンシュツ: オフ

メディア検出を行いません。

ケンシュツ: Top&Width

メディアイニシャル時に、メディアの幅および先端の検出を行います。

ケンシュツ: Width

メディアイニシャル時に、メディアの幅の検出を行います。
初期値はこの設定です。



Note

「メディア検出メニュー」を「Off」に設定した場合は、「メディア幅メニュー」でセットしたメディアの幅を設定してください。

セット3：メディア幅

セット3: メディア幅

「メディア検出メニュー」を「Off」に設定した場合は、セットしたメディアの幅を設定します。

「メディア検出メニュー」を「Off」以外に設定した場合は、検出されたメディアの幅を表示します。

[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

メディア幅: 1000 mm

210 mm ~ <1,000 mm> ~ 1,910 mm
<> は初期値を表します。

セット4：ロール紙長さ設定

セット4: ロールシナガサセッテイ

セットしたロール紙の長さを設定します。

設定値

ロールシナガサセッテイ: オフ

ロール紙長さ設定を使用しません。
初期値はこの設定です。

ロールシナガサセッテイ: ロールシ1

セットしたロール紙の長さを設定します。
ロール紙長さの設定値は、「ロール紙1」
～「ロール紙3」として、それぞれ3通り
設定することができます。

ロールシナガサセッテイ: ロールシ2

ロールシナガサセッテイ: ロールシ3

ロール紙長さ設定で、ロール紙 1～ロール紙 3 に設定した場合

長さメニュー

ロールシナガサセッテイ:	ロールシ1
Enter	

セットしたロール紙の長さを設定します。

設定値

ナガサ:	30 m
------	------

1 m ~ <30 m> ~ 1,500 m
<> は初期値を表します。

作画停止メニュー

ナガサ:	30 m
Enter	

プリンターの内部でカウントしているロール紙の長さの値がゼロになったときに、印刷を停止するかどうかを設定します。

設定値

サクガテイシ:	オフ
---------	----

印刷の停止判定にロール紙の残量カウントを使用しません。リアセンサーが反応した場合に印刷が停止します。
初期値はこの設定です。

サクガテイシ:	オン
---------	----

リアセンサーが反応しない場合でも、ロール紙の残量カウントがゼロになると印刷を停止します。



Note

- 通常はロール紙が終わるとリアセンサーで検出されるため、「オフ」設定で問題ありません。
- 紙管から紙が離れにくいタイプのロール紙だと、「作画停止メニュー」を「オフ」に設定していると、ロール紙が終わったときに印刷が停止しないことがあります。そのような場合は、「オン」に設定してください。

ニアエンドメニュー

サクガティシ:	オン
Enter	

プリンターの内部でカウントしているロール紙の長さの値がゼロになる前に「ロールシ ニアエンド: * m」(*は1～10の数字)を表示させることができます。

設定値

ニアエンド:	オフ
--------	----

「ニアエンド」を表示しません
初期値はこの設定です。

ニアエンド:	ノコリ*m
--------	-------

ノコリ 1 m ～ 10 m
長さを選択すると、ロール紙の残量カウン
トがその長さに達したときに「ニアエン
ド」を表示します。

セット 5：スタートフィード

セット5:	スタートフィード
-------	----------

スタートフィードを設定しておく、印刷結果どうしの間の余白を変更できます。

- ・ 値が 0 以上：「0」設定時よりも余白が増えます。
- ・ 値が 0：印刷間の余白を変更しません。
- ・ 値が 0 以下：「0」設定時よりも余白が減ります。

設定値

スタートフィード:	150 mm
-----------	--------

-10 mm ～ <150 mm> ～ 500.0 mm
<> は初期値を表します。

Note

巻き取り装置をご使用の場合に「スタートフィード」を 0 未満に設定するときは、「ページ間余白メニュー」を「狭い」に設定してください。「通常」のままだと、「スタートフィード」での設定値が正しく反映されません。

👉 「排紙モードで「巻き取り」に設定した場合」P.71

セット 6：サイドマージン

セット6:	サイドマージン
-------	---------

印刷時の左右のマージン（サイドマージン）を設定します。

[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

サイドマージン:	5 mm
----------	------

<5 mm> ～ 25 mm
<> は初期値を表します。

Note

「フラッシングメニュー」で「メディア上」に設定した場合は、最大印刷幅が 16 mm 小さくなります。そのため左右の余白はそれぞれ、「サイドマージンメニューで設定した値」+8 mm となります。

👉 「セット 19：フラッシング」P.76

セット7：原点設定

セット7: ゲンテンセッテイ

印刷データの印刷開始位置（原点）を設定します。

既に印刷したメディアに、印刷データの配置を変えて余白部分に再度印刷したい場合などに設定します。

[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

X (PF):	-15000 mm	X (メディア送り量):
⋮	⋮	-15,000 mm ~ 15,000 mm
X (PF):	15000 mm	
Y (CR):	0 mm	Y (プリントヘッド移動量):
⋮	⋮	0 mm ~ 1,690 mm
Y (CR):	1690 mm	

Note

サイドマージンの設定値により、Y（プリントヘッド移動量）の最大設定値は減少します。

👉 「[セット6：サイドマージン](#)」P.69

メディア右側の余白は、設定により下記の合計値になります。

「原点設定メニューのY（プリントヘッド移動量）の値」+ 「8mm（フラッシング設定が「メディア上」の場合）」+ 「サイドマージンメニューで設定した値」

👉 「[セット6：サイドマージン](#)」P.69

👉 「[セット19：フラッシング](#)」P.76

セット8：貼り付き防止

セット8: ハリツキボウシ

印刷開始時のメディア貼り付き防止動作を設定します。

サブメニュー

ハリツキボウシ:	オフ	貼り付き防止動作を行いません。 初期値はこの設定です。
ハリツキボウシ:	オン	貼り付き防止動作を行います。 メディアがメディアガイドに貼り付かないように、印刷開始時にメディアを前後に搬送します。

Note

「排紙モードメニュー」が「巻き取り」に設定されている場合は、貼り付き防止メニューの設定は無効になります。

👉 「[セット10：排紙モード](#)」P.71

セット9：斜行チェック

セット9: シャコウチェック

メディア搬送中の斜行検出を設定します。

設定値

シャコウチェック: オフ

斜行チェックを行いません。

シャコウチェック: オン

斜行チェックを行います。
初期値はこの設定です。

セット10：排紙モード

セット10: ハイシモード

印刷終了後のメディアの動作を設定します。

サブメニュー

ハイシモード: オフ

巻き取り装置を使用しません。
初期値はこの設定です。

ハイシモード: マキトリ

巻き取り装置を使用する場合に設定し
ます。

ハイシモード: オートカット

自動でメディアのカットを行う場合に設定
します。

 「[セット11：カット方法](#)」P.72

排紙モードで「巻き取り」に設定した場合

ハイシモード: マキトリ
Enter

排紙モード設定を「巻き取り」に設定すると、ページ間余白メニューに移りま
す。ページ間余白メニューでは、印刷結果どうしの間の余白を変更できます。

設定値

ページカンヨハク: ツウジョウ

印刷間の余白を変更しません。
初期値はこの設定です。

ページカンヨハク: セマイ

印刷間の余白が「通常」よりも狭くなりま
す。

ページ間余白の設定後、インク乾燥時間を設定します。
[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

インクカンソウジカン: 0 sec

<0 秒> ~ 60 分
<> は初期値を表します。

排紙モードで「オフ」、「オートカット」に設定した場合

ハイシモード:	Enter	オフ
ハイシモード:	Enter	オートカット

インク乾燥時間を設定します。
[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

インクカンソウジカン:	0 sec	<0 秒> ~ 60 分 <> は初期値を表します。
-------------	-------	-------------------------------

セット 11：カット方法

セット11:	カットホウホウ
--------	---------

印刷終了後の、メディアカット動作について設定します。

設定値

カット:	1ドギリ-2ダンカイ	「1度切り-3段階」よりも少ない工程でカットします。 幅が狭めのメディアに適しています。
カット:	1ドギリ-3ダンカイ	通常のカット方法です。 初期値はこの設定です。
カット:	2ドギリ-2ダンカイ	「1度切り-2段階」ではカットできない場合に設定します。 幅が狭めのメディアに適しています。
カット:	2ドギリ-3ダンカイ	「1度切り-3段階」ではカットできない場合に設定します。

Note

- 「メディア検出メニュー」で「Off」に設定した場合は、自動でカットすることができません。
☞ [「セット 2：メディア検出」P.67](#)
- メディアによっては、カットできない（カット自体ができない、またはきれいにカットできない）場合があります。
その場合は、「排紙モードメニュー」にて「オフ」を設定し、手動でカットしてください。
☞ [「セット 10：排紙モード」P.71](#)

カット圧メニュー

カット:	1ドギリ-3ダンカイ	Enter
------	------------	-------

カット動作時に、メディアをカットする強さを設定します。

設定値

カットアツ:	ヨワイ	通常よりも弱い力でカットします。 「強い」では力が強すぎる場合や、薄いメディアを使用するときなどに使用します。
カットアツ:	ツヨイ	通常のカット圧です。 初期値はこの設定です。

セット 12：CR 作画移動幅

セット12: CRサクガイドウハバ

印刷中にプリントヘッドが移動する範囲を設定します。

設定値

CRサクガイドウハバ: データハバ

プリントヘッドが印刷データ幅の範囲を移動します。

CRサクガイドウハバ: キカイハバ

プリントヘッドが本製品の最大移動幅まで移動します。

CRサクガイドウハバ: メディアハバ

プリントヘッドがメディアの幅を移動しません。
初期値はこの設定です。

セット 13：重ね描き回数

セット13: カサネガキカイスウ

印刷 1 行あたりの重ね描き回数を設定します。

[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

カサネガキカイスウ: 1カイ

<1 回> ~ 9 回

<> は初期値を表します。

セット 14：重ね描きウェイト

セット14: カサネガキウェイト

重ね描き印刷時のウェイト時間を設定します。

[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

カサネガキウェイト: 0.0 sec

<0.0 秒> ~ 5.0 秒

<> は初期値を表します。

セット 15：排気ファン

セット15: ハイキファン

排気ファンの動作を設定します。

製品内部の換気を行い、各部品の性能を安定させます。またインクミストによる製品内部の汚れを軽減させます。特に長時間印刷する場合は、動作させることを推奨します。

設定値

ハイキファン: オフ 排気ファンの動作を Off します。

ハイキファン: Low 排気ファンを「弱」で動作させます。
初期値はこの設定です。

ハイキファン: High 排気ファンを「強」で動作させます。

セット 16：待機ヒート

セット16: タイキヒート

プリンターが待機中のときに、ヒーターを予熱する時間を設定します。

設定した時間が経過すると、各ヒーターが Off になります。

[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

タイキヒート: 60 min 10分～<60分>
<> は初期値を表します。

セット 17：プリントヘッド選択

セット17: プリントヘッドセンタク

印刷するときに使用するプリントヘッドを選択します。

印刷速度は低下しますが、一部のプリントヘッドに不具合が生じた場合でも、印刷を行うことができます。

設定値

ヘッドセンタク: ALL すべてのプリントヘッドを使用して印刷します。
初期値はこの設定です。

ヘッドセンタク: 1/2/3 プリントヘッド 1,2,3 を使って印刷します。

ヘッドセンタク: 2/3/4 プリントヘッド 2,3,4 を使って印刷します。

ヘッドセンタク: 1/2 プリントヘッド 1,2 を使って印刷します。

ヘッドセンタク: 2/3 プリントヘッド 2,3 を使って印刷します。

ヘッドセンタク:	3 / 4	プリントヘッド 3, 4 を使って印刷します。
ヘッドセンタク:	1	プリントヘッド 1 のみを使って印刷します。
ヘッドセンタク:	2	プリントヘッド 2 のみを使って印刷します。
ヘッドセンタク:	3	プリントヘッド 3 のみを使って印刷します。
ヘッドセンタク:	4	プリントヘッド 4 のみを使って印刷します。

Important!

プリントヘッドに不具合が生じた場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。

📞 「お問い合わせ先」 P. 140

セット 18：プリントノズル選択

セット18: プリントノズルセンタク

プリントヘッドのノズルを半分に減らして印刷するかどうかを設定できます。印刷速度は低下しますが、画質の向上が期待できます。

設定値

ノズルセンタク:	ALL	ノズル選択機能を使用しません。初期値はこの設定です。
ノズルセンタク:	Aノズル	プリントヘッドのノズルを半分に減らして印刷します。各色 2 列あるノズル列の内、片側のノズル列のみ使用します。
ノズルセンタク:	Bノズル	「Aノズル」の場合と逆のノズル列を使用します。

Note

- 8 色使用時、本メニューは選択できません。
- 「プリントヘッド選択メニュー」と組み合わせて使用することもできます。

📞 「セット 17：プリントヘッド選択」 P. 74

セット 19：フラッシング

セット19: フラッシング

印刷中のフラッシング動作を設定します。

フラッシング設定が「オン」と「メディア上」の場合、リターン回数の設定に移ります。

設定値

フラッシング:	オン	プリントヘッドが1往復する毎に、原点側のフラッシングボックスに戻ってフラッシング動作を行います。 初期値はこの設定です。
フラッシング:	メディアジョウ	プリントヘッドが、メディアの余白上でもフラッシング動作を行います。 原点側のフラッシングボックスまで戻る回数が減るため、印刷速度が向上します。
フラッシング:	オフ	フラッシング動作を行いません。

Note

- フラッシング動作は、プリントヘッドのノズル詰まりを防ぐためのメンテナンス動作です。インクを消費します。
- フラッシングを「オフ」に設定すると、フラッシング動作を行わないため、ノズル詰まりが発生しやすくなります。その場合、印刷品質は保証できません。
- フラッシング設定が「メディア上」の場合は、最大印刷幅が 16 mm 小さくなります。そのため左右の余白はそれぞれ、「サイドマージンメニューで設定した値」+8 mm となります。

 「セット 6：サイドマージン」P.69

リターン回数メニュー

フラッシング:	Enter	オン
フラッシング:	Enter	メディアジョウ

プリントヘッドが、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行う間隔を設定します。

設定した回数だけプリントヘッドが往復するごとに、フラッシング動作を行います。

[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

リターンカイスウ:	1カイ	<1 回> ~ 999 回 <> は初期値を表します。
-----------	-----	--------------------------------

Important!

リターン回数を多く設定すると、長時間印刷する場合にノズル詰まりが発生しやすくなります。その場合、印刷品質は保証できません。

<フラッシング動作例>

フラッシング設定	リターン回数設定	動作
オン	1回	プリントヘッドが1往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 メディア上ではフラッシング動作を行いません。
オン	5回	プリントヘッドが5往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 メディア上ではフラッシング動作を行いません。
メディア上	1回	プリントヘッドが1往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 また、プリントヘッドが1往復する毎に、メディア上でもフラッシング動作を行います。
メディア上	5回	プリントヘッドが5往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 また、プリントヘッドが1往復する毎に、メディア上でもフラッシング動作を行います。
オフ	—	フラッシングボックスでもメディア上でもフラッシング動作を行いません。

セット 20：先端処理

セット20: センタンシヨリ

先端処理機能を設定します。

設定値

センタンシヨリ: オート

< オート > / オフ

<> は初期値を表します。

セット 21：ヘッドオーバーラップ

セット21: ヘッドオーバーラップ

ヘッドオーバーラップパターンを選択します。

設定値

オーバーラップ: パターン1

< パターン 1 > ~ パターン 5

<> は初期値を表します。

セット 22：初期化

セット22: ショキカ

本製品の各設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。

サブメニュー

ショキカ: ALL

全メニューの設定値を初期化します。

ショキカ: ユーザティギ

ユーザ定義メニューの設定値を初期化します。

ショキカ: ユーザティギガイ

ユーザ定義メニュー以外の設定値を初期化します。

セット 23：警告ブザー

セット23: ケイコクブザー

エラーが発生したときの警告ブザーの動作を設定します。

「オフ」に設定することで、夜間に印刷するときなど、プリンター操作を行う人がいない場合に、警告ブザーが鳴り続けることを防止できます。

サブメニュー

ケイコクブザー: オン

操作パネルのいずれかのキーを押すと、ブザー音が止まります。
初期値はこの設定です。

ケイコクブザー: オフ

ブザー音が複数回鳴ると、キー操作を行わない場合でも、ブザー音は自動的に止まります。

セット 24：一時詳細表示

セット24: イチジショウサイヒョウジ

簡易選択メニューで非表示に設定した項目を、設定メニューで一時的に表示させることができます。

[Enter] キーを押すと、設定メニューのすべての項目が表示された状態で、前階層のメニューに戻ります。

メニュー2: クリーニング

ヘッド選択

ヘッドクリーニングを行うプリントヘッドを選択します。
ノズル抜けが特定のプリントヘッドで発生している場合、クリーニングを行うプリントヘッドを選択することで、インクの消費量を抑えることが期待されます。

ヘッドセンタク:	ALL	すべてのプリントヘッドを選択します。
ヘッドセンタク:	1	プリントヘッド 1 を選択します。
ヘッドセンタク:	2	プリントヘッド 2 を選択します。
ヘッドセンタク:	3	プリントヘッド 3 を選択します。
ヘッドセンタク:	4	プリントヘッド 4 を選択します。
ヘッドセンタク:	1 / 2	プリントヘッド 1、2 を選択します。
ヘッドセンタク:	1 / 3	プリントヘッド 1、3 を選択します。
ヘッドセンタク:	1 / 4	プリントヘッド 1、4 を選択します。
ヘッドセンタク:	2 / 3	プリントヘッド 2、3 を選択します。
ヘッドセンタク:	2 / 4	プリントヘッド 2、4 を選択します。
ヘッドセンタク:	3 / 4	プリントヘッド 3、4 を選択します。

クリーニングモード選択

クリーニング:	ビリョウ	「通常クリーニング」より少量のインクを消費します。
クリーニング:	ツウジョウ	印刷作業の開始前と終了後にノズルチェックを行い、ノズル抜けがある場合に使用します。
クリーニング:	キョウリョク	「通常クリーニング」より多くのインクを消費します。「通常クリーニング」でノズル抜けが直らない場合は「強力クリーニング」を行ってください。
クリーニング:	ビリョウジュウテン	「強力クリーニング」よりかなり高いクリーニング効果がありますが、多くのインクを消費します。
クリーニング:	ショキジュウテン	「微量充てん」よりかなり高いクリーニング効果がありますが、「微量充てん」よりかなり多くのインクを消費します。

Note

- ヘッド選択で、「ALL」を選択したときのみ、「ショキジュウテン」を選択できます。
- ヘッド選択で、「ALL」、「1」、「2」、「3」、「4」を選択したときのみ、「ビリョウジュウテン」を選択できます。

メニュー3: メンテナンス

メンテナンス 1 : CR メンテナンス

メンテナンス1: CRメンテナンス

メンテナンス処理を行います。
以下を行うときに使用します。

- ・フラッシングボックス用吸収材の交換
- ・クリーニングワイパーの清掃
- ・プリントヘッド外周の清掃

 「メンテナンスについて」P.96

サブメニュー

CRメンテナンス: Start

メンテナンス処理を開始します。

CRメンテナンス: End

メンテナンス処理を終了します。
[-] キーを押すと、ポンプの駆動・停止を行います。

メンテナンス 2 : ヘッド洗淨

メンテナンス2: ヘッドセンジョウ

洗淨液によりプリントヘッドを洗淨します。

サブメニュー

ヘッドセンジョウ: Start

洗淨液でプリントヘッドを洗淨します。
[Enter] キーを押し、ヘッド洗淨処理を開始します。

 「長期保存の方法」P.120



かならず専用の洗淨液を使用してください。

メンテナンス 3：オートクリーニング

メンテナンス3: オートクリーニング

待機中、印刷前、印刷中にオートクリーニングを行う時間を設定します。

サブメニュー

オートクリーニング 1: タイキジカン

 [待機時間](#)

オートクリーニング 2: サクガジカン

 [作画時間](#)

オートクリーニング 3: サクガマエ

 [作画前](#)

待機時間

オートクリーニング 1: タイキジカン

待機中にオートクリーニングを行う時間を設定します。

設定値

タイキジカン: オフ

< オフ > / 10 分 ~ 1,440 分
<> は初期値を表します。

作画時間

オートクリーニング 2: サクガジカン

印刷中にオートクリーニングを行う時間を設定します。

設定値

サクガジカン: オフ

< オフ > / 5 分 ~ 180 分
<> は初期値を表します。

作画前

オートクリーニング 3: サクガマエ

印刷前にオートクリーニングを行う時間を設定します。

設定値

サクガマエ: オフ

< オフ > / オン
<> は初期値を表します。

メンテナンス 4：スリープモード

メンテナンス4: スリープモード


スリープモードの開始と、スリープモード中のヘッドクリーニングの設定を行います。

サブメニュー

スリープモード1: スタート

 [スリープモード 1：スタート](#)

スリープモード2: タイマーセット

 [スリープモード 2：タイマーセ
ット](#)

スリープモード 1：スタート

スリープモード1: スタート

スリープモードを開始します。

Important!

スリープモード中に以下の状態になった場合は、設定時間が経過してもヘッドクリーニングを行いません。

- ・フロントカバーが開いている
- ・メンテナンスカバーが開いている
- ・メディアセットレバーが上がっている
- ・廃液タンクが満タンになっている
- ・インクパックケースが取り外されている
- ・S/C カードが取り外されている
- ・純正品以外の S/C カードが挿入されている

ヘッドクリーニング中に、上記の状態になった場合は、ヘッドクリーニング動作を停止します。
正常な状態に戻すと、ヘッドクリーニングを再開します。

スリープモード 2：タイマーセット

スリープモード2: タイマーセット

スリープモード中に、ヘッドクリーニングを行う間隔を設定します。

設定値

クリーニングタイマー: 6h

1 / 2 / 3 / 4 / 5 / <6> / 9 / 12 / 18 / 24 時間

<> は初期値を表します。

設定すると、「スリープモード 1：スタート」に移ります。

メニュー4: 初期設定

初期設定 1：言語

シヨキセッテイ1: ゲンゴ

ディスプレイに表示される言語を設定します。

サブメニュー

ゲンゴ: エイゴ English

英語で表示します。
初期値はこの設定です。

ゲンゴ: ニホンゴ Japanese

日本語で表示します。

初期設定 2：温度

シヨキセッテイ2: オンド

ディスプレイに表示される温度の単位を設定します。

サブメニュー

オンド: Celsius[°C]

セ氏 (°C) で表示します。
初期値はこの設定です。

オンド: Fahrenheit [°F]

カ氏 (°F) で表示します。

初期設定 3：長さ

シヨキセッテイ3: ナガサ

ディスプレイに表示される長さの単位を設定します。

サブメニュー

ナガサ: mm

ミリメートル (mm) で表示します。
初期値はこの設定です。

ナガサ: inch

インチ (inch) で表示します。

初期設定 4：ヘッダーダンプ

シヨキセツテイ4: ヘッダーダンプ

印刷データについて下記の情報を印刷するかどうかを設定できます。

- ・ データヘッダー
- ・ データドット数 (ヘッダーダンプ設定が「オン」設定時のみ印刷します)
- ・ 印刷日時
- ・ プリンターシリアルナンバー
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ 受信時間 (ヘッダーダンプ設定が「ダンプ」設定時のみ印刷します)
- ・ 受信サイズ (ヘッダーダンプ設定が「ダンプ」設定時のみ印刷します)

設定値

ヘッダーダンプ: オフ	ダンプデータを印刷しません。 初期値はこの設定です。
ヘッダーダンプ: オン	印刷データを印刷後、ダンプデータを印刷 します。
ヘッダーダンプ: ダンプ	ダンプデータのみを印刷します。ただし、 「データドット数」は印刷しません。
ヘッダーダンプ: インサツ	前回印刷したダンプデータを印刷します。 ダンプデータの履歴が無い場合は、「デー タガ アリマセン」と表示されます。

Note

- ・ ダンプデータは、テクニカルサポートを受ける場合に参考情報として活用します。
- ・ コンピュータと接続して印刷する場合は、「データヘッダー」に RIP ソフトの印刷設定が印刷されます。

初期設定 5：IP アドレス

シヨキセツテイ5: IPアドレス

本製品の IP アドレスを設定します。

- ・ [+] キー：設定値を増加させます。
- ・ [-] キー：設定値を減少させます。
- ・ [Enter] キー：入力を確定し、カーソルが次の設定値に移動します。
- ・ すべての設定値の入力を確定してください。

設定値

IP: 192. 168. 1. 253	0.0.0.0 ~ <192.168.1.253> ~ 255.255.255.255 <> は初期値を表します。
--	--

Note

製品の IP アドレスは、かならずネットワーク管理者に相談してから設定してください。

初期設定 6：サブネットマスク

シヨキセツテイ6: サブネットマスク

本製品のサブネットマスクを設定します。

- ・ [+] キー：設定値を増加させます。
- ・ [-] キー：設定値を減少させます。
- ・ [Enter] キー：入力を確定し、カーソルが次の設定値に移動します。
- ・ すべての設定値の入力を確定してください。

設定値

MASK: 255. 255. 255. 0

0.0.0.0 ~ <255.255.255.0> ~ 255.255.255.255

<> は初期値を表します。

Note

製品のサブネットマスクは、かならずネットワーク管理者に相談してから設定してください。

初期設定 7：ゲートウェイ

シヨキセツテイ7: ゲートウェイ

本製品のゲートウェイを設定します。

- ・ [+] キー：設定値を増加させます。
- ・ [-] キー：設定値を減少させます。
- ・ [Enter] キー：入力を確定し、カーソルが次の設定値に移動します。
- ・ すべての設定値の入力を確定してください。

設定値

GW: 192. 168. 1. 254

0.0.0.0 ~ <192.168.1.254> ~ 255.255.255.255

<> は初期値を表します。

Note

製品のゲートウェイは、かならずネットワーク管理者に相談してから設定してください。

初期設定 8：簡易選択

「メニュー 1：セッテイ」に各メニューを表示するかどうかを選択できます。
[Enter] キーを押すと、表示する・しないを変更できます。

[*] =表示する
[] =表示しない

1:[*] ユーザテイギ

「ユーザテイギ」メニューを表示します。
初期値は [*] です。

2:[*] メディアケンシュツ

「メディアケンシュツ」メニューを表示します。
初期値は [*] です。

3:[*] メディアハバ

「メディアハバ」メニューを表示します。
初期値は [*] です。

⋮

⋮

23:[*] ケイコクブザー

「ケイコクブザー」メニューを表示します。
初期値は [*] です。

24: ALL On

[Enter] キーを押すと、簡易選択メニューのすべての項目を [*] (表示する) に
します。

25: ALL Off

[Enter] キーを押すと、簡易選択メニューのすべての項目を [] (表示しない)
にします。

メニュー5: ステータス

ステータス1: インク

ステータス1: インク

各インクパックのインク残量が表示されます。(単位: %)

1234: XX/XX/XX/XX

5678: XX/XX/XX/XX

4色使用時

- ・1: ブラック (K)
- ・2: ブラック (K)
- ・3: シアン (C)
- ・4: シアン (C)
- ・5: マゼンタ (M)
- ・6: マゼンタ (M)
- ・7: イエロー (Y)
- ・8: イエロー (Y)

8色使用時

- ・1: マゼンタ (M)
- ・2: ライトマゼンタ (Lm)
- ・3: シアン (C)
- ・4: ライトシアン (Lc)
- ・5: ライトライトブラック (LLk)
- ・6: ブラック (K)
- ・7: イエロー (Y)
- ・8: ライトブラック (Lk)

Note

インクに関する各種情報を表示させる場合は、純正品のインクおよびS/Cカードを使用してください。
純正品以外を使用すると、インクステータスが正しく表示されません。

ステータス2: 寿命

ステータス2: ジュミョウ

製品各部の部品寿命を表示します。

- ・部品寿命は、*印の数(最大5個: 残り100%)で表示します。部品寿命が近づくにつれて、*印の数が1個(20%)ずつ減っていきます。
- ・*印が全て消えて、「Change」と表示された場合は、部品寿命に達しています。部品の交換を依頼してください。

 「お問い合わせ先」P.140

- ・「Change」になると、メニューに入っていないときに「ジュミョウカクニン [ポンプX]」などと表示が出るようになります。

この表示は [Cancel] キーで削除できます。

ヘッド1: E*** F

ヘッド2: E*** F

ヘッド3: E** F

ヘッド4: E* F

プリントヘッド1の部品寿命を表示します。この場合は、残り60%を示します。

プリントヘッド2の部品寿命を表示します。この場合は、残り60%を示します。

プリントヘッド3の部品寿命を表示します。この場合は、残り40%を示します。

プリントヘッド4の部品寿命を表示します。この場合は、残り20%を示します。

ポンプ1: E*** F

ポンプ1の部品寿命を表示します。この場合は、残り60%を示します。

ポンプ2: E*** F

ポンプ2の部品寿命を表示します。この場合は、残り60%を示します。

ポンプ3: E*** F

ポンプ3の部品寿命を表示します。この場合は、残り60%を示します。

ポンプ4: E*** F

ポンプ4の部品寿命を表示します。この場合は、残り60%を示します。

CRモータ: Change

CRモータの部品寿命を表示します。この場合は、部品寿命に達しています。部品の交換を依頼してください。

PFモータ: E**** F

PFモータの部品寿命を表示します。この場合は、残り80%を示します。

ステータス3：バージョン

ステータス3: バージョン

ファームウェアのバージョンを表示します。

Ver. M/C: X.XX / X.XX

メイン側 (M) およびコントローラ側 (C) のファームウェアのバージョンを表示します。

ステータス4：Job

ステータス4: Job

前回の印刷結果について、各種情報を表示します。

Jobステータス: カンリョウ

印刷が完了したかどうかを表示します。

- ・完了した場合：「カンリョウ」
- ・中断した場合：「キャンセル」

データナガサ: XXX.X m

印刷データの全長（メディア送り方向）を表示します。

インサツズミ: XXX.X m

印刷済みの部分の長さを表示します。

インサツノコリ: XXX.X m

まだ印刷されていないデータの長さを表示します。

Note

- ・この機能で表示される数値は目安です。厳密な精度を保証するものではありません。
- ・印刷データに長さ情報が含まれていない場合は、すべての項目で「0」を表示します。
- ・この機能は、印刷動作が終了したデータについての情報を見る場合に使用します。印刷中のデータについては、「[印刷中に操作パネルでできること](#)」P.44の「[メニュー6：Jobステータス](#)」P.48を参照してください。

メニュー6: テスト作画

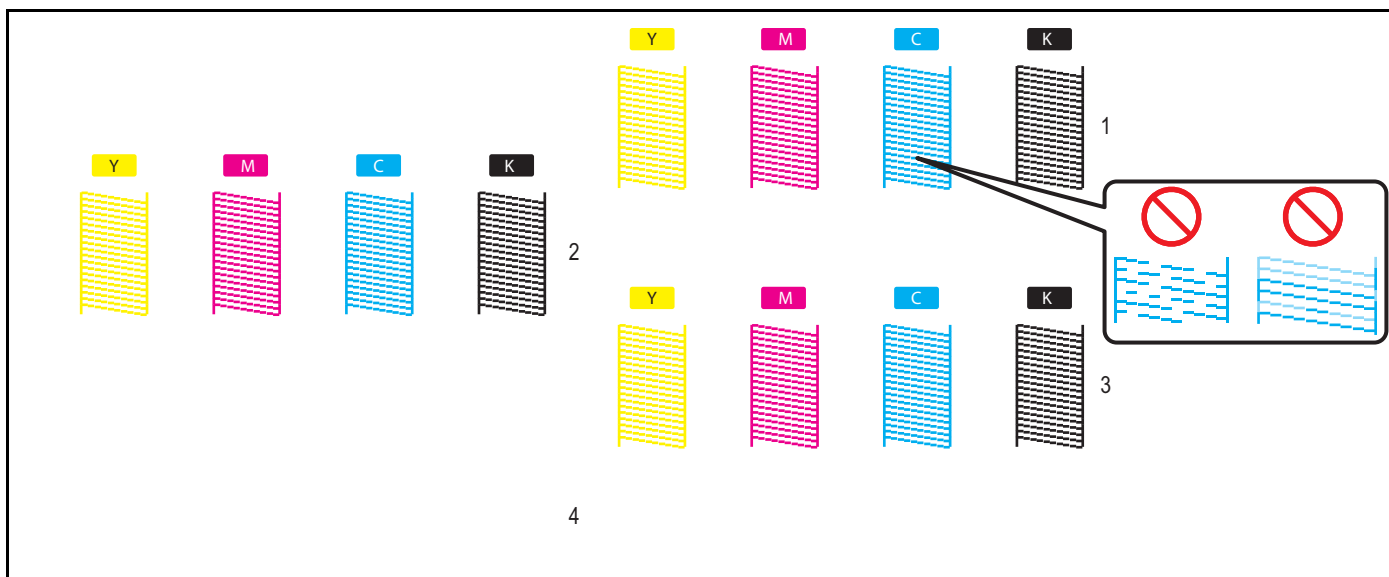
テスト 1: ノズルチェック

テスト1: ノズルチェック

印刷に使用するヘッドの目詰まりや印刷の欠け・かすれがないか確認をする時に使用します。

プリントヘッド選択、プリントノズル選択の設定が反映されます。

👉 「ノズルチェック」P.32、「セット 17: プリントヘッド選択」P.74、「セット 18: プリントノズル選択」P.75



Note

- ・上記のパターンは、4色使用、プリントヘッド選択: 1/2/3、プリントノズル選択: Aノズルの場合です。
- ・パターンの右側にある数字は、それぞれのパターンを印刷したプリントヘッドを表します。
- ・ノズル抜けが特定のプリントヘッドで発生している場合、ヘッド選択メニューでクリーニングを行うプリントヘッドを選択することで、インクの消費量を抑えることが期待されます。
👉 「ヘッド選択」P.79
- ・プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

テスト 2: モードプリント

テスト2: モードプリント

モードプリント印刷を行います。以下の印刷条件を確認するときに使用します。

- ・作画モード
- ・エフェクト
- ・ヒーター（上）、ヒーター（下）の設定値
- ・送り補正の微調整値

2016/1/01 00:00 G2(720x1080 6Pass Uni)-Fine & Fog/ヒーター(上):30°C/ヒーター(下):30°C/微調整値0%

テスト 3：設定内容作画

テスト3: セッテイナイヨウ

設定内容の印刷を行います。
現在の設定内容および、ユーザ定義を確認するときに使用します。

現在の設定内容

現在の設定内容

各ユーザ定義		Head	Height	Low	Column	Mode	Normal
[1] ユーザ定義	Type 1	FineDot	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm
[2] ユーザ定義	Type 2	Graphics 2	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm
[3] ユーザ定義	Type 3	Graphics 2	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm
[4] ユーザ定義	Type 4	Graphics 2	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm
[5] ユーザ定義	Type 5	Graphics 2	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm
[6] ユーザ定義	Type 6	Graphics 2	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm
[7] ユーザ定義	Type 7	Graphics 2	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm
[8] ユーザ定義	Type 8	Graphics 2	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm
[9] ユーザ定義	Type 9	Graphics 2	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm
[10] ユーザ定義	Type 10	Graphics 2	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm
[11] ユーザ定義	Type 11	Graphics 2	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm
[12] ユーザ定義	Type 12	Graphics 2	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm
[13] ユーザ定義	Type 13	Graphics 2	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm
[14] ユーザ定義	Type 14	Graphics 2	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm
[15] ユーザ定義	Type 15	Graphics 2	250.0 / 250.0mm	0.00%	オフ	High	170µm

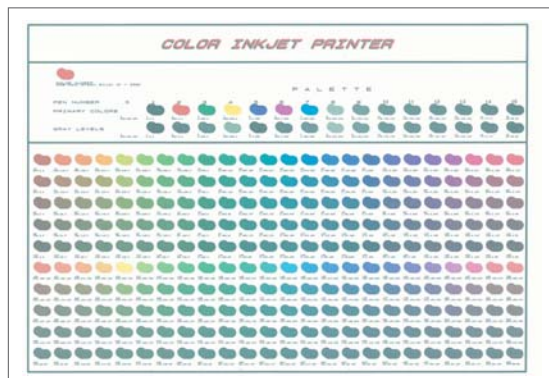
各ユーザ定義設定

ユーザ定義	Type 1	Type 2	Type 3	Type 4	Type 5
作画モード	Graphics 2	Graphics 2	Graphics 2	Graphics 2	Graphics 2
作画モードドキュメント	FineDot	FineDot	FineDot	FineDot	FineDot
塗り残し印刷解除	250.0 / 250.0mm	250.0 / 250.0mm	250.0 / 250.0mm	250.0 / 250.0mm	250.0 / 250.0mm
塗り残し印刷解除	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
ローター (上)	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
ローター (下)	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
電圧アップ	High	High	High	High	High
原寸	170µm	170µm	170µm	170µm	170µm

テスト 4：パレット作画

テスト4: パレット

カラーデモとして、パレット印刷を行います。



Note

現在選択されているユーザ定義の作画モードが、「Graphics 1」または「Graphics 2」に設定されている場合は、「パレット作画」メニューは表示されません。

「**> 1：作画モード」P.56

テスト5：ヘッド調整

テスト5: ヘッドチョウセイ>

本製品のキャリッジの内部には、プリントヘッドが4つ搭載されています。このメニューでは、プリントヘッド1からプリントヘッド4までの印刷がズレないように調整します。[>]キーを押すと、サブメニューを表示します。

以下の場合に行ってください。

- ・「調整作画」を行っても画質が改善しないとき
- ・薄いメディアやインク滴が広がらないメディアに変更した後

このメニューを行った後には、かならず「調整作画」を行ってください。行わないと双方向印刷での画質が低下する恐れがあります。

サブメニュー

ヘッドチョウセイ1: Standard

現在のユーザ定義で使用している作画モードのみを調整します。「Custom」で「チョウセイ ALL」を選択した場合よりも短い時間で調整できます。

この「Standard」で調整したときは、RIP側の作画モードの中身をユーザ定義の作画モードと同じにする必要があります。RIP側の作画モードの解像度、パス数、作画方向をユーザ定義の作画モード相当にしてください。

ヘッドチョウセイ2: Custom

現在のユーザ定義で使用している作画モード以外の作画モードも調整できます。RIP側の作画モードがユーザ定義の作画モードと違っていても、画質を最適にできます。

ヘッドチョウセイ2：Customを選択した場合

ヘッドチョウセイ2: Custom

調整方法を選択できます。

「チョウセイ A」～「チョウセイ F」を選択する場合は、印刷で使用する作画モードと合ったものを選択してください。

RIP側の作画モードの解像度、パス数、作画方向がユーザ定義の作画モードと異なっている場合は、RIP側に合わせた調整パターンを選択してください。

 「[作画モードに対応する調整パターン](#)」P.58

サブメニュー

チョウセイ1: チョウセイALL

すべてのパターンを調整します。

チョウセイ2: チョウセイパターンA

A～Fのうちから選択された調整パターンを印刷します。

⋮

⋮

チョウセイ7: チョウセイパターンF

手順

1. 調整パターンを印刷し、ズレがないところを探します。

- ズレのないパターンの下に印刷されている番号が調整値です。

2. 調整値を入力します。

Note

- 調整パターンの印刷前に、ヒーターのウォームアップを行います。
操作パネルに「ウォームアップ° チュウ スキップ° → Enter」と表示されます。
- ウォームアップ中に印刷を開始することができます。
👉 「ウォームアップ中に印刷を開始する」P.43

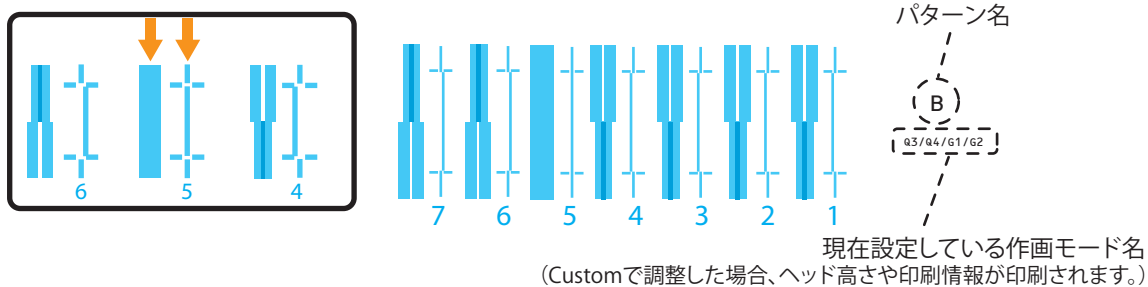
⚠ 注意



「ウォームアップ° チュウ」表示のときは、メディアガイドに触れないでください。
やけどの恐れがあります。

調整パターン

- [Enter] キーを押すと、印刷を行います。ヘッド調整パターンは、メディア両端と中央に印刷されます。
- 印刷結果を確認し、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。
- ディスプレイに「パターン B: 4」などと表示されているので、もっともズレのないパターンの番号を [+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。
- 下図の場合「パターン B: 5」と入力します。
- 「ヘッドチョウセイ 2: Custom」を選択し、かつ「チョウセイ ALL」を選択した場合は、A ~ F について調整値を入力します。

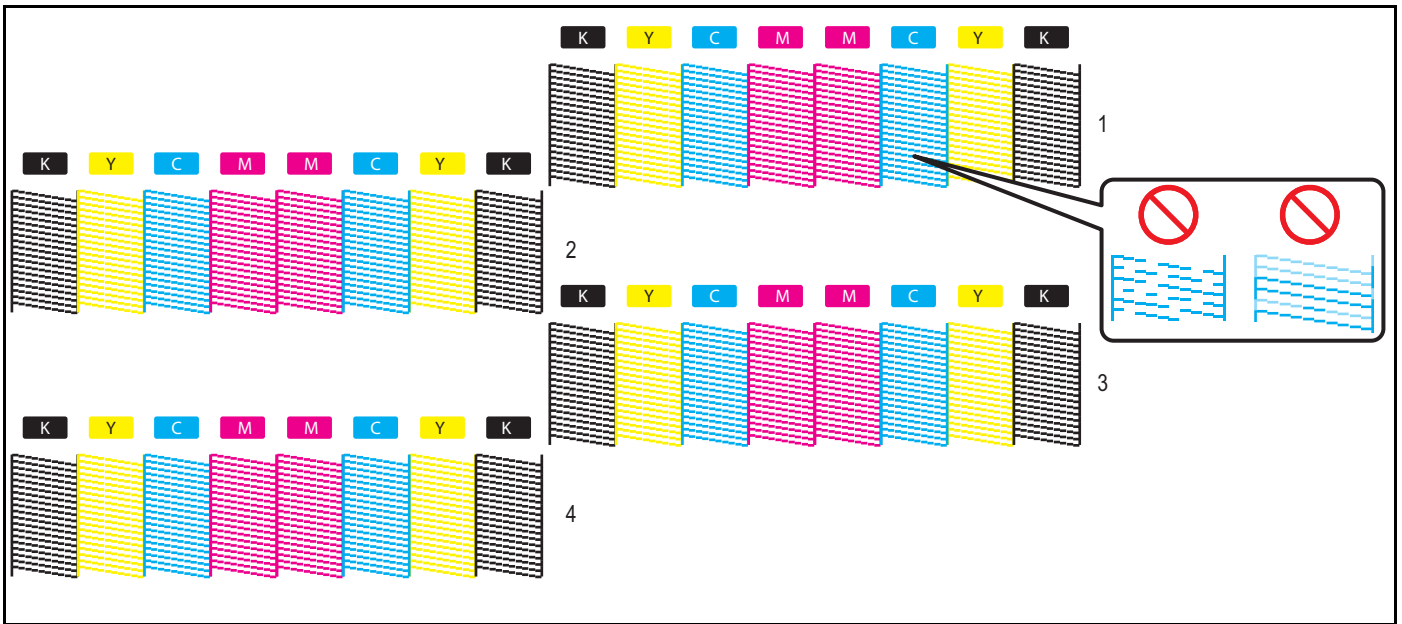


テスト 6：ノズルチェック F

テスト6: ノズルチェックF

すべてのプリントヘッドのノズルチェックパターンを印刷します。

・以下のパターンは、4色使用の場合です。



Note

- ・パターンの右側にある数字は、それぞれのパターンを印刷したプリントヘッドを表します。
- ・ノズル抜けが特定のプリントヘッドで発生している場合、ヘッド選択メニューでクリーニングを行うプリントヘッドを選択することで、インクの消費量を抑えることが期待されます。
👉 [「ヘッド選択」P.79](#)
- ・プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

第3章 メンテナンス

メンテナンスについて	96
インクの確認とインクパックの交換.....	97
インク残量を確認する.....	97
インクの交換が近づいたら.....	98
インクパックの交換	98
廃液タンクを空にする	101
廃液タンクを空にする.....	101
各部のクリーニング	103
ヘッドクリーニング	103
クリーニングワイパーの清掃	105
プリントヘッド外周の清掃.....	108
内部の清掃.....	110
消耗品の交換.....	111
フラッシングボックス用吸収材の交換	111
カッターの交換	115
輸送.....	118
移動の方法.....	118
輸送の方法.....	119
長期保存の方法	120
ヘッド洗浄後の初期充てんの方法.....	123

メンテナンスについて

本製品の性能を維持するために、お客様によるメンテナンスをお願いいたします。
メンテナンスには次のようなものがあります。

毎日の作業の開始前後	「ノズルチェックとクリーニング」P. 32
ご使用に合わせて	「ヘッドクリーニング」P. 103
	「インクパックの交換」P. 98
	「廃液タンクを空にする」P. 101
	「フラッシングボックス用吸収材の交換」P. 111
	「カッターの交換」P. 115
1週間に1度	「クリーニングワイパーの清掃」P. 105
	「プリントヘッド外周の清掃」P. 108
1か月に1度	「内部の清掃」P. 110
1週間以上使用しないとき	「ヘッドクリーニング」P. 103 (1週間に1度)
長期間使用しないとき	「長期保存の方法」P. 120

Important!

次の場合には、サービスマンによる対応が必要となりますので、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

- ・重障害エラーが繰り返し発生した。
- ・各種モーター、ポンプ、プリントヘッドの寿命を知らせるメッセージが表示された。

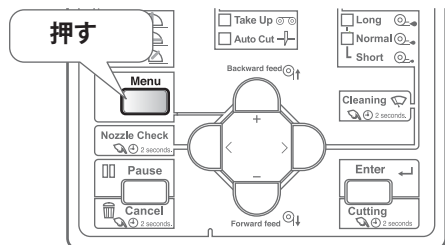
 「メッセージとエラーメッセージ」P. 126

 「お問い合わせ先」P. 140

インクの確認とインクパックの交換

インク残量を確認する

[1]



操作パネルの [Menu] キーを押します。

[2]

メニュー5: ステータス >

[-] キーを何回か押して、左の表示にします。

[>] キーを押します。

[3]

ステータス1: インク

[Enter] キーを押します。

[4]

1234: 100/90/80/70

5678: 100/90/80/70

[-] キーを押すと、表示が切り替わります。

・インクの残量を 0% ~ 100% で表示します。

・ 4 色使用時

1	K1 (ブラック)	2	K2 (ブラック)	3	C1 (シアン)	4	C2 (シアン)
5	M1 (マゼンタ)	6	M2 (マゼンタ)	7	Y1 (イエロー)	8	Y2 (イエロー)

・ 8 色使用時

1	M (マゼンタ)	2	Lm (ライトマゼンタ)	3	C (シアン)	4	Lc (ライトシアン)
5	LLk (ライトライ トブラック)	6	K (ブラック)	7	Y (イエロー)	8	Lk (ライトブラック)

インクの交換が近づいたら

インクの残量が少なくなると、操作パネルのエラー LED が点滅し、ブザーが鳴ります。

手順

[1]

[4] S/C インクスクナイ

[Enter] キーを押します。

- ・ブザーが停止します。
- ・左図では 4 番目のスロットのインクの交換が近づいています。

[2] 交換用インクパックを用意します。

インクパックの交換

インクがなくなると、操作パネルのエラー LED が点灯し、ブザーが鳴ります。

操作パネルに「インクナシ」または、「S/C インクナシ」が表示されます。すみやかにインクを交換してください。

操作パネルに「インクナシ」または、「S/C インクナシ」が表示された後、一定時間インクが交換されないと印刷が一時停止します。その場合は新しいインクパックに交換すると再開します。

Important!

- ・本製品の電源がオフになっている場合は、インクを交換しないでください。
インク残量の検出が正しくできなくなります。
- ・インクパックを寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、移動先の環境に慣らすため、3 時間以上放置してから使用してください。
- ・交換用インクパックがない場合は、空のインクパックをプリンターから取り外さないでください。
取り外した状態で放置すると、プリントヘッドが目詰まりする原因になります。

1. インクパックケースの取り外し

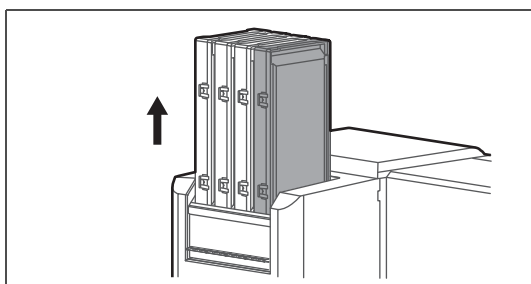
[1]

[46] インクナシ

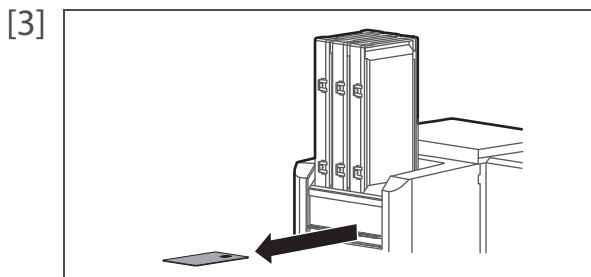
操作パネルの [Enter] キーを押します。

- ・ブザーが停止します。
- ・左図では 4 番目と 6 番目のスロットのインクの交換が必要です。

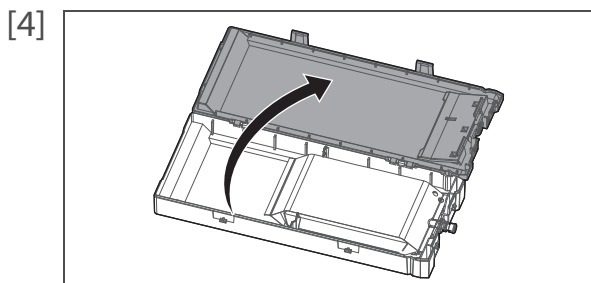
[2]



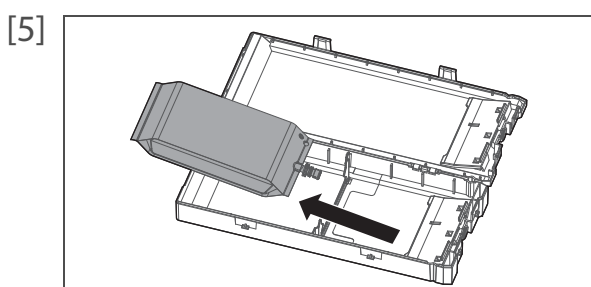
交換するインクパックケースを取り外します。



本製品から S/C カードを取り外します。



インクパックケースを開きます。



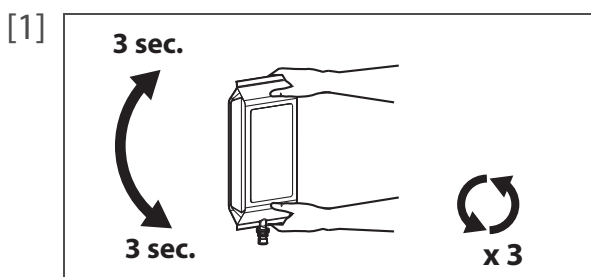
空のインクパックを取り外します。



Note

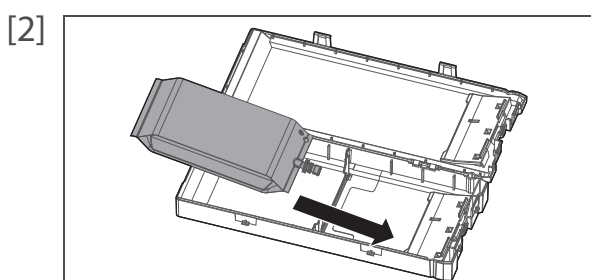
使用済みのインクパックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

2. インクパックの取り付け

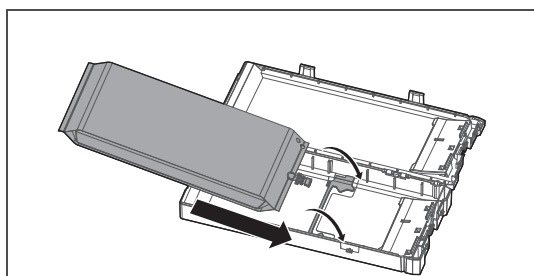


新しいインクパックを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。

- ・差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- ・次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- ・3 回繰り返します。



インクパックケースを開き、インクパックを取り付けます。



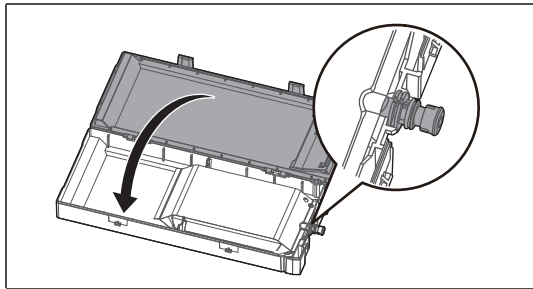
2L インクパックをご使用の場合は、インクパックケースの仕切り板のロックを解除してからインクパックを取り付けます。



Important!

1L パックをご使用の場合は、かならず仕切り板をロックしてください。

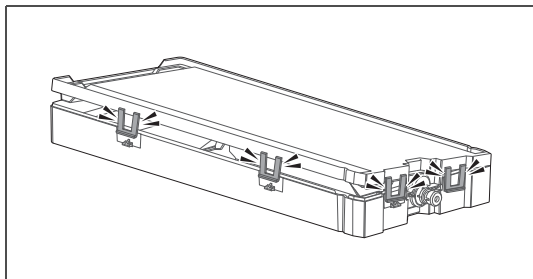
[3]



インクパッケースを閉じます。

Important!

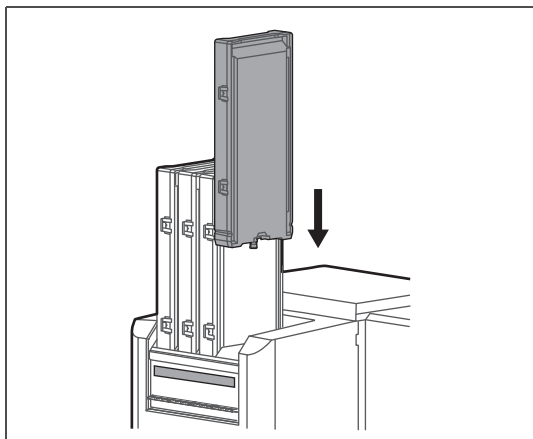
インクパックの口が固定されていることを確認してください。
固定されていない場合、インクパックが正しく認識されません。



インクパッケースの留め具（4カ所）をしっかりと固定してください。

3. インクパッケースと S/C カードの取り付け

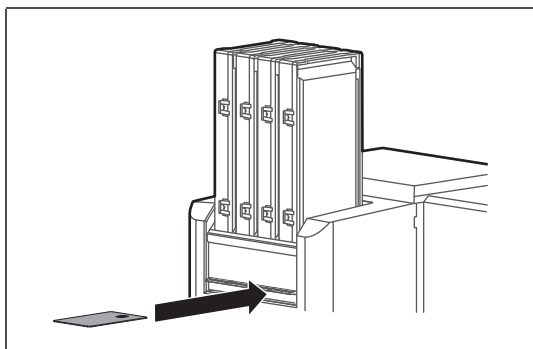
[1]



インクパッケースを差し込みます。

- ・本製品のインク色表示ラベルとインクパックのラベルの色を合わせてください。
- ・インクパッケースの留め具が手前にある状態で差し込みます。
- ・奥までしっかり差し込んでください。

[2]



新しい S/C カードを取り付けます。

廃液タンクを空にする

廃液タンクを空にする

次の場合には、廃液タンクの廃液を容器に移して排出してください。

- ・印刷開始前に廃液が廃液タンクに半分以上たまっている場合
- ・ディスプレイ表示に「ハイエキタンク マンタン」と表示された場合

ディスプレイ表示

ハイエキタンク マンタン

廃液タンクが満タンになりました。ただちに廃液を排出してください。
・印刷などの動作は停止します。排出後、再開します。

1. 廃液を容器に移す

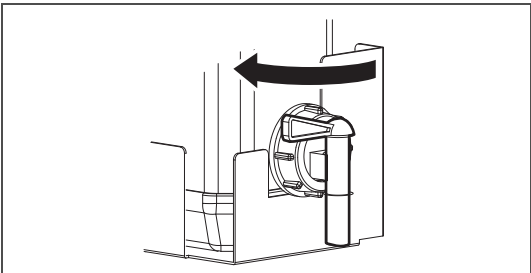
- [1] 廃液を移し替える容器を用意します。

Important!

廃液タンクの容量は 2,000ml です。廃液を排出するときは、十分な容量の容器を用意してください。

- [2] いらない用紙などを廃液タンクの下に床にしきます。

- [3]  廃液コックを開き、空容器に廃液を移します。

- [4]  廃液を空容器に移し終わったら、廃液コックを確実に閉めます。

[5] 廃液コックの口を布などでふき取ります。

[6] 廃液は産業廃棄物として処理します。

警 告



プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。

各部のクリーニング

本製品を常によい状態で使用できるように、定期的にクリーニングを行ってください。

ヘッドクリーニング

ノズルチェックをしてノズル抜けがあったときはヘッドクリーニングを行ってください。ヘッドクリーニングはインクを消費します。

ノズル抜けが特定のプリントヘッドで発生している場合、ヘッド選択メニューでクリーニングを行うプリントヘッドを選択することで、インクの消費量を抑えることが期待されます。

👉 「ヘッド選択」P.79

本製品にはいくつかのクリーニングモードがあります。ご使用状況によって使いわけてください。

微量クリーニング	通常クリーニングより少量のインクを消費します。
通常クリーニング	印刷作業の開始前と終了後にノズルチェックを行い、ノズル抜けがある場合に使用します。
強力クリーニング	通常クリーニングより多くのインクを消費します。通常クリーニングでノズル抜けが直らない場合は強力クリーニングを行ってください。
微量充てん	強力クリーニングよりかなり高いクリーニング効果がありますが、多くのインクを消費します。 [Cleaning] キーからは選択できません。パネル設定メニューのクリーニングメニューから選択します。 👉 「メニュー 2: クリーニング」P.79
初期充てん	微量充てんよりかなり高いクリーニング効果がありますが、かなり多くのインクを消費します。 [Cleaning] キーからは選択できません。パネル設定メニューのクリーニングメニューから選択します。 👉 「メニュー 2: クリーニング」P.79

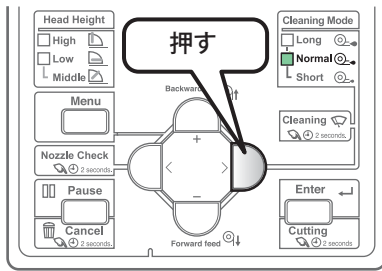
📌 Important!

微量充てん、初期充てんを行うときは、以下のことを遵守してください。
充てん動作が中断するため、再充てんによるインクの損失が発生します。

- ・フロントカバー、メンテナンスカバーを開かないこと。
- ・インク残量の少ないインクパックを使用しないこと。

ヘッドクリーニングの手順

[1]

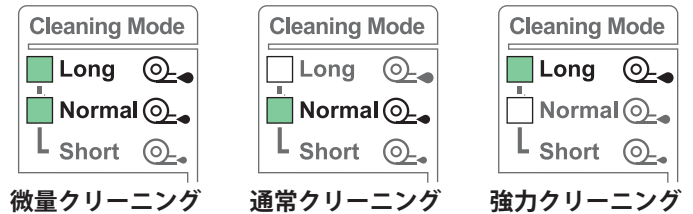


[Cleaning] キーを押して、クリーニングモードを選択します。

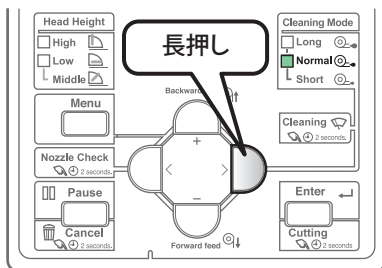
- [Cleaning Mode] ランプが切り替わります。

Note

- MSM のリモートパネルでも同じことができます。
- [Cleaning Mode] ランプは下図のように切り替わります。



[2]



[Cleaning] キーを 2 秒以上長押しします。

- クリーニングを開始します。

[3] ノズルチェックを行います。

- ノズル抜けが直っていない場合は、クリーニングとノズルチェックを繰り返してください。

👉 「ヘッドクリーニングの手順」P. 104

- ノズル抜けが特定のプリントヘッドで発生している場合、ヘッド選択メニューでクリーニングを行うプリントヘッドを選択することで、インクの消費量を抑えることが期待されます。

👉 「ヘッド選択」P. 79

Note

- 通常クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は、強力クリーニングを行ってください。
- 強力クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は、「クリーニングワイパーの清掃」P. 105 や、「プリントヘッド外周の清掃」P. 108 を行ってください。
- どうしてもノズル抜けが直らない場合は、パネル設定メニューの「クリーニングメニュー」から「微量充てん」を行ってください。

クリーニングワイパーの清掃

清掃時期：

- ・ 1週間に1度
- ・ ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくならないとき

必要なもの：

- ・ クリーンスティック

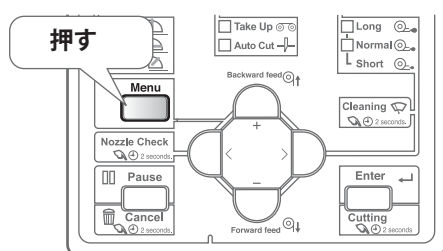
Important!

清掃時は、以下を守ってください。

- ・ 汚れが落ちにくいときは、微量クリーニングを実行してから清掃してください。
- ・ クリーンスティックは乾拭きで使用してください。水などを付けるとプリントヘッドの故障の原因となります。
- ・ クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- ・ クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- ・ 作業時間の目安は5分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

1. CRメンテナンス状態にする

[1]



[Menu] キーを押します。

[2]



[-] キーを押して、左の表示にします。
[>] キーを押します。

[3]



[Enter] キーを押します。

[4]



[Enter] キーを押します。
・ キャリッジが本製品の左側へ移動します。
・ クリーニングワイパーが上側へ移動します。



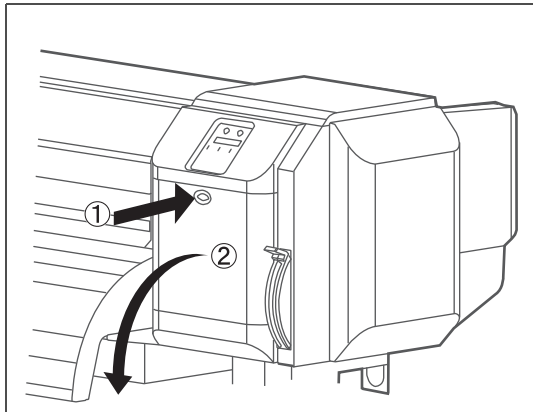
左のメッセージが表示されます。
・ 清掃を開始します。

Note

「CRメンテナンス：End」表示中に [-] キーを押すと、吸引ポンプが駆動し、キャップ内の液体が吸引されます。

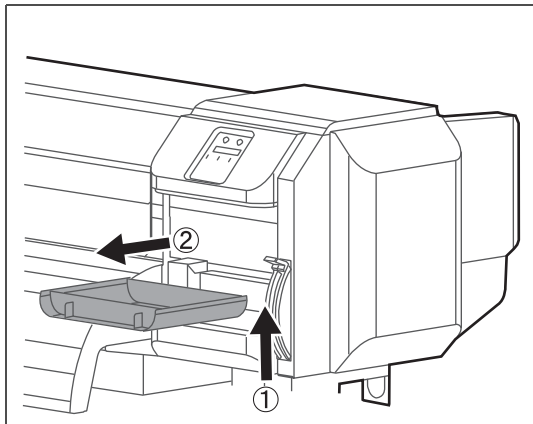
2. クリーニングワイパーを清掃する

[1]



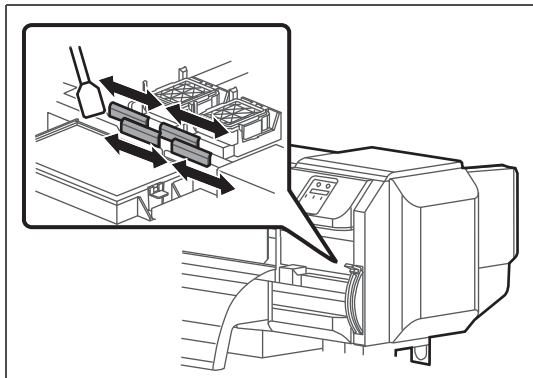
右側のメンテナンスカバーを開きます。

[2]



メンテナンスカバーを取り外します。

[3]

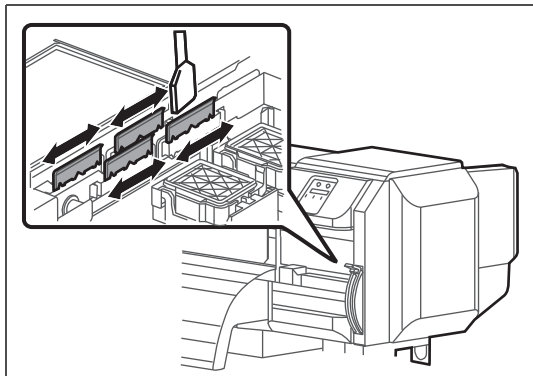


クリーンスティックで、クリーニングワイパーを拭き取ります。
・クリーニングワイパーの左側面を前後に拭き取ります。

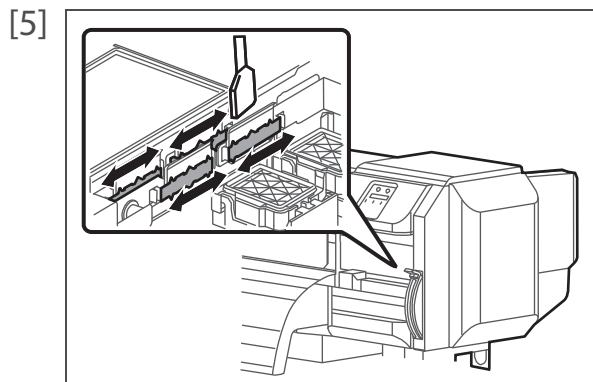
 Important!

汚れが落ちにくいときは、微量クリーニングを実行してから清掃してください。

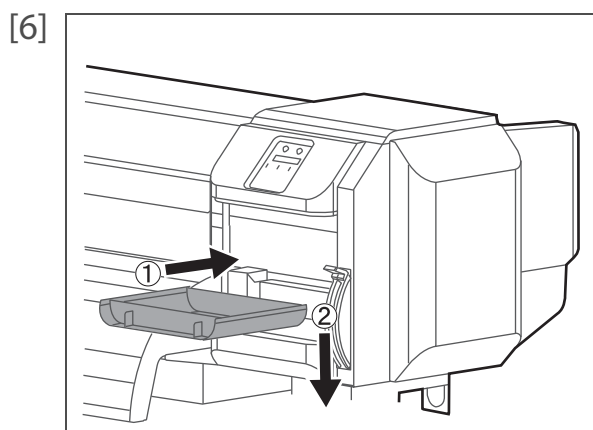
[4]



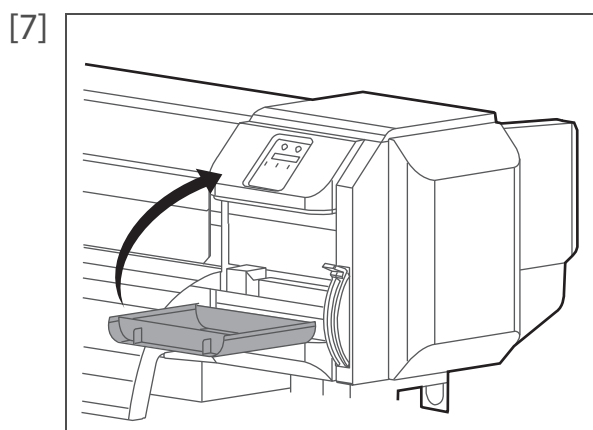
クリーニングワイパーの右側面を前後に拭き取ります。



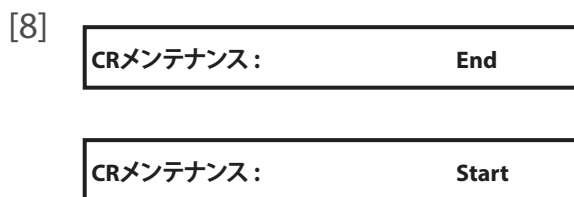
クリーニングワイパー基部の右側面を前後に拭き取ります。



メンテナンスカバーを取り付けます。



メンテナンスカバーを閉じます。



[Enter] キーを押します。

左のメッセージが表示されます。
・手順を終了します。

プリントヘッド外周の清掃

清掃時期：

- 1週間に1度
- ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくなるとき

必要なもの：

- クリーンスティック

Important!

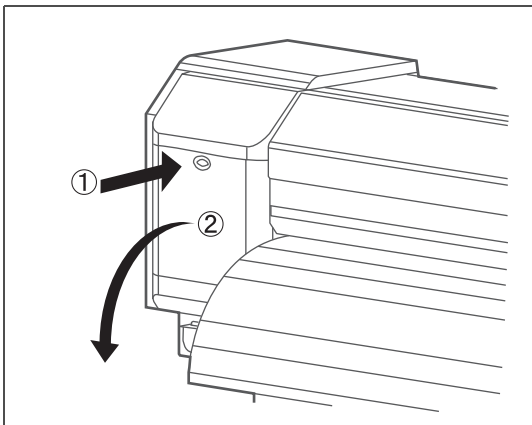
清掃時は、以下を守ってください。

- クリーンスティックは乾拭きで使用してください。水などを付けるとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- 作業時間の目安は5分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

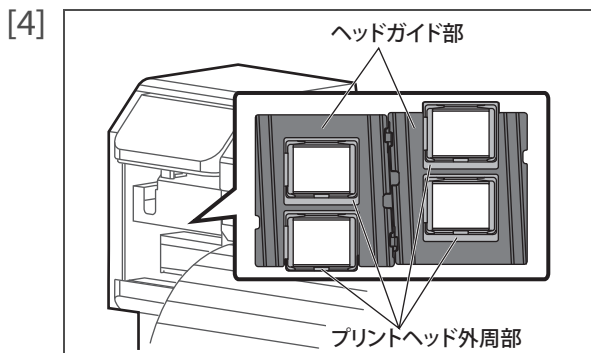
手順

[1] 本製品をCRメンテナンス状態にします。

👉 「クリーニングワイパーの清掃」の「CRメンテナンス状態にする」P.105

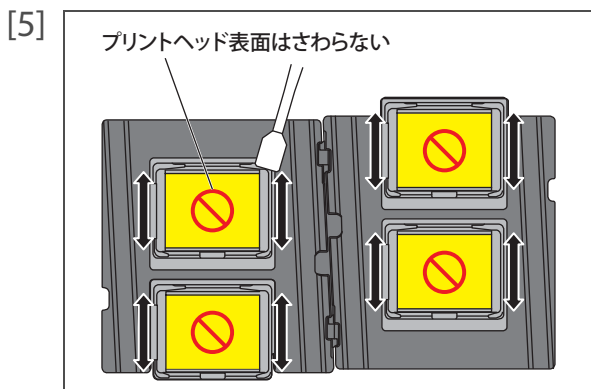
[2]  左側のメンテナンスカバーを開きます。

[3]  メンテナンスカバーを取り外します。



キャリッジの下側を見て、次の箇所にホコリやインクのかたまりが付着しているか確認します。

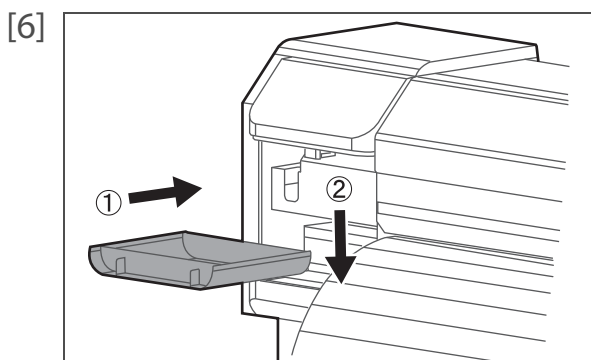
- ・プリントヘッド外周（銀色の金属部分）
- ・ヘッドガイド部（黒色のプラスチック部分）



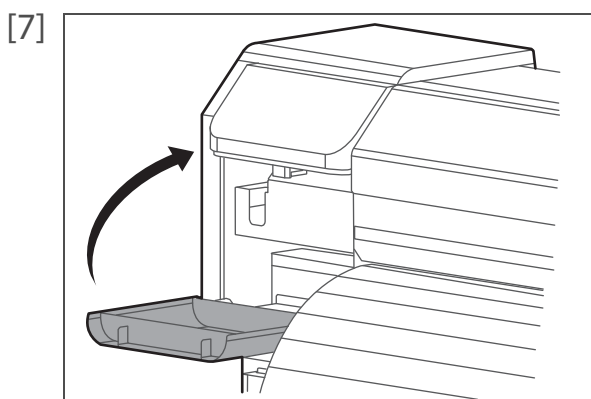
ホコリやインクのかたまりが付着していれば、クリーンスティックで清掃します。

Important!

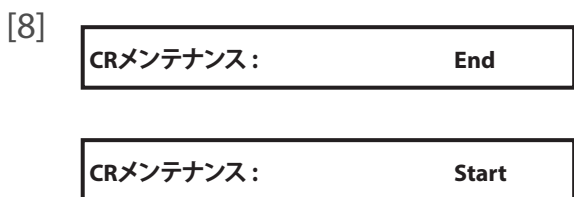
プリントヘッド表面を指やクリーンスティックでさわらないでください。
プリントヘッドの故障の原因となります。



メンテナンスカバーを取り付けます。



メンテナンスカバーを閉じます。



[Enter] キーを押します。

左のメッセージが表示されます。
・手順を終了します。

内部の清掃

清掃時期：

- 1か月に1度
- インク汚れやほこりが見えるとき

必要なもの

- 柔らかいブラシ
- 柔らかい布

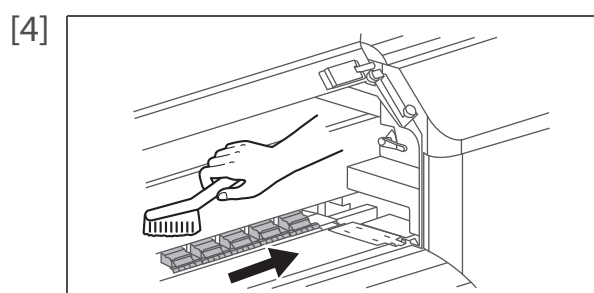
⚠ 注意



製品内部の清掃を行うときは、かならず電源をオフして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

手順

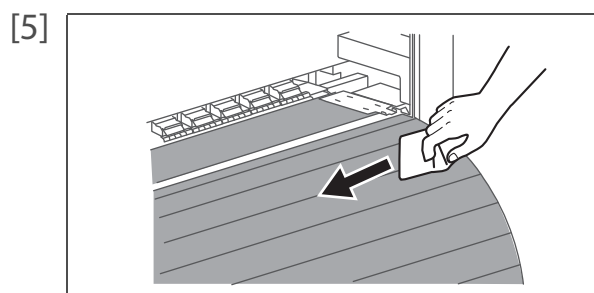
- [1] メディアを取り外します。
- [2] プリンターの電源がオフになっていることを確認します。
- [3] フロントカバーを開きます。



柔らかいブラシを使って、加圧ローラーのホコリを払います。

🔊 Important!

本製品内部に付着したホコリをエアダスターなどで吹き飛ばさないでください。
ホコリが可動部に付着して、異音や故障の原因となる恐れがあります。



水を含ませてよく絞った柔らかい布で、プラテンとメディアガイドの汚れを取ります。

- [6] フロントカバーを閉じます。

消耗品の交換

フラッシングボックス用吸収材の交換

フラッシングボックスは、プリントヘッドが排出するインクを受ける部品です。フラッシングボックス用吸収材は定期的に交換してください。交換せずに使用し続けると、プリントヘッドが故障する原因になります。

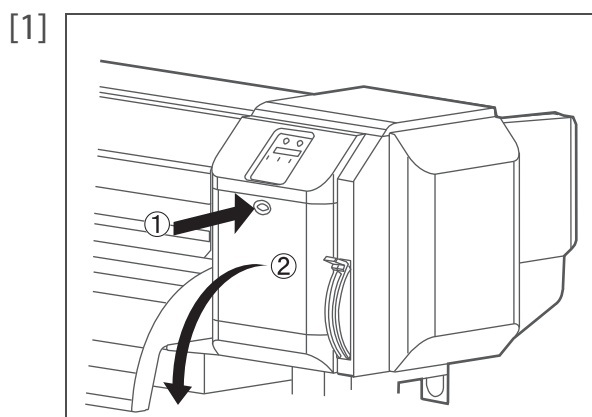
交換時期の目安：

- ・ 約 2 か月（使用頻度によりますので定期的に確認してください）

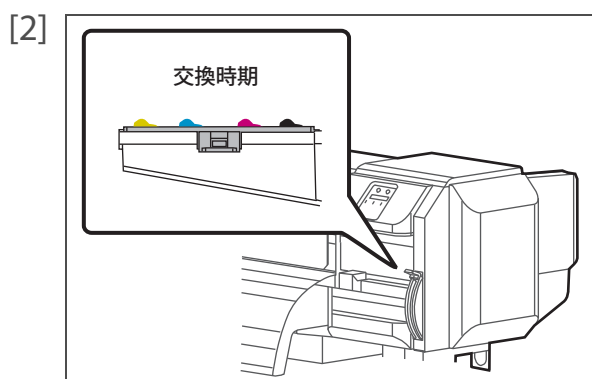
必要なもの

- ・ フラッシングボックス用吸収材
- ・ 汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）

1. 確認手順



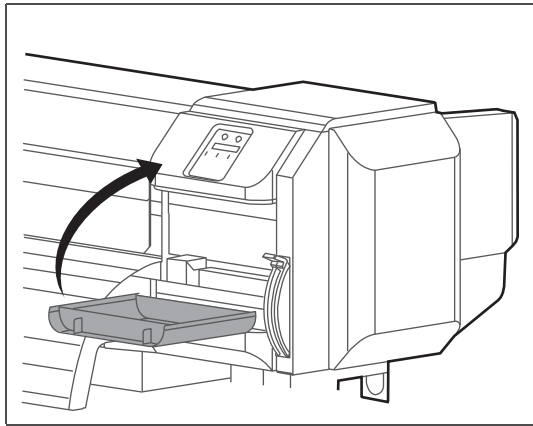
右側のメンテナンスカバーを開きます。



フラッシングボックス用吸収材を確認します。

- ・ インクのかたまりがフラッシングボックスの枠より盛り上がっていたら、交換時期です。

[3]



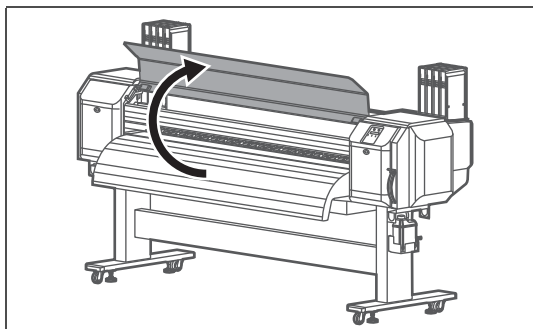
メンテナンスカバーを閉じます。

2. 交換手順

[1] 本製品を CR メンテナンス状態にします。

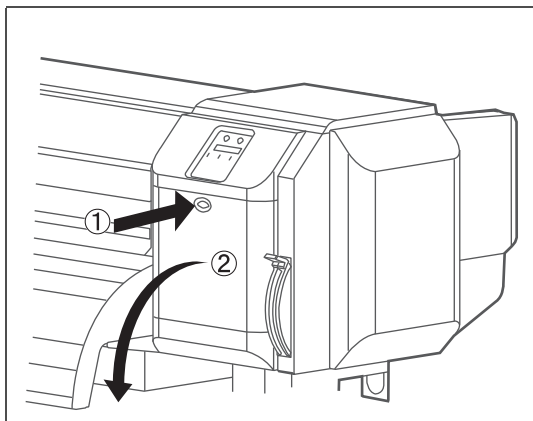
👉 「クリーニングワイパーの清掃」の「CR メンテナンス状態にする」P.105

[2]



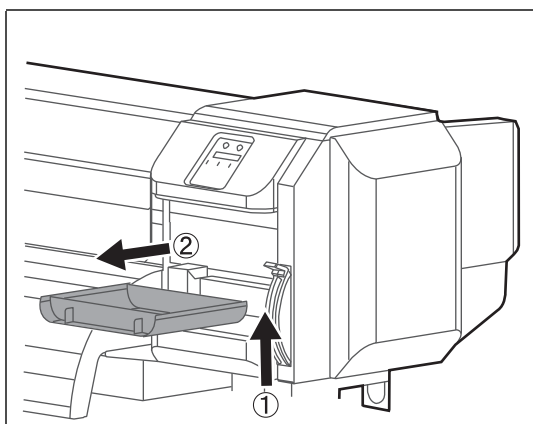
フロントカバーを開きます。

[3]



右側のメンテナンスカバーを開きます。

[4]

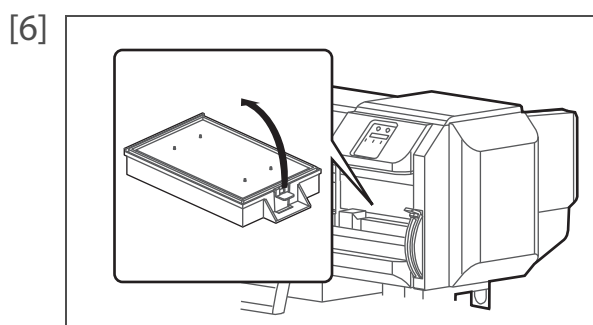


メンテナンスカバーを取り外します。

[5] プラテンに、汚れてもかまわない紙をしきます。

 Important!

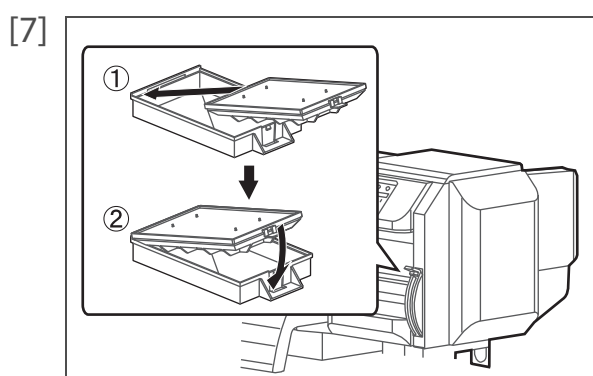
フラッシングボックス用吸収材からインクがたれることがあります。
床にも紙をしくことをおすすめします。



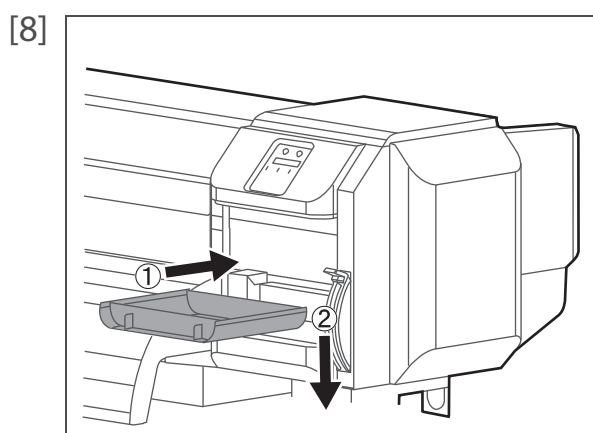
フラッシングボックス用吸収材のツメ部を持ち上げてフックを解除し、フラッシングボックス吸収材を取り外します。

 Important!

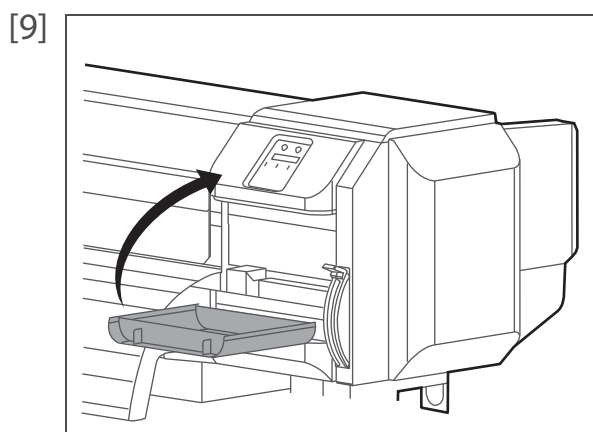
フラッシングボックス用吸収材を取り外すときに、インクがたれ落ちないように注意してください。



新しいフラッシングボックス用吸収材を取り付けます。

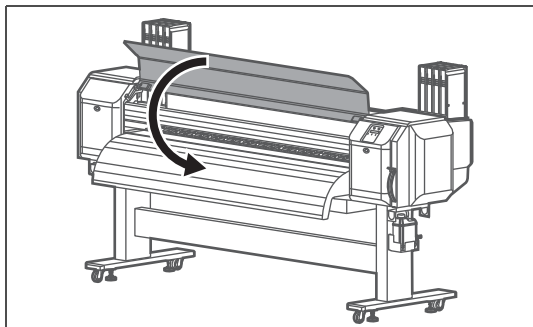


メンテナンスカバーを取り付けます。



メンテナンスカバーを閉じます。

[10]



フロントカバーを閉じます。

[11]

CRメンテナンス: End

[Enter] キーを押します。

CRメンテナンス: Start

左のメッセージが表示されます。

・手順を終了します。

カッターの交換

交換時期の目安：

- ・メディアがきれいにカットできない場合
- ・カット部に毛羽立ちなどが発生した場合

必要なもの

- ・カッター交換刃

▲ 注 意



- ・カッターのつまみを強く押したり、急に離したりしないでください。カッターの下にバネがありますので、カッターが飛び出す可能性があります。
- ・カッターの刃先には触れないでください。けがをする恐れがあります。

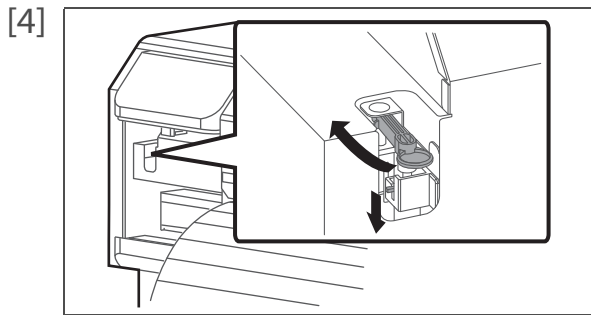
1. 交換手順

- [1] 本製品を CR メンテナンス状態にします。

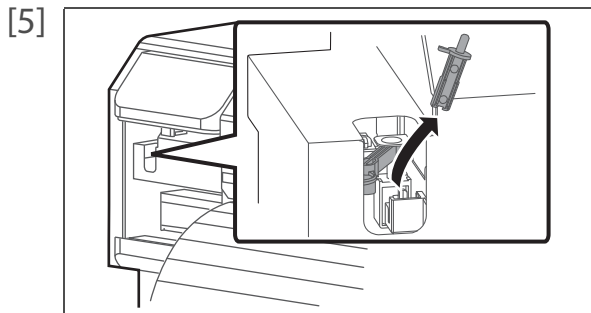
 「クリーニングワイパーの清掃」の「CR メンテナンス状態にする」P.105

- [2]  左側のメンテナンスカバーを開きます。

- [3]  メンテナンスカバーを取り外します。



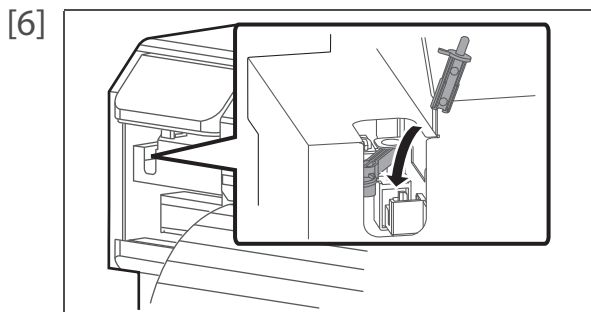
カッターのつまみを軽く押しながら、カッター押さえを図の方向に回転させます。



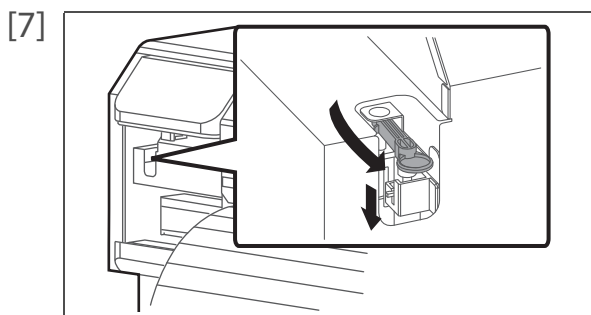
カッターを取り出します。



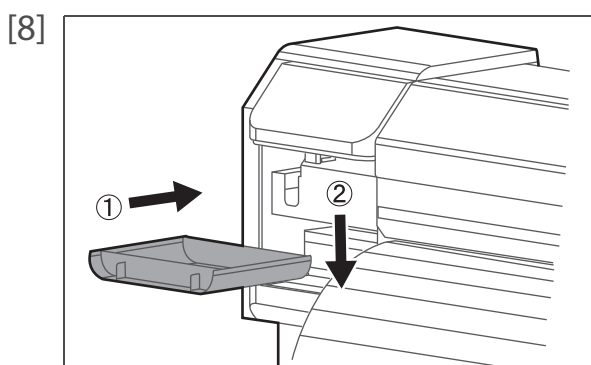
使用済みのカッターは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。



新しいカッターを取り付けます。

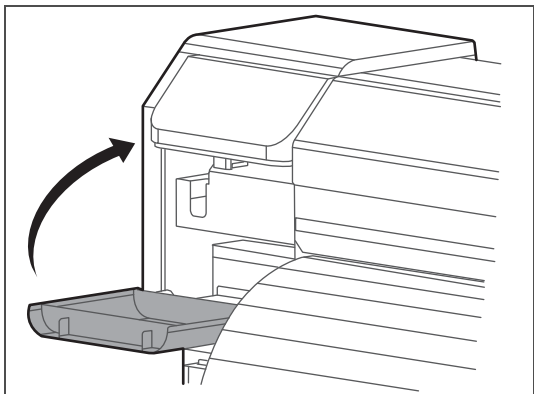


カッターのつまみを軽く押しながら、カッター押さえを元の位置に戻します。



メンテナンスカバーを取り付けます。

[9]



メンテナンスカバーを閉じます。

[10]

CRメンテナンス:	End
-----------	-----

[Enter] キーを押します。

CRメンテナンス:	Start
-----------	-------

左のメッセージが表示されます。

・手順を終了します。

本製品の輸送、移動方法について説明します。

移動の方法

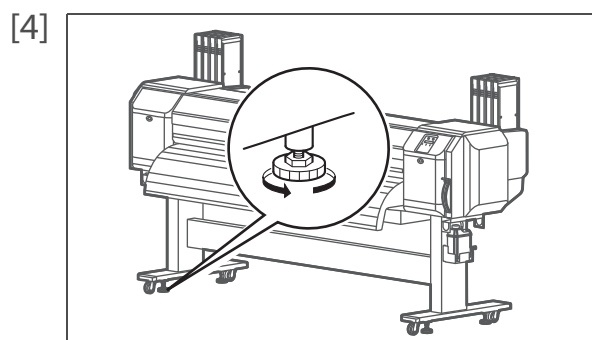
本製品の移動方法について説明します。

Important!

- 製品は水平の状態を保ったまま移動させてください。
- 本製品を傾けたり、上下を逆にしないでください。
内部のインクが漏れる恐れがあります。また移動後の正常動作が保証できません。

1. 移動前の手順




- [1] 電源をオフにします。
- [2] 廃液タンクを空にします。
☞ 「[廃液タンクを空にする](#)」P.101
- [3] 電源ケーブルなどのケーブル類をすべて取り外します。



専用スタンドのアジャスター（4箇所）を、左図の方向に回転させて緩めます。

- [5] 本製品を移動します。

2. 移動後の手順

- [1] 設置に適した場所を確認します。
 スタートアップガイド
- [2] 設置場所に移動後、製品を固定します。
- [3] 電源ケーブルなどのケーブル類を取り付けます。
- [4] ノズルチェックを行い、目詰まりがないか確認します。
 「ノズルチェック」P.32
- [5] 画質調整を行います。
 「画質調整」P.36

輸送の方法

本製品を輸送する場合は、振動や衝撃から製品本体を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。

Important!

本製品を輸送する場合は、お買い上げの **MUTOH** 製品販売店にご相談ください。

長期保存の方法

長期間使わないときは、「ヘッド洗浄」を行ってください。

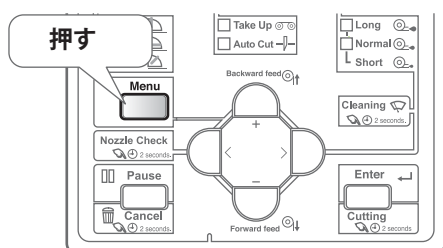
必要なもの：

- ・ 洗浄パック：8本

[1] 廃液タンクを空にします。

 「廃液タンクを空にする」P.101

[2]



[Menu] キーを押します。

[3]

メニュー3: メンテナンス >

[-] キーを押して、左の表示にします。

[>] キーを押します。

[4]

メンテナンス2: ヘッドセンジョウ

[-] キーを押して、左の表示にします。

[Enter] キーを押します。

[5]

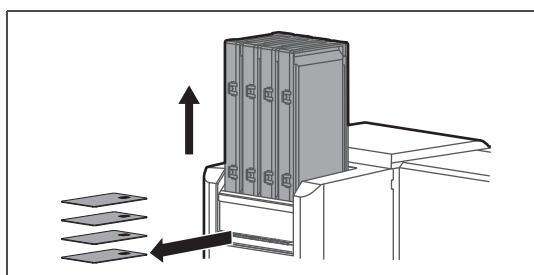
ヘッドセンジョウ: Start

[Enter] キーを押します。

バック ヲ マイテクダサイ

左のメッセージが表示されます。

[6]



すべてのインクパッキケースと SC カードを抜きます。

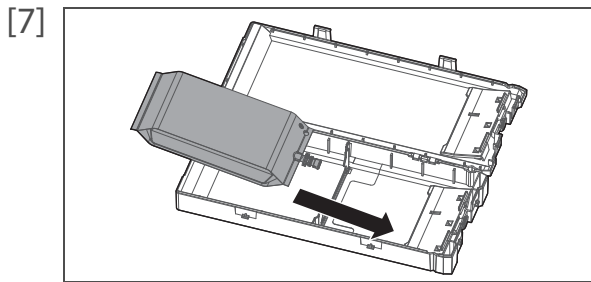
インクハイシュツチュウ

左のメッセージが表示されます。

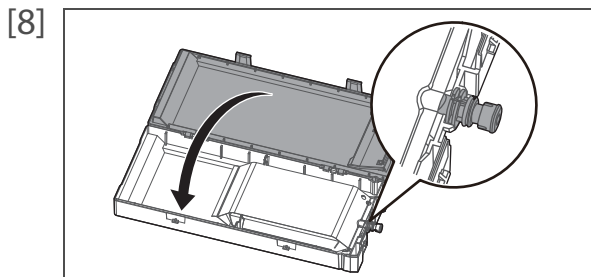
・ インクの排出を開始します。

センジョウパック ヲ セット

排出が終わると、左のメッセージが表示されます。



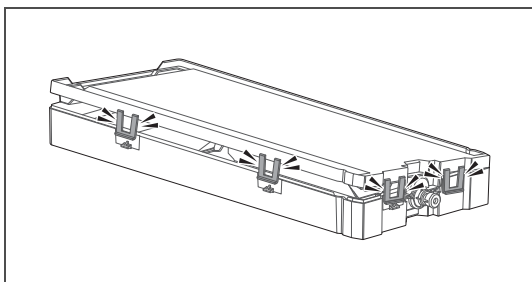
インクパックケースに洗浄パックを取り付けます。



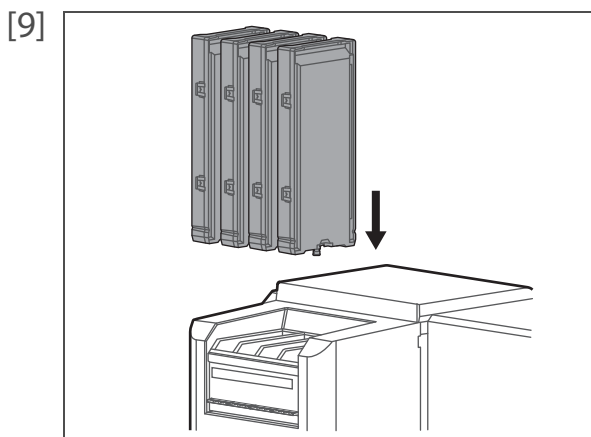
インクパックケースを閉じます。

Important!

洗浄パックの口が固定されていることを確認してください。
固定されていない場合、洗浄パックが正しく認識されません。

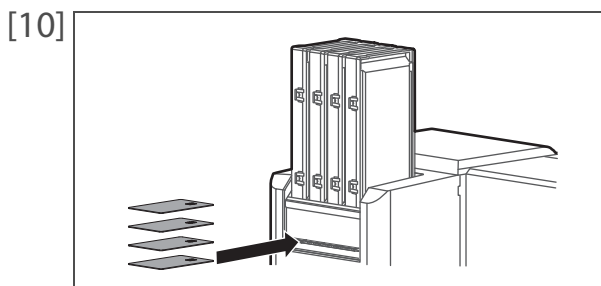


インクパックケースの留め具（4カ所）をしっかりと固定してください。



すべてのインクカートリッジスロットに洗浄パックが入ったインクパックケースを取り付けます。

- ・インクパックケースの留め具が手前にある状態で差し込みます。
- ・奥までしっかり差し込んでください。



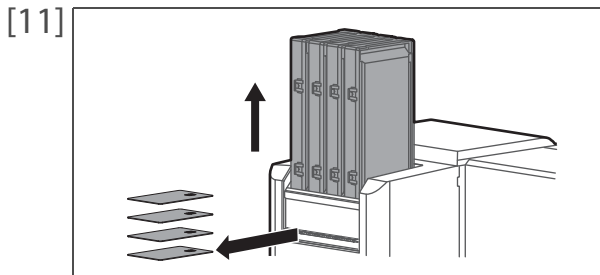
S/C カードを取り付けます。

ヘッドセンジョウチュウ

左のメッセージが表示されます。
・洗浄液の充てんを開始します。

パック ヲ ヌイテクダサイ

洗浄液の充てんが終わると、左のメッセージが表示されます。



すべてのインクパッキケースと SC カードを抜きます。

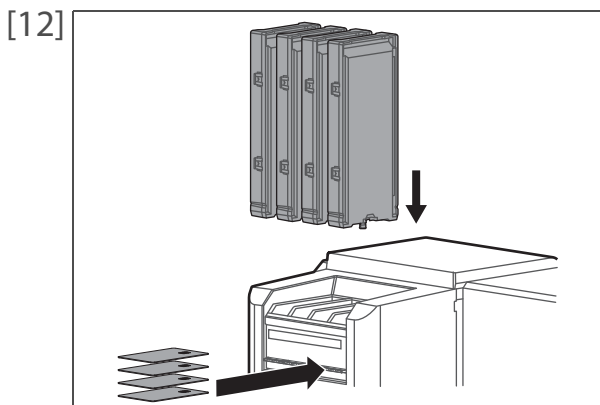
ヘッドセンジョウチュウ

左のメッセージが表示されます。

・ 洗浄液の排出を開始します。

センジョウパック ヲ セット

排出が終わると、左のメッセージが表示されます。



洗浄パックが入ったインクパッキケースと S/C カードを取り付けます。

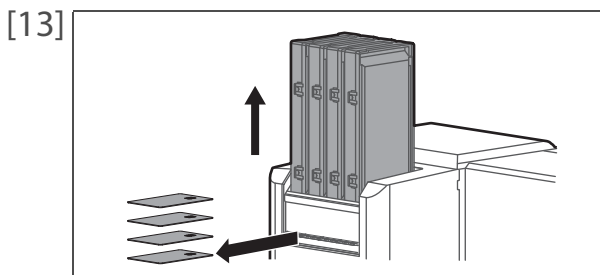
ヘッドセンジョウチュウ

左のメッセージが表示されます。

・ 洗浄液の充てんを開始します。

パック ヲ ヌイテクダサイ

洗浄液の充てんが終わると、左のメッセージが表示されます。



すべてのインクパッキケースと S/C カードを抜きます。

ヘッドセンジョウチュウ

左のメッセージが表示されます。

・ 洗浄液の排出を開始します。

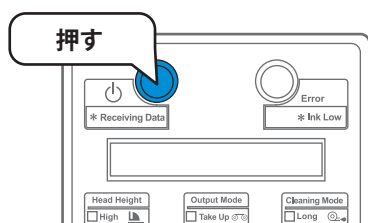
メディア ナシ

排出が完了すると、左のメッセージが表示されます。

[14] 電源をオフにします。

ヘッド洗浄後の初期充電の方法

[1]



- 本製品の電源ボタンを押します。
- ・青色のランプが点灯します。
 - ・本製品が初期動作を開始します。

[2]

インクジュウテンカイシ → Enter

左のメッセージが表示されたら [Enter] キーを押します。

[3]

センジョウシマスカ? イイエ

左のメッセージが表示されたら [Enter] キーを押します。

Note

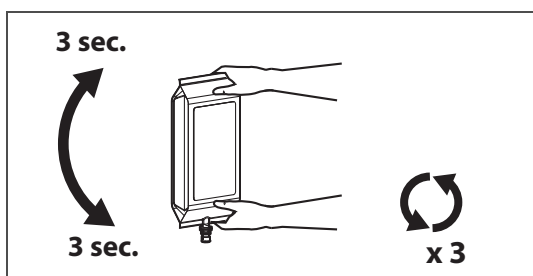
ヘッド洗浄を行う必要がある場合は、「センジョウシマスカ? イイエ」のときに [-] キーを押して表示を「センジョウシマスカ? ハイ」に変更し、[Enter] キーを押してください。以降は操作パネルの表示にしたがってください。

洗浄が完了すると「インクパック ヲ セット」が表示されますので、この項目の手順4に進んでください。

インクパック ヲ セット

左のメッセージが表示されます。

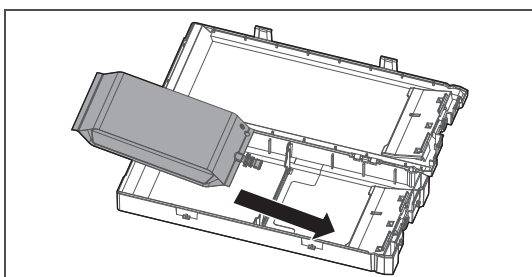
[4]



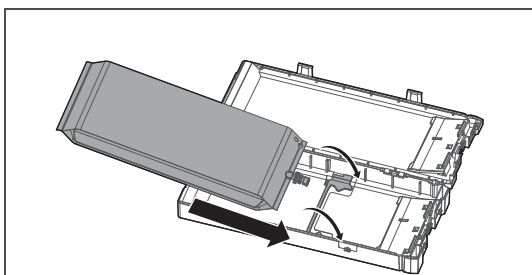
新しいインクパックを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。

- ・差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- ・次に差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- ・3回繰り返します。

[5]



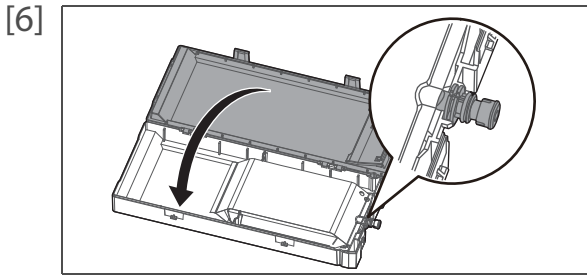
インクパックをインクパックケースに取り付けます。



2L インクパックをご使用の場合は、インクパックケースの仕切り板のロックを解除してからインクパックを取り付けます。

Important!

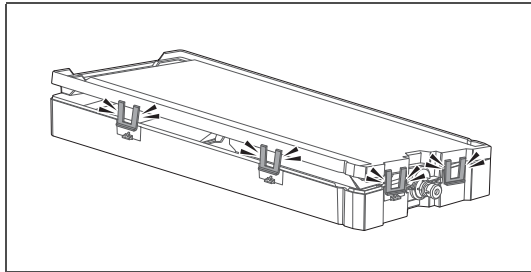
1L パックをご使用の場合は、かならず仕切り板をロックしてください。



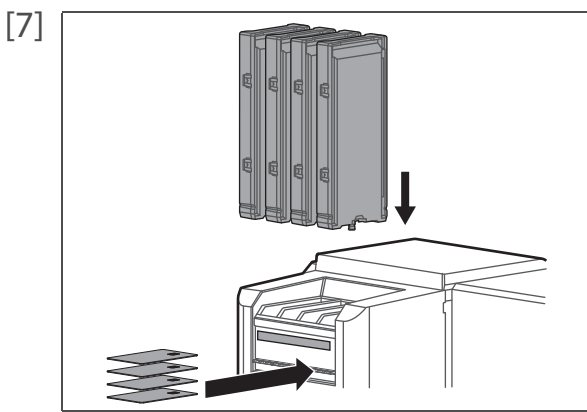
インクパックケースを閉じます。

Important!

インクパックの口が固定されていることを確認してください。
固定されていない場合、インクパックが正しく認識されません。



インクパックケースの留め具（4カ所）をしっかりと固定してください。



インクパックケースと S/C カードを差し込みます。

- ・本製品のインク色表示ラベルとインクパックのラベルの色を合わせてください。
- ・インクパックケースの留め具が手前にある状態で差し込みます。
- ・奥までしっかり差し込んでください。

インクジュウテンチュウ ***%

左のメッセージが表示されます。

- ・インク充てんを開始します。

注意



インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。

- ・本製品の電源をオフにする
- ・本製品の電源ケーブルを抜く
- ・フロントカバーを開ける
- ・メンテナンスカバーを開ける
- ・メディアセットレバーを上げる

メディア ナシ

インク充てんが完了すると、左のメッセージが表示されます。

Important!

初期充てん終了直後にノズルチェックを行うと、次のような現象が発生する場合があります。

- ・印刷した線がかすれる
- ・部分的に印刷されない

このような場合には、「[メニュー 2: クリーニング](#)」P.79 に従って、微量充てんを行ってから、印刷結果を確認してください。
微量充てんを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を 1 時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。

それでも印刷結果に変化が無い場合は、「[お問い合わせ先](#)」P.140 までご連絡ください。

第4章 付録

メッセージとエラーメッセージ	126
動作状態表示	126
メッセージ型エラー表示と対処方法	128
再起動が必要なエラー	130
トラブルシューティング	131
設置・導入時のトラブル	131
動作に関するトラブル	132
メディアに関するトラブル	133
印刷に関するトラブル	135
メディアが詰まった場合	138
お問い合わせ先	140
本製品の仕様	141
仕様一覧	141
オプション・サプライ品リスト	144
インクパック	144
その他	145
改訂履歴	145

メッセージとエラーメッセージ


ここでは、本製品の正常作業時およびエラー発生時に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

動作状態表示

本製品が正常に動作している場合の表示内容について説明します。

本製品が正常に動作している場合、操作パネルには以下の各動作状態が表示されます。

表示	内容
サクカ` デ` キマス	待機中。(メディアはセットされています。)
メデ` ィア` ナシ	待機中。(メディアはセットされていません。) 👉 「メディアのセット方法」P.26
デ` ータジ` ユシンチュウ	データ受信中です。
デ` ータカイセキチュウ	データ解析中です。
デ` ータサクカ` チュウ	印刷中です。
インサツノコリ： XXX. X m	現在印刷しているデータについて、まだ印刷されていないデータの長さをメートルで表示します。
ノコリジ` カン： XXXX min	現在印刷しているデータについて、印刷にかかる残り時間を分で表示します。
ロールシノコリ： XXX m	現在セットしているロールメディアの残りの長さをメートルで表示します。
サクカ` サイカイ -> Enter	印刷を一時停止中です。[Enter] キーを押すと再開します。
ウォームアップ` チュウ	ヒーターを暖めています。
ウォームアップ` チュウ スキップ` -> Enter	ヒーターが暖まる前に印刷を開始する場合は、[Enter] キーを押してください。
サブ` タンクジ` ユウテンチュウ **%	サブタンク充てん中です。 しばらくお待ちください。
インクハイシュツチュウ	ヘッド洗浄処理で、プリントヘッドからインクの排出中です。 しばらくお待ちください。
ユーザ` : Type ** OK ?	メディアイニシャル中です。 しばらくお待ちください。
メデ` ィア` イニシャル` チュウ	(* *は設定したユーザ定義を表示します。)
ジ` ユミョウカクニン [ホ` ンプ` *]	ポンプモーターの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。 👉 「お問い合わせ先」P.140
ジ` ユミョウカクニン [CR モータ]	CR モーターの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。 👉 「お問い合わせ先」P.140


表示	内容
ジ ュミョウカクニン [PF モータ]	PF モーターの寿命が近づいています。(動作を継続します) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート 窓口までご連絡ください。  「お問い合わせ先」P.140
デ ンゲ ンシャタ ンチュウ	プリンターの電源をオフしています。しばらくお待ちください。
S/C リード ンチュウ	S/C カードの読み取り中です。
*** リモート モード ***	MSM などでもリモートパネルモードを実行中です。リモートパネルモード中は、操作パネルからの操作はできません。[Cancel] キーを 2 秒以上長押しすると、リモートパネルモードを強制終了します。
ロールシザ ンリョウ エラー	ロール紙の残量カウントがゼロになりました。(印刷を停止します。)
ロールシ ニアエンド : * m	ロール紙の残量カウントがもうすぐゼロになります。ロール紙の残量は * m です。
センジ ョウハ ック ヲ セット	ヘッド洗浄処理中です。 洗浄パックを取り付けてください。
ヘッ ト センジ ョウチュウ	初期洗浄で洗浄液の充てんおよび排出を行っています。 または、ヘッド洗浄処理で、プリントヘッドの洗浄中です。 しばらくお待ちください。
ハ ック ヲ ヌイテクタ サイ	ヘッド洗浄処理中またはインク排出処理中です。 インクパックケースを取り外してください。
インクハ ック ヲ セット	インク充てん中です。 インクパックケースを取り付けてください。
インクジ ュウテンチュウ ***%	インク充てん中です。 しばらくお待ちください。




 Note

ロール紙ニアエンド表示の [*] はロール紙の残り長さを示します。

メッセージ型エラー表示と対処方法

本製品の動作中に、メッセージ型エラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。メッセージ型エラーは、本製品の動作中に何らかの障害が発生した場合に表示されます。メッセージ型エラーが発生した場合、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止する場合があります。

表示	内容
カバーオープン	フロントカバーが開いています。 フロントカバーを閉じてください。
メンテナンスカバーLオープン	左のメンテナンスカバーが開いています。 メンテナンスカバーを閉じてください。
メンテナンスカバーRオープン	右のメンテナンスカバーが開いています。 メンテナンスカバーを閉じてください。
レバーモトシテクタサイ	メディアセットレバーが上がっています。(メディアはセットされています) レバーを下ろしてください。
メディアアセットシテクタサイ	メディアがセットされていません。 メディアをセットしてください。  「メディアのセット方法」P.26
メディアニンシキエラー	メディア認識に失敗しました。(動作を停止します) メディアをセットし直してください。
メディアシャコウエラー	メディアが斜行しました。(動作を停止します) メディアをセットし直してください。
メディアカットエラー	メディアがカットできませんでした。(動作を停止します) メディアをセットし直してください。
ロールシエント	メディアがなくなりました。(動作を停止します) 新しいメディアをセットしてください。  「メディアのセット方法」P.26
ヒーターエラー	お使いのヒーターが故障している可能性があります。(動作を停止します) お使いのヒーターを確認してください。
[*****] インク ナシ	インクがなくなりました。(動作を停止します) 新しいインクパックに交換してください。  「インクパックの交換」P.98
[*****] パック ナシ	インクパックケースが挿入されていません。(動作を停止します) インクパックケースを挿入してください。
[*****] ミジ ユウテン	インクが充てんされていません。 初期充てんを行ってください。  「ヘッド洗浄後の初期充てんの方法」P.123
ハイエキタンク マンタン	廃液タンクが満タンになりました。(動作を停止します) ただちに廃液を容器に移してください。  「廃液タンクを空にする」P.101
[*****] S/C リート エラー	S/Cカードの読み取りに失敗しました。 S/Cカードを挿入し直してください。

表示	内容
[*****] S/C カラー エラー	インクパッケージが、間違ったインクカートリッジスロットに取り付けられています。 インクパッケージを正しいインクカートリッジスロットに取り付けてください。
[*****] S/C インク エラー	本製品で使用できない種類のインクです。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、 MUTOH 各営業所にお問い合わせください。  「お問い合わせ先」P. 140
[*****] S/C コード ^o エラー	適切でないインクパックが挿入されています。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、 MUTOH 各営業所にお問い合わせください。  「お問い合わせ先」P. 140
[*****] S/C カード ^o ナシ	S/C カードが挿入されていません。 S/C カードを挿入してください。
[*****] S/C インク ナシ	S/C カードの残量がなくなりました。(動作を停止します) 新しいインクパックに交換してください。  「インクパックの交換」P. 98
[*****] S/C インク スクナイ	S/C カードの残量が少なくなりました。(動作は継続します) 交換用インクパックを準備してください。
[*****] ハソンスタ チップ ^o	S/C カードが破損しています。 新しいインクパックに交換してください。

Note

- エラー表示の [*****] は警告対象のインクパックを示します。
- 「インク無し」または、「S/C カード無し」と「パック無し」が同時に発生したときは「パック無し」表示を優先します。

再起動が必要なエラー

再起動が必要なエラーとは、本製品が動作する上で次のような致命的な障害が発生した場合に表示されます。

- 駆動の妨げとなる障害物が発生した場合
- 電気回路（基板、モーター、センサー等）が故障した場合
- 制御プログラム上の異常が発生した場合

再起動が必要なエラーが発生した場合、本製品は次の動作を行った後に動作停止します。

1. 駆動系の電源を自動的に遮断する。
2. 操作パネルのランプが全て点滅し、ブザーが断続的に鳴り続ける。
3. 操作パネルにエラーメッセージが表示される。

操作パネルのいずれかのキーを押すと、ブザー音は鳴り止みます。

再起動が必要なエラーは、エラーの原因を取り除き、本製品を再起動すると復旧します。

もし同じエラーメッセージが再び表示された場合は、本製品を購入された **MUTOH** 製品販売店または **MUTOH** カスタマーサポート窓口までご連絡ください。

連絡の際には、かならずエラーメッセージのコード番号をお伝えください。

 「お問い合わせ先」P.140

表示	内容
E ***エラー ○○○○○○○○○○ []	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました。 1. 駆動系に紙くず、紙片等の障害物があれば、取り除いてください。 2. 交換した部品が正しく取り付けられているか確認してください。 3. 電源をオフにします。しばらく待ってから電源をオンにして、本製品を再起動してください。


Note

- エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。
- [] 内にはエラーの発生したコマンドコードが入ることがあります。

トラブルシューティング

ここでは、エラー表示しない製品の異常および故障とその時に考えられる要因とその対策について説明します。

Note

- プリンターの状態やエラー情報は **MSM** のステータス情報から確認できます。
プリンターが正常に動かない場合は、**MSM** をご確認ください。
 - **MSM** は最新のバージョンをお使いください。
MSM のヘルプのバージョン情報で、お使いの **MSM** より新しいバージョンがあるかを確認できます。
最新バージョンがある場合は、**MUTOH Club** からダウンロードしてください。
-  MUTOH Status Monitor 取扱説明書

設置・導入時のトラブル

インクの初期充電ができない

フロントカバーが開いていたり、メンテナンスカバーが開いていませんか？
- フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じてください。

メディアセットレバーが上がっていませんか？
- メディアセットレバーを下げてください。

インクパッキケースとS/Cカードは奥まで確実に差し込まれていますか？
- インクパッキケースとS/Cカードを奥まで確実に差し込んでください。

初期充電してもインクが出ない

インクパックは冷えていませんか？
- 最低でも常温で3時間以上放置した後、クリーニングを数回行ってください。

初期充電中に電源をオフしませんでしたか？
- 再度電源をオンにし、初期充電をやりなおしてください。

初期充電後にノズル抜けが発生する

クリーニングを行ってみましたか？
- クリーニングを行ってから、印刷結果を確認してください。
- クリーニングを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を1時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充電を行ってから印刷結果を確認してください。
- それでも印刷結果に変化が無い場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。

 「インクパッキケースとS/Cカードの取り付け」P.100、「ヘッドクリーニング」P.103、「お問い合わせ先」P.140

MSM やRIP からプリンターに接続できない

ギガビットイーサネットケーブルはきちんと接続していますか？

- ギガビットイーサネットケーブルをきちんと接続してください。

ネットワーク設定は正しく設定されていますか？

- ネットワーク設定を正しく設定してください。

プリンターのネットワーク設定をコンピューター側の環境に合わせていますか？

- 製品のネットワーク設定をコンピューター側の環境に合わせてください。

👉 「コンピューターとの接続」P.19、「初期設定 5：IP アドレス」P.84、「初期設定 6：サブネットマスク」P.85、「初期設定 7：ゲートウェイ」P.85

動作に関するトラブル

電源投入後まったく動かない/
メディアをセットしても動かない

電源ケーブルはつながっていますか？

- 電源ケーブルをつないでください。

AC 電源は規定の電圧になっていますか？

- 他のコンセントに接続してください。

フロントカバーが開いていたり、メンテナンスカバーが開いていませんか？

- フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じてください。

メディアセットレバーが上がっていませんか？

- メディアセットレバーを下げてください。

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

インクパッキケースは挿入されていますか？

- インクパッキケースを挿入してください。

プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？

- プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。

MSM にエラーが表示されていませんか？

- MSM のステータス情報を確認してください。

👉 「メディアのセット方法」P.26、「設置場所の確認」スタートアップガイド P.10

メディアに関するトラブル

メディアイニシャル中にメディアが外れる、破れる、シワになる

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

加圧ローラーにメディアの切れ端等の異物が付着していませんか？

- 加圧ローラーを清掃してください。

プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？

- プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。

メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？

- メディアの両端にメディア押さえをセットしてください。

- 吸着ファンの設定を確認してください。

折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアは使用していませんか？

- メディアを交換してください。



Note

詰まったり、破れたりしたメディアは、「メディアが詰まった場合」P.138にしたがって取り除いてください。

メディアイニシャルでメディアを正しく認識できない

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

メディアを斜めにセットしていませんか？

- メディアを真っ直ぐにセットしてください。

プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？

- プリンターの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。

一度印刷したメディアを再度使用していませんか？

- 新品のメディアを使用してください。

👉 「メディアのセット方法」P.26、「内部の清掃」P.110、「メディアをセットしたら・・・」P.30、「**>6：吸着ファン」P.66、「メディアが詰まった場合」P.138、「設置場所の確認」スタートアップガイド P.10

メディア詰まりが頻発する

プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？

- プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。

メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？

- メディアの両端にメディア押さえをセットしてください。

- 吸着ファンの設定を確認してください。

折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアは使用していませんか？

- メディアを交換してください。



Note

詰まったり、破れたりしたメディアは、「メディアが詰まった場合」P.138に示がって取り除いてください。

印刷中にメディアが斜行する

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

👉「設置場所の確認」スタートアップガイド P.10、「メディアをセットしたら・・・」P.30、「**>6：吸着ファン」P.66、「メディアが詰まった場合」P.138、「メディアのセット方法」P.26

印刷に関するトラブル

データを送っても印刷されない

ギガビットイーサネットケーブルはきちんと接続していますか？

- ギガビットイーサネットケーブルをきちんと接続してください。

MSMにエラーが表示されていませんか？

- MSMのステータス情報を確認してください。

印刷中、キャリッジが右端または左端でいったん停止する

MSMのMPS機能を使っていますか？

- MSMのステータス情報を確認してください。
MPSが動作中かどうかは、ステータスマニターのMPS情報タブから確認できます。

RIPの出力先がMPS機能になっていますか？

- お使いのRIPの出力先を確認してください。

お使いのコンピューターのスペックは以下の通りですか？

- OS: Windows 10 (64bit)、Windows 8 / 8.1 (64bit)、Windows 7 (64bit)
- CPU: Intel (R) Core (TM) i5 / i7
- メモリ: 8G バイト以上
- ネットワーク: ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用

ギガビットイーサネットケーブルで接続をしていますか？

- プリンターとコンピューターの接続には、Category 6 以降のギガビットイーサネットケーブルをお使いください。

部分的に印刷が汚れたり、抜けたりする

メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？


- メディアの両端にメディア押さえをセットしてください。
- 吸着ファンの設定を確認してください。

熱でメディアが変形していませんか？

- 待機中に熱でメディアが変形する場合は、スタートフィードメニューからフィード量を増やしてください。

メディアが湿気を含んでいたり、折り目、シワ等がありませんか？

- 新しいメディアに交換してください。

 「コンピューターとの接続」P.19、「メディアをセットしたら・・・」P.30、「**>6：吸着ファン」P.66、「セット5：スタートフィード」P.69

印刷はするが、描く位置がおかしい/
描けないところがある

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

原点を設定していませんか？

- 原点の設定を解除するか、または再設定してください。

印刷した線がにじむ

メディアの印字面に印刷していますか？

- メディアの印字面を確認して正しくセットしてください。

画質調整を行ってみましたか？

- 画質調整を行ってください。

メディア送り補正を行ってみましたか？

- メディア送り補正を行ってください。

印刷に白スジや黒スジが出る

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

メディアが湿気を含んでいたり、折り目、シワ等がありませんか？

- 新しいメディアに交換してください。

ノズルの状態は良好ですか？

- ノズルチェックを行ってください。

ノズル抜けがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

画質調整を行ってみましたか？

- 画質調整を行ってください。

メディア送り補正を行ってみましたか？

- メディア送り補正を行ってください。

 「メディアのセット方法」P.26、「セット7：原点設定」P.70、「**>2：調整作画」P.57、「**>3：送り補正」P.62、「ノズルチェックとクリーニング」P.32

印刷線が繋がらない/二重になる、
印刷結果がかすれる

ノズルの状態は良好ですか？

- ノズルチェックを行ってください。
ノズル抜けがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

画質調整を行ってみましたか？

- 画質調整を行ってください。

メディア送り補正を行ってみましたか？

- メディア送り補正を行ってください。

インクパックは有効期限内ですか？

- 有効期限内のインクパックを使用してください。

印刷結果の色がおかしい

ノズルの状態は良好ですか？

- ノズルチェックを行ってください。
ノズル抜けがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

インクパックケースに、正しい組み合わせでインクパックとスマートチップカードが取り付けられていますか？

- インクパックとスマートチップカードの組み合わせを確認してください。
- 組み合わせが間違っている場合、ヘッド洗浄を行ったあとで、初期充てんを行ってください。

クリーニングを行っても、ノズル抜け
がなおらない

クリーニングワイパーやプリントヘッド外周が汚れていませんか？

- クリーニングワイパーやプリントヘッド外周の清掃を行ってください。

クリーニングの設定は適切ですか？

- ・ ヘッド選択: 「ALL」、もしくはノズル抜けがあるヘッドを選択してください。
- ・ クリーニングモード選択: 通常クリーニングまたは強力クリーニングを2~3回行ってもノズル抜けがなおらない場合は、微量充てんを行ってください。

印刷後のインクが乾きづらい

ヒーターを使用していますか？

- ヒーターの設定を確認してください。

適切な作画モードを選択しましたか？

- 作画モードを確認し、必要があれば、作画モードを変更してください。



Note

- ・ インクを多く使う印刷を行う場合、印刷後のインクが乾きづらくなる恐れがあります。
- ・ お使いのメディアによっては、インクが乾きづらい場合があります。

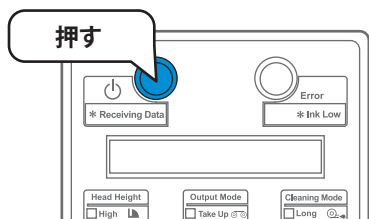
👉 「ノズルチェックとクリーニング」P.32、「**>2:調整作画」P.57、「**>3:送り補正」P.62、「クリーニングワイパーの清掃」P.105、「プリントヘッド外周の清掃」P.108、「メニュー2:クリーニング」P.79、「**>4:ヒーター(上)」P.65、「**>5:ヒーター(下)」P.65、「**>1:作画モード」P.56

メディアが詰まった場合

セットしたメディアが詰まった場合は、以下の手順に従って、メディアを取り除いてください。

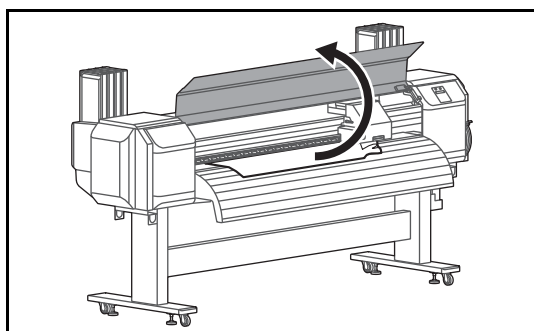
手順

[1]



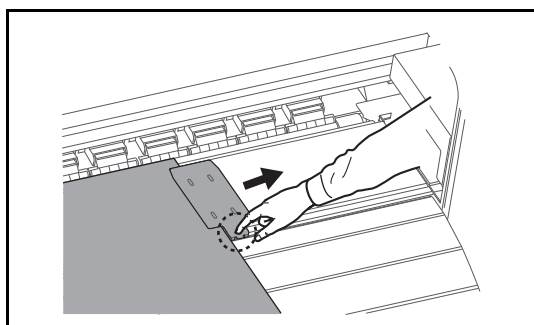
プリンターの電源をオフにします。

[2]



フロントカバーを開きます。

[3]



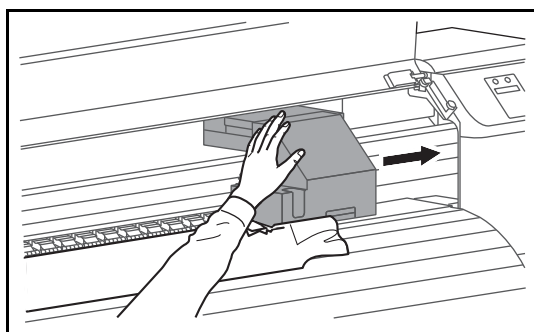
左のイラストの点線で囲まれた部分を押しながら、メディア押さえをメディアから取り外します。

Important!

メディア押さえが変形している場合は、本製品の使用を中断し、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。

👉 「お問い合わせ先」P. 140

[4]



キャリッジをメディア上から右に移動させます。

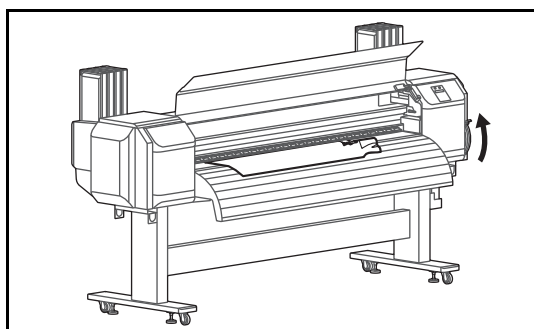
Important!

ヘッド高さが Low の場合は、High に切り替えてから移動させてください。

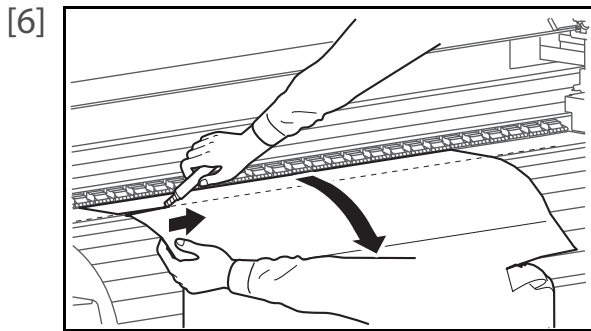
移動後は、また Low に戻してください。

👉 「ヘッド高さを変更する」P. 40

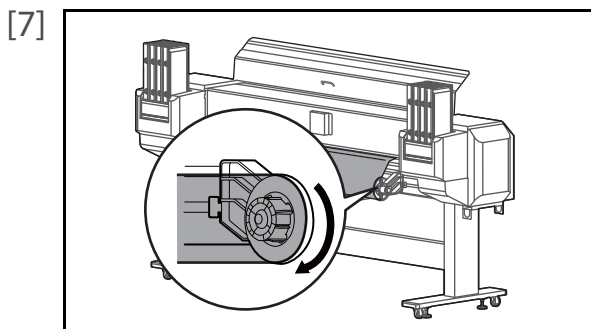
[5]



メディアセットレバーを上げます。



[6] メディアを手前側に引き出して、破れた部分をカッターナイフ等でカットします。

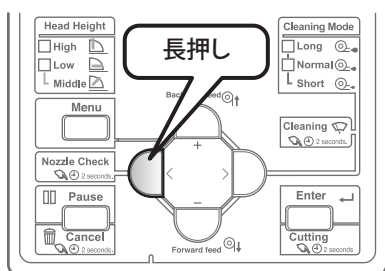


[7] ロール紙受けのフランジを回して、ロール紙を巻き取ります。

[8] 製品内部に紙くず、紙片等が残っている場合は、破れた紙片を取り除きます。

[9] プリンターの電源をオンにします。

[10]



[Nozzle Check] キーを 2 秒以上長押しします。

・ノズルチェックパターンを印刷します。

[11] パターンを確認します。

- ・ノズル抜けがある場合は、「[クリーニングの手順](#)」P.33 に進みます。
- ・ノズル抜けがない場合は、印刷を開始できます。

お問い合わせ先

本製品で技術的に困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL: ☎ 0120-174911

FAX: ☎ 0120-184711

E-mail: gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

本製品の仕様

仕様一覧

機種名	VJ-1948WX
印刷方式	オンデマンドピエゾ方式
駆動方式	ファームウェアサーボ /DC モーター駆動
メディア搬送方式	多点加圧式グリッドローラー方式
メディア固定	手動レバーによる加圧ローラーダウン方式
使用できるメディア	外径 150mm 以下 紙管径 2 インチまたは 3 インチ 重量 30 kg 以下 最大幅 1,910 mm 最小幅 900 mm 最大厚さ 0.3 mm (ヘッド高さ Low 時) 1.3 mm (ヘッド高さ Mid 時) 2.8 mm (ヘッド高さ High 時)
最大印字幅	1,900 mm
最大印刷長さ	1,500 m
ヘッド高さ調整	Low / Mid / High の 3 段階調整
CPU	64bit RISC CPU
メモリ	384 MB
インターフェース	Gb-Ethernet (1000BASE-T) miniDIN (8pin) コネクタ
廃液タンク	本体固定式、容量 2,000 ml、ユーザーによる廃液排出
インク	色 4 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー) 8 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、ライトブラック、ライトライトブラック) 種類 1,000 ml インクパック、2,000 ml インクパック

環境条件	本体動作環境	温度：20℃～32℃、湿度：40%～60% 結露なきこと
	本体精度保証環境	温度：22℃～30℃、湿度：40%～60% 結露なきこと
	変化率	温度：1時間あたり2℃以内 湿度：1時間あたり5%以内
	本体保存環境	<ul style="list-style-type: none"> ・インク未充てん保存：6ヶ月以内 温度：-20℃～60℃、湿度：20%～80% 結露なきこと ・インク充てん保存： 温度：5℃～30℃、湿度：20%～60% 結露なきこと
インク保存環境	<ul style="list-style-type: none"> ・昇華転写インク (DH11、DH21) ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、ライトブラック、ライトライトブラック（各 1,000 ml または 2,000 ml） 温度：-5℃～35℃ 湿度：結露なきこと ・昇華転写インク (DM11) ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー（各 1,000 ml または 2,000 ml） 温度：10℃～35℃ 湿度：40%～80% ・洗浄パック（600ml） 温度：5℃～35℃ 湿度：結露なきこと 	
	電源	<p>プリンター 電圧：AC 100V～120V±10% / AC 200V～240V±10%</p> <p>周波数：50/60Hz±1Hz</p> <p>容量：AC 100V～120V：8.0 A 以上 AC 200V～240V：5.0 A 以上</p>
	ヒーター x2	<p>電圧：AC 100V～120V±10% / AC 200V～240V±10%</p> <p>周波数：50/60Hz±1Hz</p> <p>容量：AC 100V～120V：9.0 A 以上 AC 200V～240V：5.0 A 以上</p>

消費電力	電源オフ	プリンター： AC100V ～ 120V、1 W 以下 AC200V ～ 240V、2 W 以下 ヒーター ×2： AC100V ～ 120V、0.1 W 以下 AC200V ～ 240V、0.2 W 以下
	待機時	プリンター： AC100V ～ 120V、91 W 以下 AC200V ～ 240V、82 W 以下 ヒーター ×2： AC100V ～ 120V、1,110 W 以下 AC200V ～ 240V、1,110 W 以下
	スリープモード	プリンター： AC100V ～ 120V、35 W 以下 AC200V ～ 240V、28 W 以下 ヒーター ×2： AC100V ～ 120V、0.1 W 以下 AC200V ～ 240V、0.2 W 以下
	オペレーション	プリンター： AC100V ～ 120V、600 W 以下 AC200V ～ 240V、530 W 以下 ヒーター ×2： AC100V ～ 120V、1,120 W 以下 AC200V ～ 240V、1,120 W 以下
消費電流	100V ～ 120V	プリンター：7 A 以下 ヒーター ×2：8.5 A 以下
	200V ～ 240V	プリンター：4.5 A 以下 ヒーター ×2：4.5 A 以下
外形寸法	高さ	1,261 mm (カバーオープン時：1,529 mm)
	幅	2,983 mm
	奥行き	966 mm (カバーオープン時：994 mm)
質量	本体	164 kg
	脚部	37 kg

オプション・サプライ品リスト

インクパック

型番	名称	販売単位
DH11-BK1000U	昇華転写インクブラック (Bk) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH11-CY1000U	昇華転写インクシアン (Cy) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH11-MA1000U	昇華転写インクマゼンタ (Ma) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH11-YE1000U	昇華転写インクイエロー (Ye) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH11-LC1000U	昇華転写インクライトシアン (Lc) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH11-LM1000U	昇華転写インクライトマゼンタ (Lm) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH11-LK1000U	昇華転写インクライトブラック (Lk) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH11-LLK1000U	昇華転写インクライトライトブラック (LLk) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH21-BK1000U	昇華転写インクブラック (Bk) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH21-BK2200U	昇華転写インクブラック (Bk) 2,200 ml	1箱 (1個入り)
DH21-CY1000U	昇華転写インクシアン (Cy) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH21-CY2200U	昇華転写インクシアン (Cy) 2,200 ml	1箱 (1個入り)
DH21-MA1000U	昇華転写インクマゼンタ (Ma) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH21-MA2200U	昇華転写インクマゼンタ (Ma) 2,200 ml	1箱 (1個入り)
DH21-YE1000U	昇華転写インクイエロー (Ye) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH21-YE2200U	昇華転写インクイエロー (Ye) 2,200 ml	1箱 (1個入り)
DH21-LC1000U	昇華転写インクライトシアン (Lc) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH21-LC2200U	昇華転写インクライトシアン (Lc) 2,200 ml	1箱 (1個入り)
DH21-LM1000U	昇華転写インクライトマゼンタ (Lm) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH21-LM2200U	昇華転写インクライトマゼンタ (Lm) 2,200 ml	1箱 (1個入り)
DH21-LK1000U	昇華転写インクライトブラック (Lk) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH21-LK2200U	昇華転写インクライトブラック (Lk) 2,200 ml	1箱 (1個入り)
DH21-LLK1000U	昇華転写インクライトライトブラック (LLk) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DH21-LLK2200U	昇華転写インクライトライトブラック (LLk) 2,200 ml	1箱 (1個入り)
DM11-BK1000U	昇華転写インクブラック (Bk) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DM11-CY1000U	昇華転写インクシアン (Cy) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DM11-MA1000U	昇華転写インクマゼンタ (Ma) 1,000 ml	1箱 (1個入り)
DM11-YE1000U	昇華転写インクイエロー (Ye) 1,000 ml	1箱 (1個入り)

その他

型番	名称	販売単位
VJ-CB	VJ用カッター替刃	1箱 (1個入り)
VJ-1948-FB	VJ-1948WX用フラッシングボックス吸収材	1箱 (3個入り)
VJ-AQU-CL600U	水性洗浄液 600 ml	1箱 (1個入り)
VJ1948-INKCASE	VJ-1948WX用インクパックケース	1箱 (8個入り)
VJ-AC155J	ACケーブル (日本国内安全規格対応品)	1箱 (1本入り)
VJ-AC155A	ACケーブル (アメリカ安全規格対応品)	1箱 (1本入り)
VJ-AC10SE	ACケーブル (ヨーロッパ安全規格対応品)	1箱 (1本入り)
VJ16/19-TUP30	30kg対応簡易巻取り装置	1箱 (1台入り)
VJ16/19-TUP40U	40kg対応簡易巻取り装置	1箱 (1台入り)
VJ19TUP100U	100kg対応巻取り送出し装置	1箱 (1台入り)

Note

詳細についてはお買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

 「お問い合わせ先」P.140

改訂履歴

制定年月	版数	マニュアル管理番号	対応ファームウェア
2016.9	00	VJ1948WXJ-A-00	V.1.00
2016.12	01	VJ1948WXJ-A-01	V.1.01
2017.3	02	VJ1948WXJ-A-02	V.1.05
2017.11	03	VJ1948WXJ-A-03	V.1.07
2018.8	04	VJ1948WXJ-A-04	V.1.08
2019.4	05	VJ1948WXJ-A-05	V.1.08
2020.1	06	VJ1948WXJ-A-06	V.1.08 以降

MUTOH